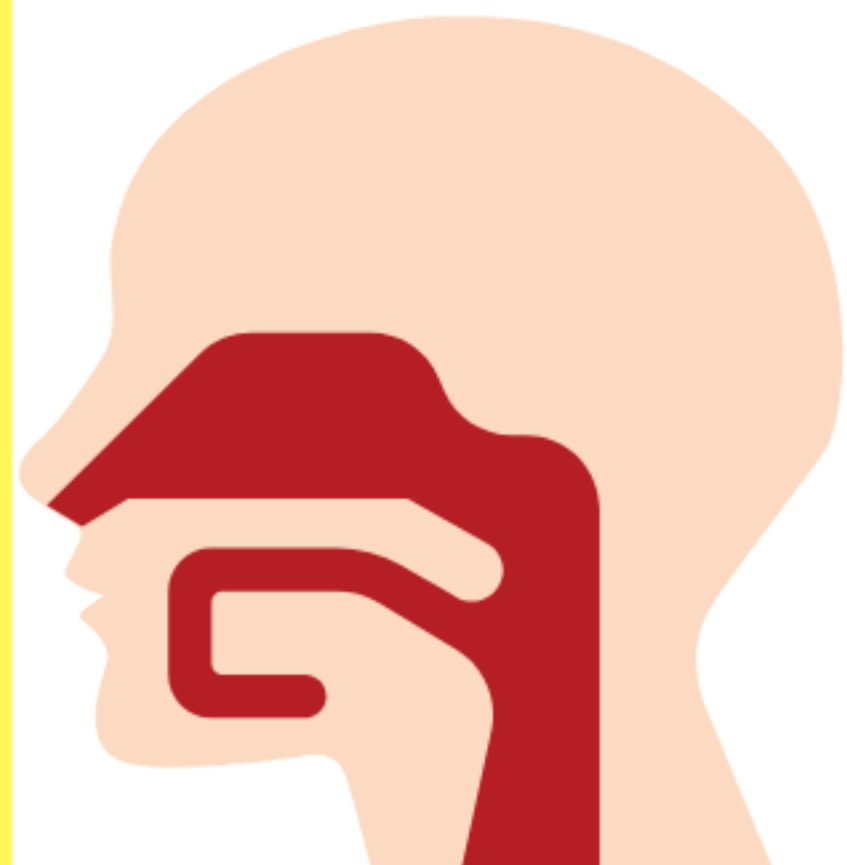


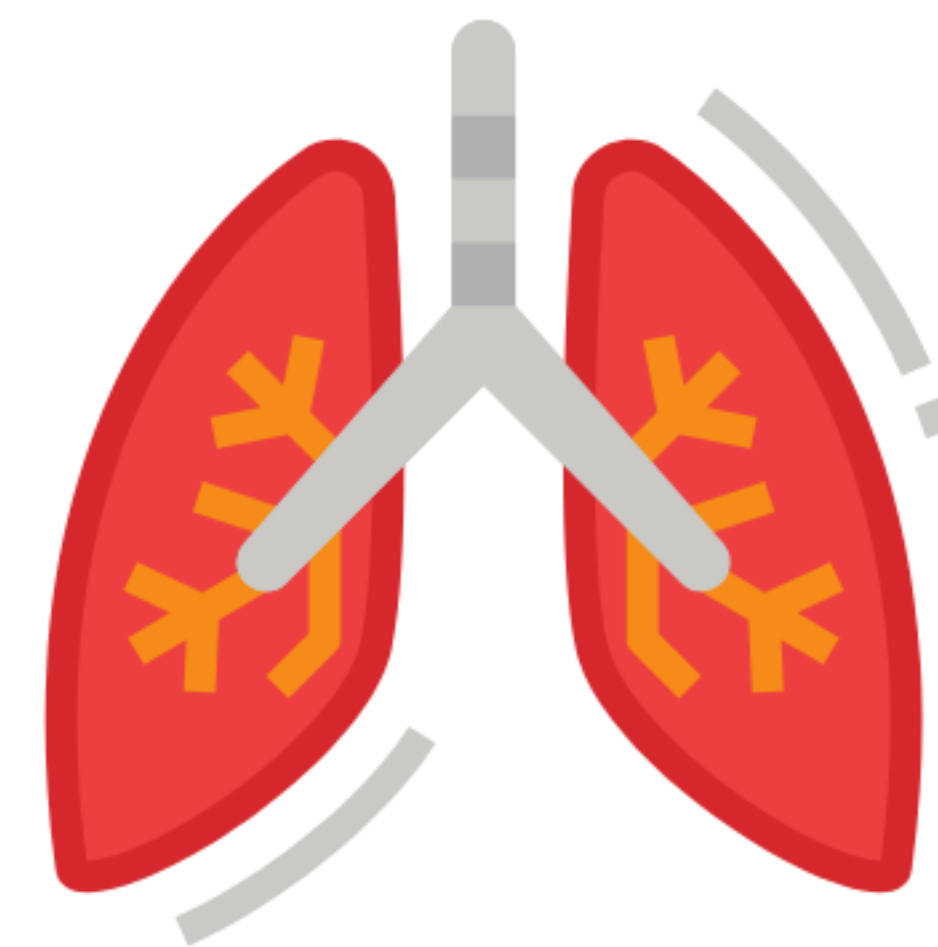


臨床につながる嚥下機能の評価・治療について



呼吸・嚥下機能向上に繋がる 頭頸部と体幹の評価・治療アプローチ

～起居・嚥下について～



11/17(水)

20:00～

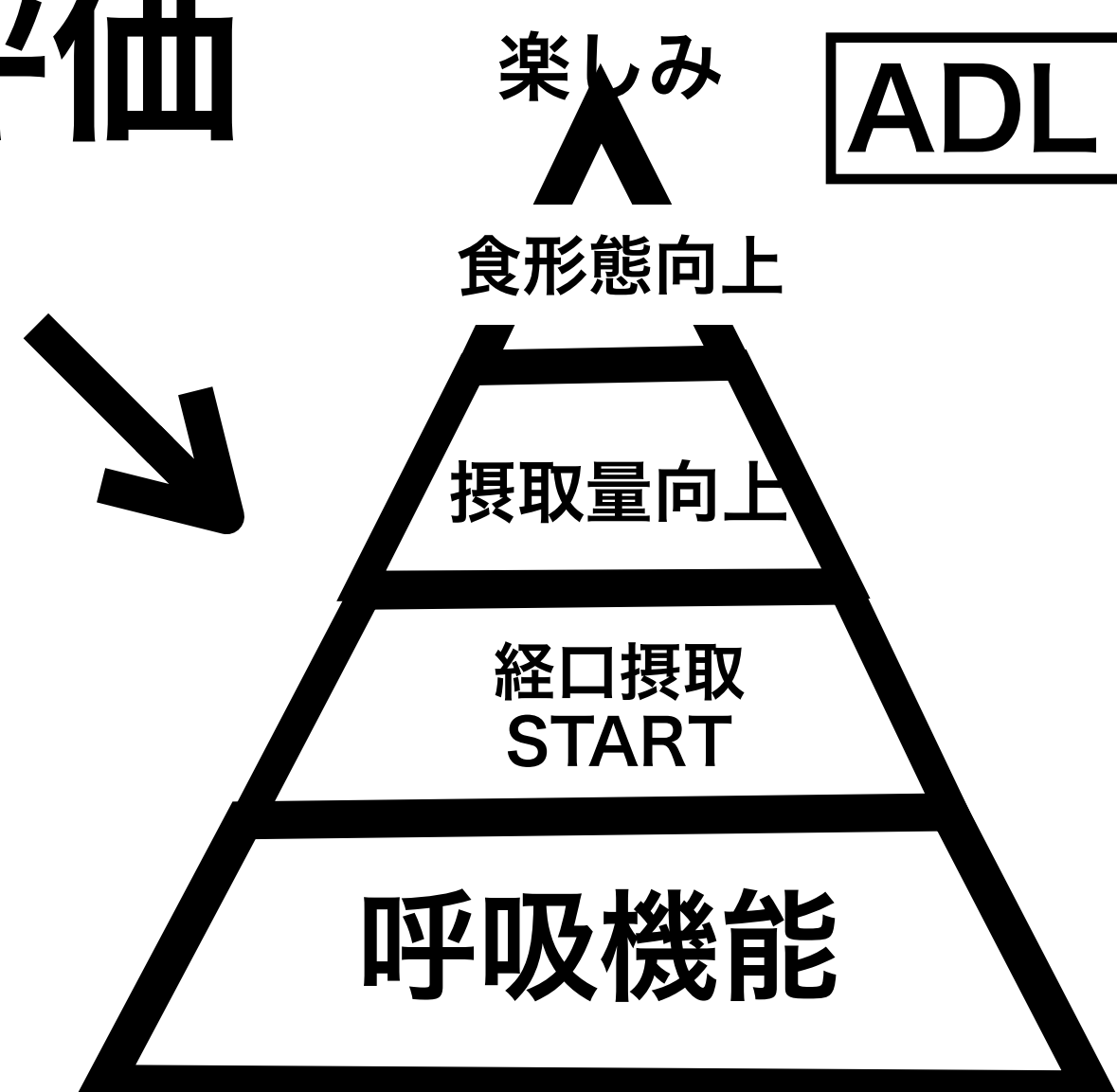
脳外臨床研究会 嚥下セミナー講師
高齢者嚥下障害専門セラピスト 小西 弘晃



<サロン嚥下セミナーゴール>

呼吸・嚥下機能向上に繋がる頭頸部・体幹の評価・治療アプローチ

嚥下評価



ADL (移乗・トイレ・整容・移動)

起居

臥位 (臥床)

頭頸部

&

体幹

呼吸機能

<サロン嚥下セミナーゴール>

起居動作でどのように

嚥下・呼吸機能を評価・治療アプローチ

しているのかを考える



呼吸&嚥下コース 頭頸部・肩甲帯編

講師が考える呼吸&嚥下の臨床評価・治療

呼吸&嚥下
部位別

呼吸機能

頭頸部
肩甲帯

肩甲帯
胸郭

咳嗽
腹圧

胸郭
可動域

嚥下評価

食事場面での評価

直接訓練 (bedside)

嚥下スクリーニング評価

楽しみ

食形態
向上

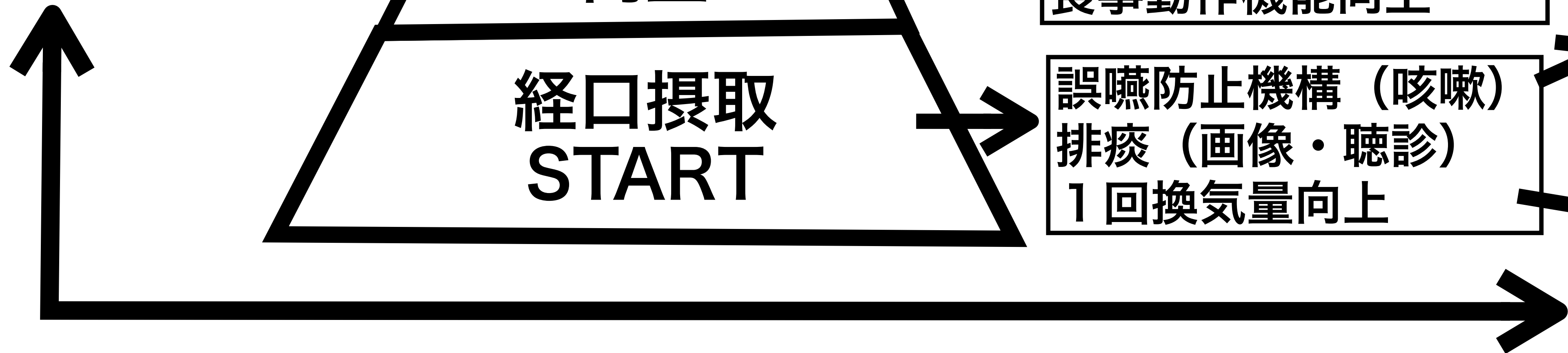
摂取量
向上

経口摂取
START

口呼吸・鼻呼吸の分離
口腔嚥下機能向上
→舌・咀嚼・歯

ADLでの座位保持機能
→呼吸・姿勢&嚥下
食事動作機能向上

誤嚥防止機構 (咳嗽)
排痰 (画像・聴診)
1回換気量向上



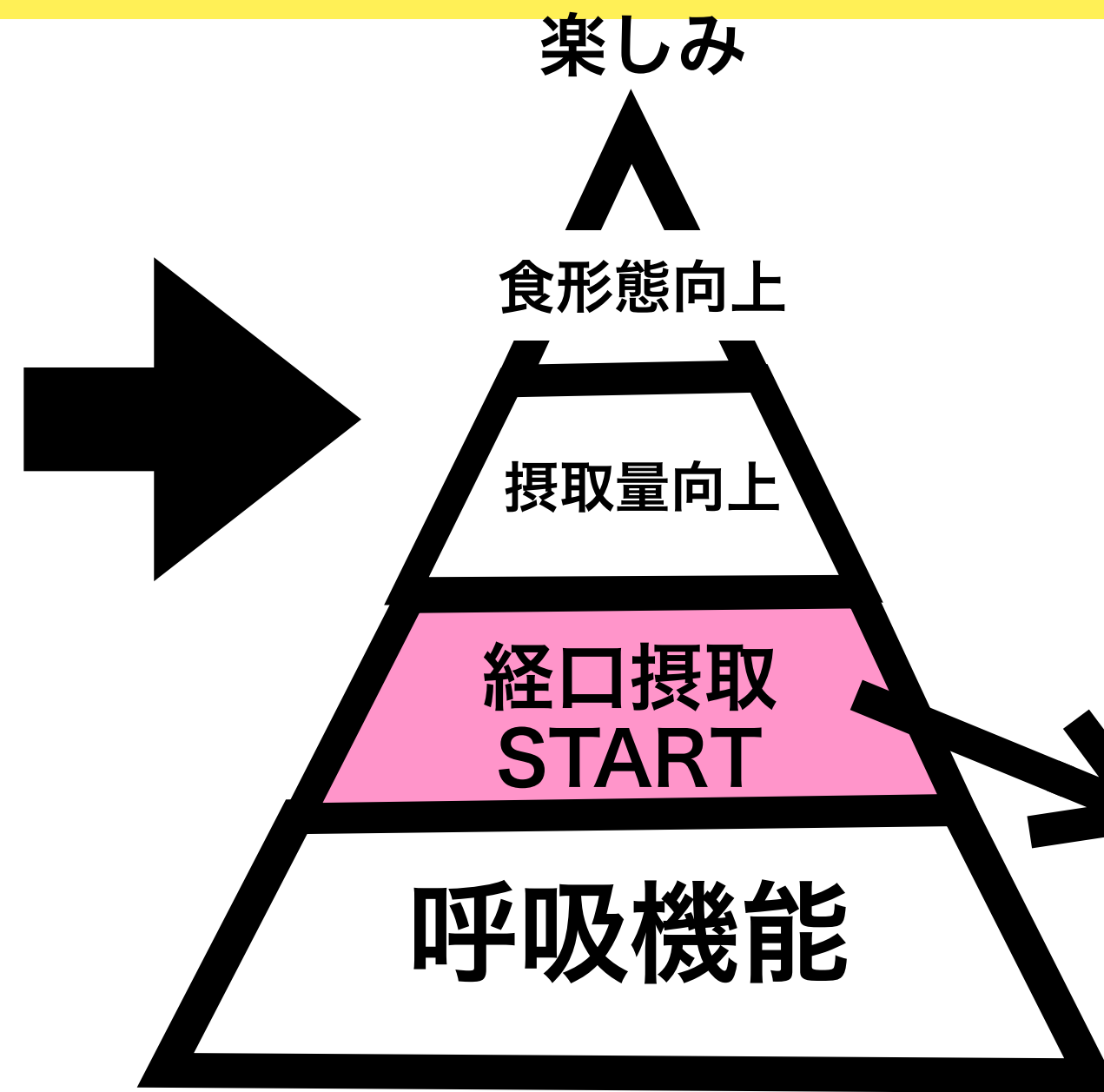


『胸郭可動域編』まとめ

嚥下評価

- ① 覚醒
- ② 脳神経評価 (姿勢含む)
- ③ 口腔内環境
- ④ 嚥下反射・圧
→ 視診・触診

挙上範囲
スピード
筋活動 (代償)



臥位
横隔膜機能 ↓
換気・血流量 ↓

誤嚥防止機構 (咳嗽)
排痰 (画像・聴診)
1回換気量向上

長期化
胸郭可動性 ↓
換気障害・肺胞虚脱
↓
* 循環不全
* 背面の評価
* 体位を考える

- ① 鼻呼吸 → 鼻・口呼吸の分離
- ② 呼吸ストップ → 1回換気量
- ③ 呼吸パターン → 呼気→呼気
- ④ 誤嚥防止機構 → 咳嗽機能

胸郭可動域
① 画像 ② 視診・聴診 ③ 触診

* 上下部肋骨
→ 肋椎関節・肋間筋

上部肋骨
→ 前方回旋
→ 後方回旋

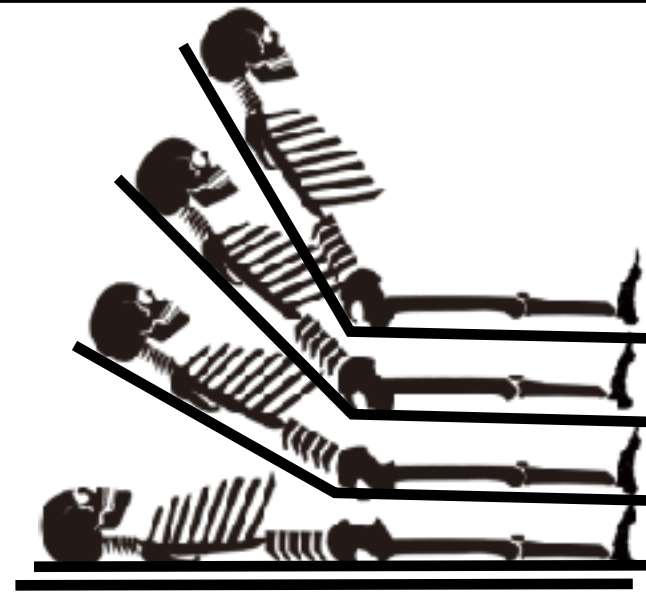
下部肋骨
→ 前方回旋
→ 後方回旋

効果判定

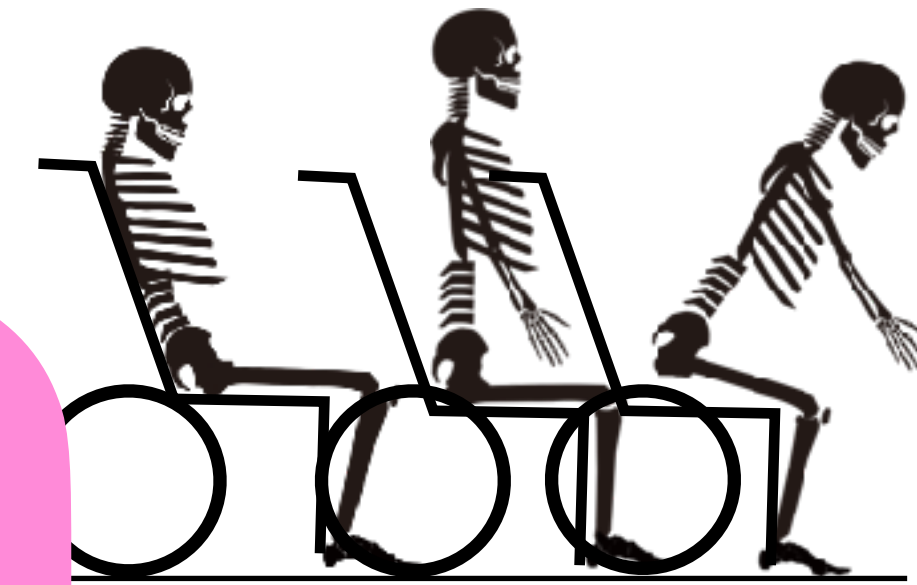


呼吸&嚥下コース 胸郭可動域編

bedside

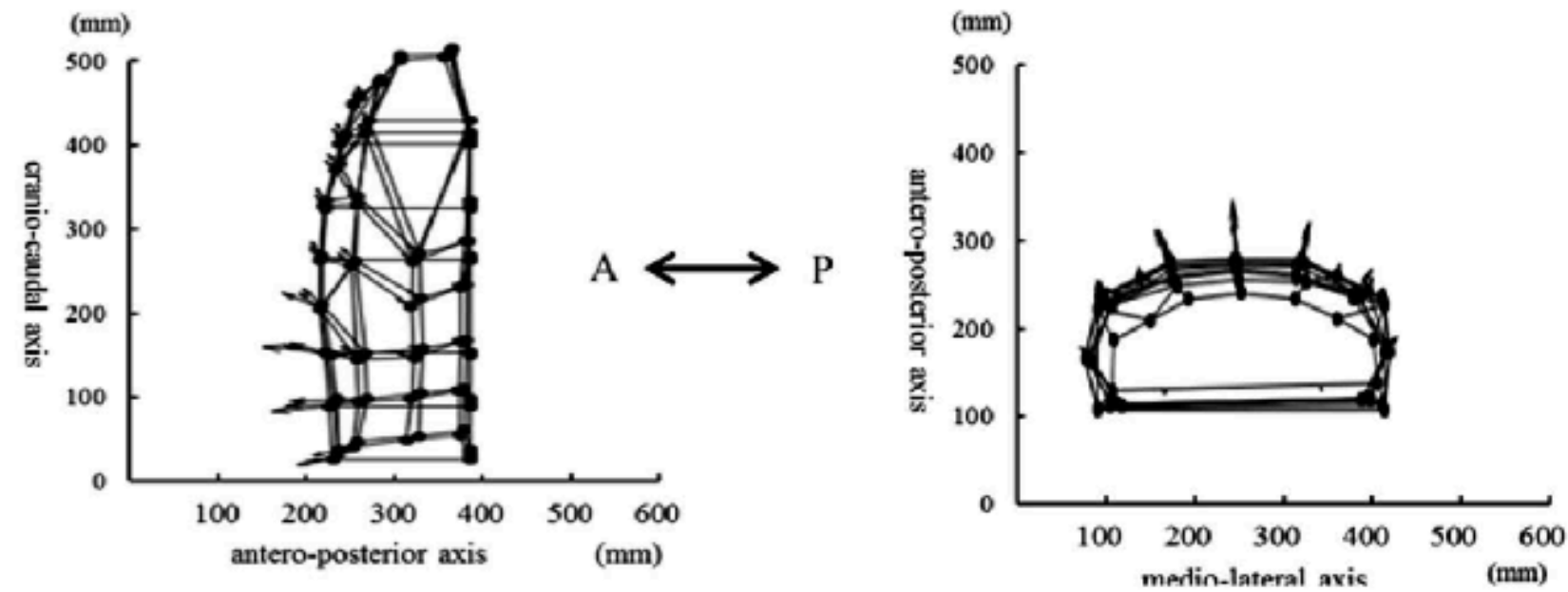


車椅子

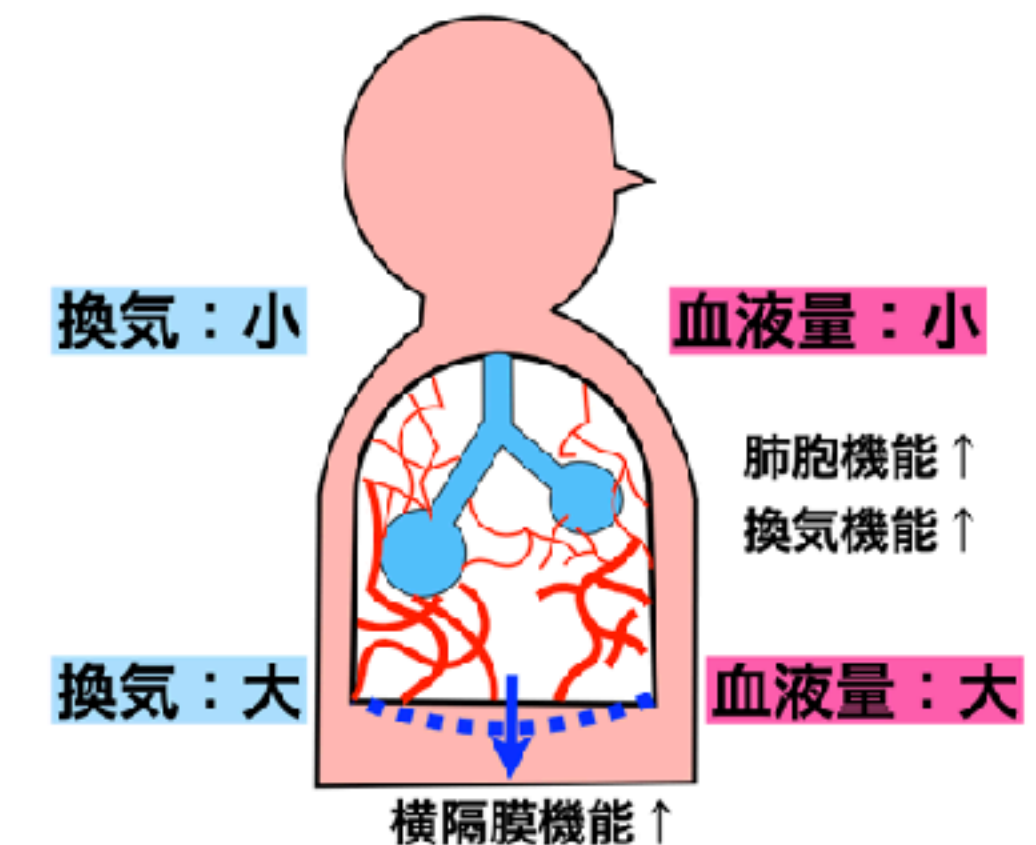
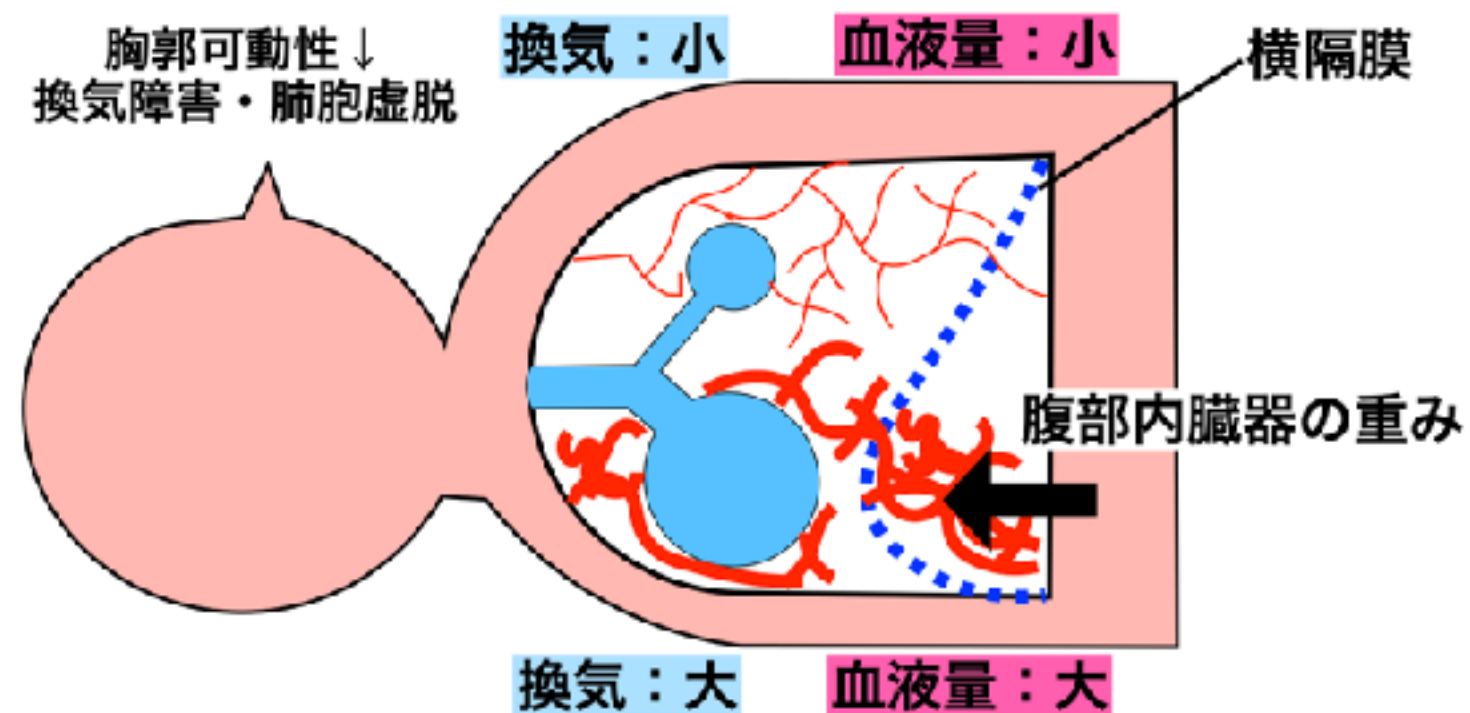
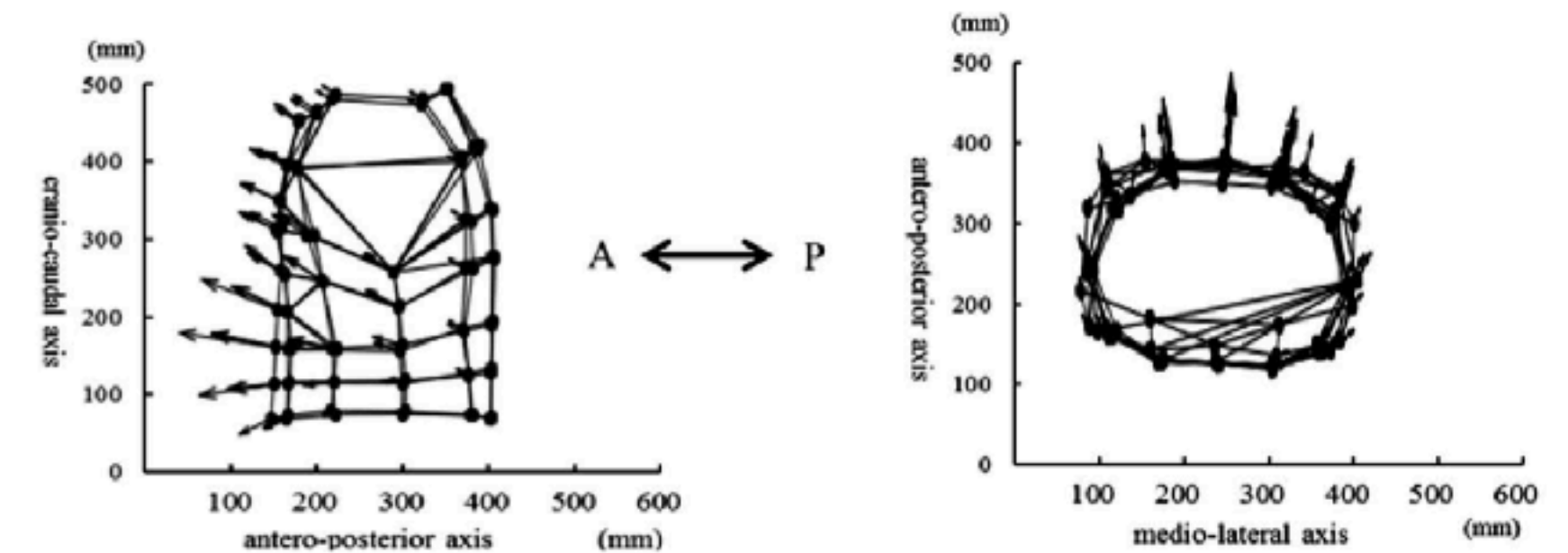


- ①胸郭可動域
- ②体位と機能的残気量
(換気量・血流量について)

臥位



座位



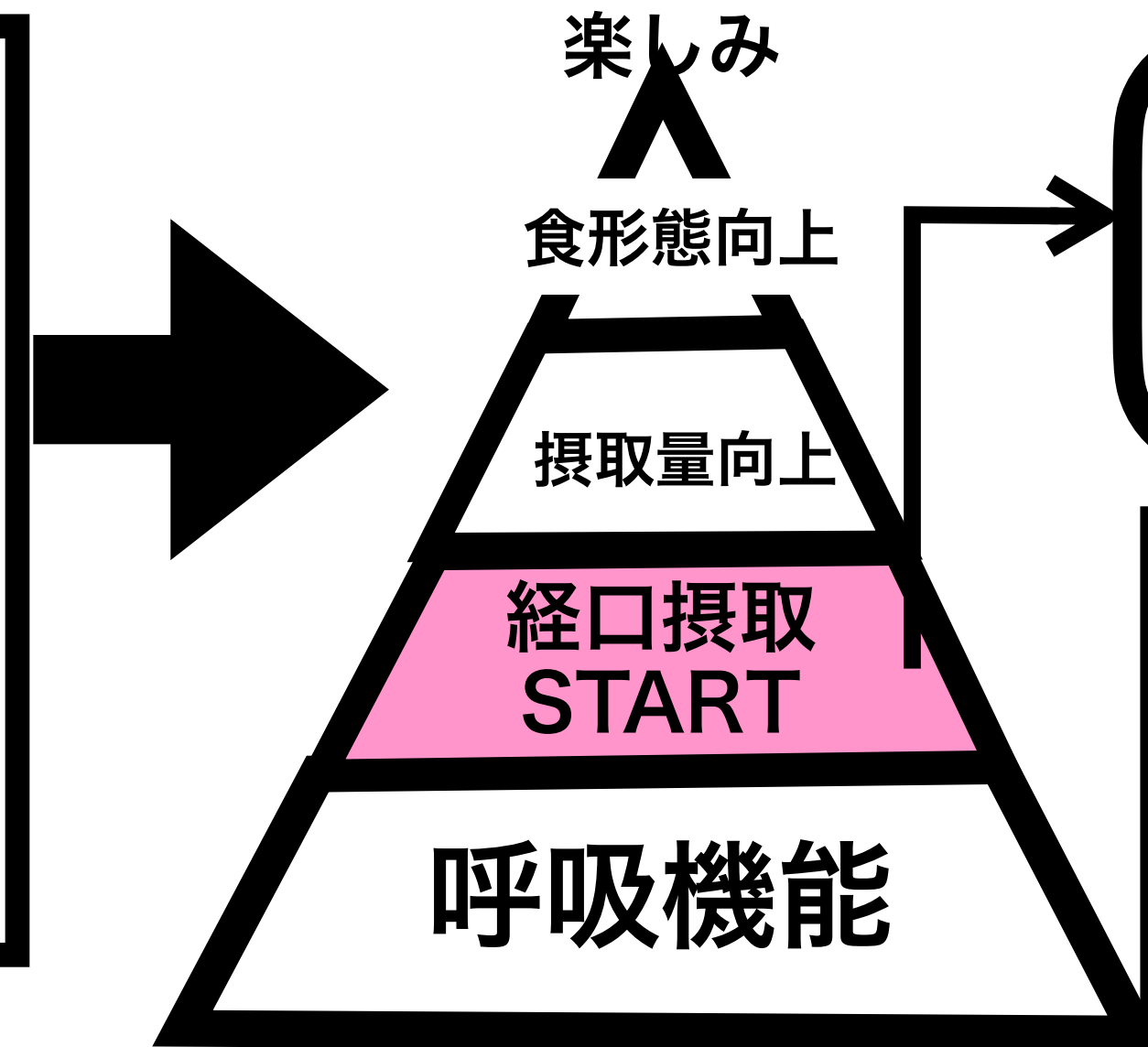


『咳嗽（腹圧）編』まとめ

嚥下評価

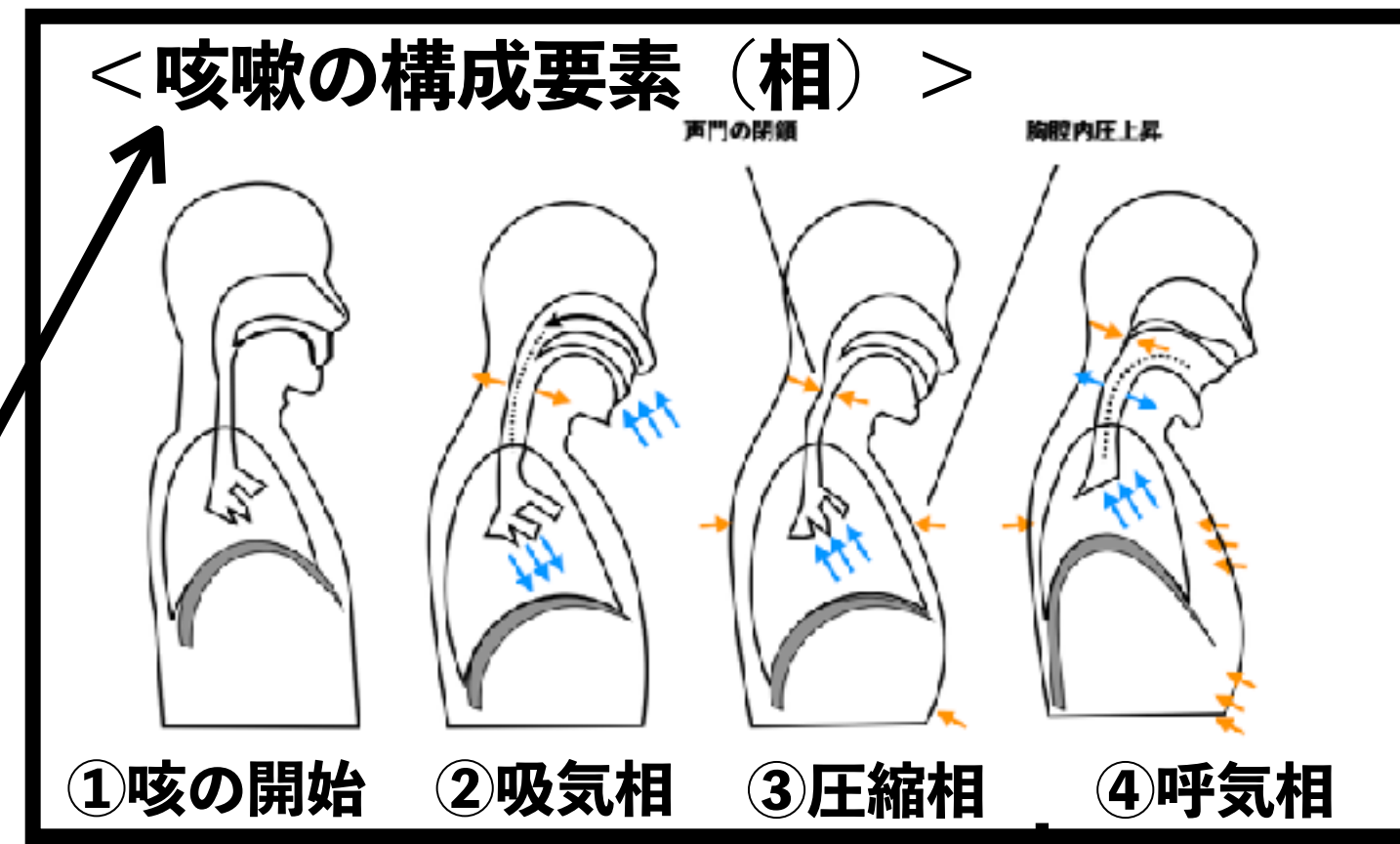
- ①覚醒
- ②脳神経評価（姿勢含む）
- ③口腔内環境
- ④嚥下反射・圧
→視診・触診

挙上範囲
スピード
筋活動（代償）

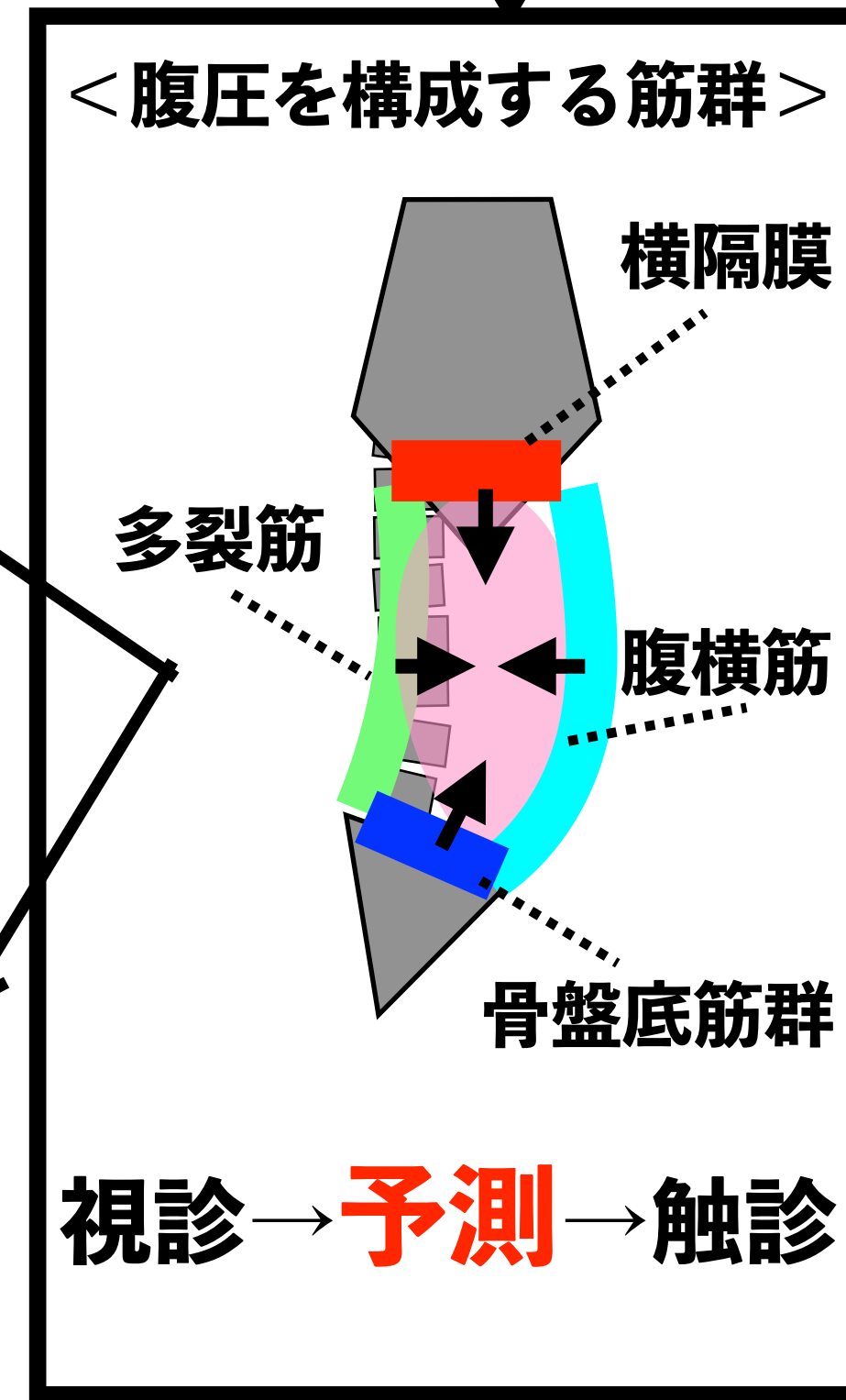
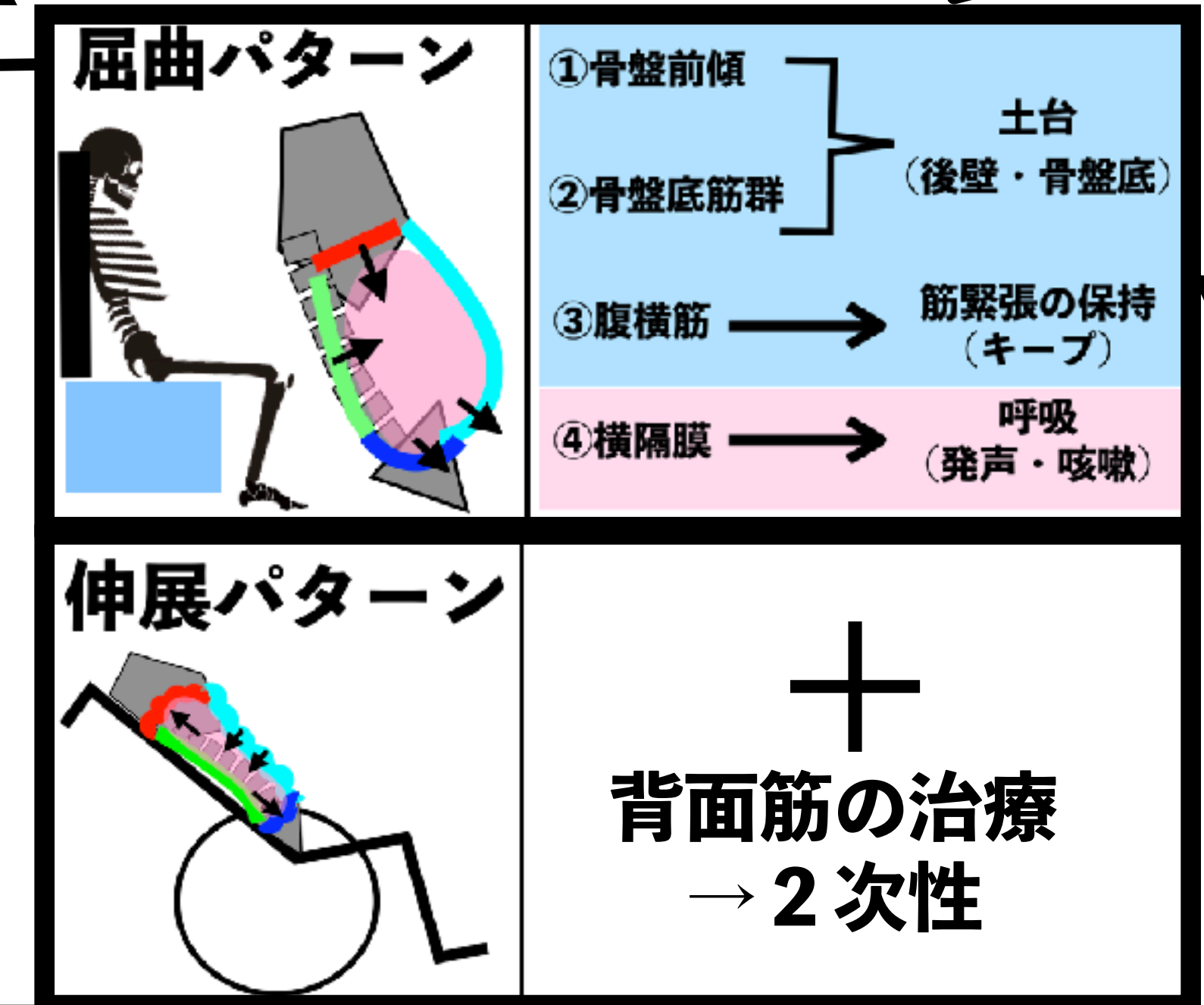


誤嚥防止機構（咳嗽）
排痰（画像・聴診）
1回換気量向上

咳嗽の定義
気道内に貯留した分泌物や異物を気道外に排除するための**生体防御反応**



- ①鼻呼吸 → 鼻・口呼吸の分離
- ②呼吸ストップ → 1回換気量
- ③呼吸パターン → 呼気→呼気
- ④誤嚥防止機構 → 咳嗽機能

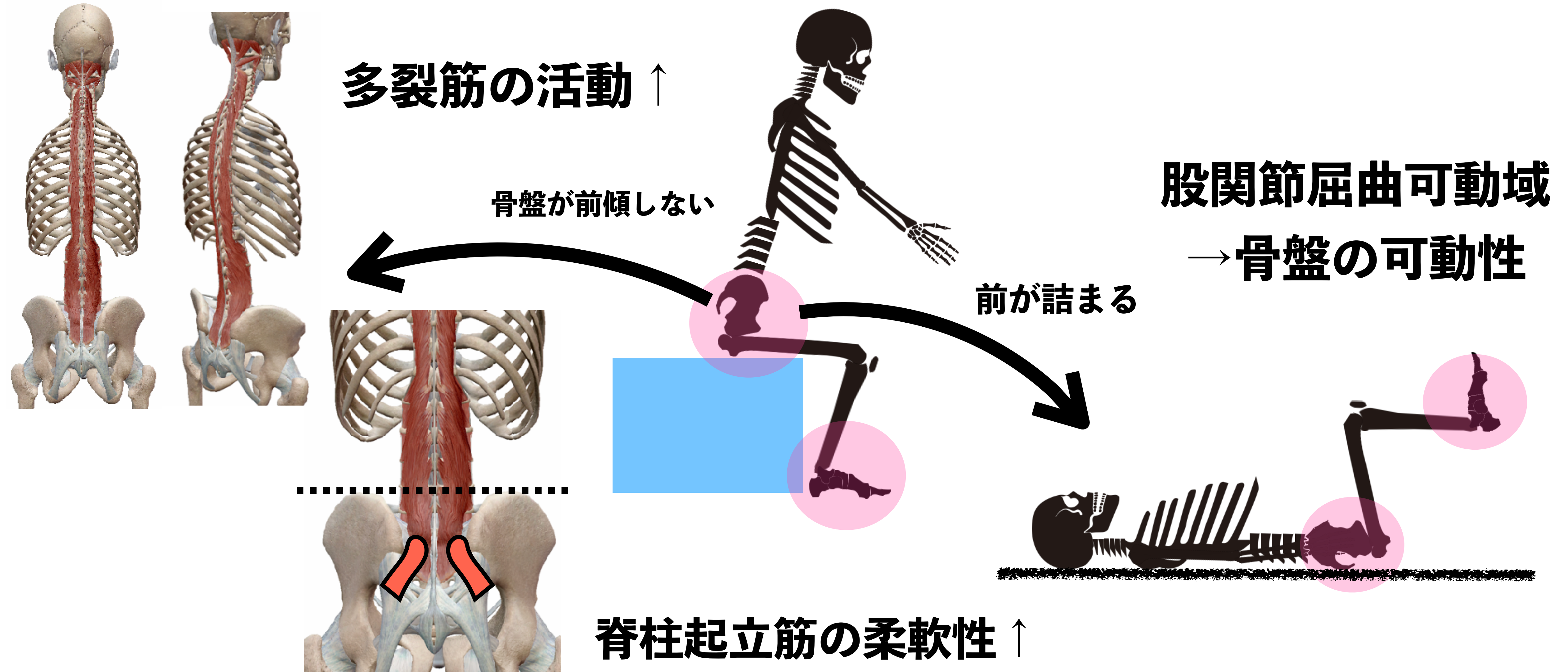


効果判定



①骨盤前傾

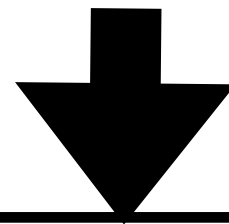
* 可動域・endfeel(最終域の抵抗感)



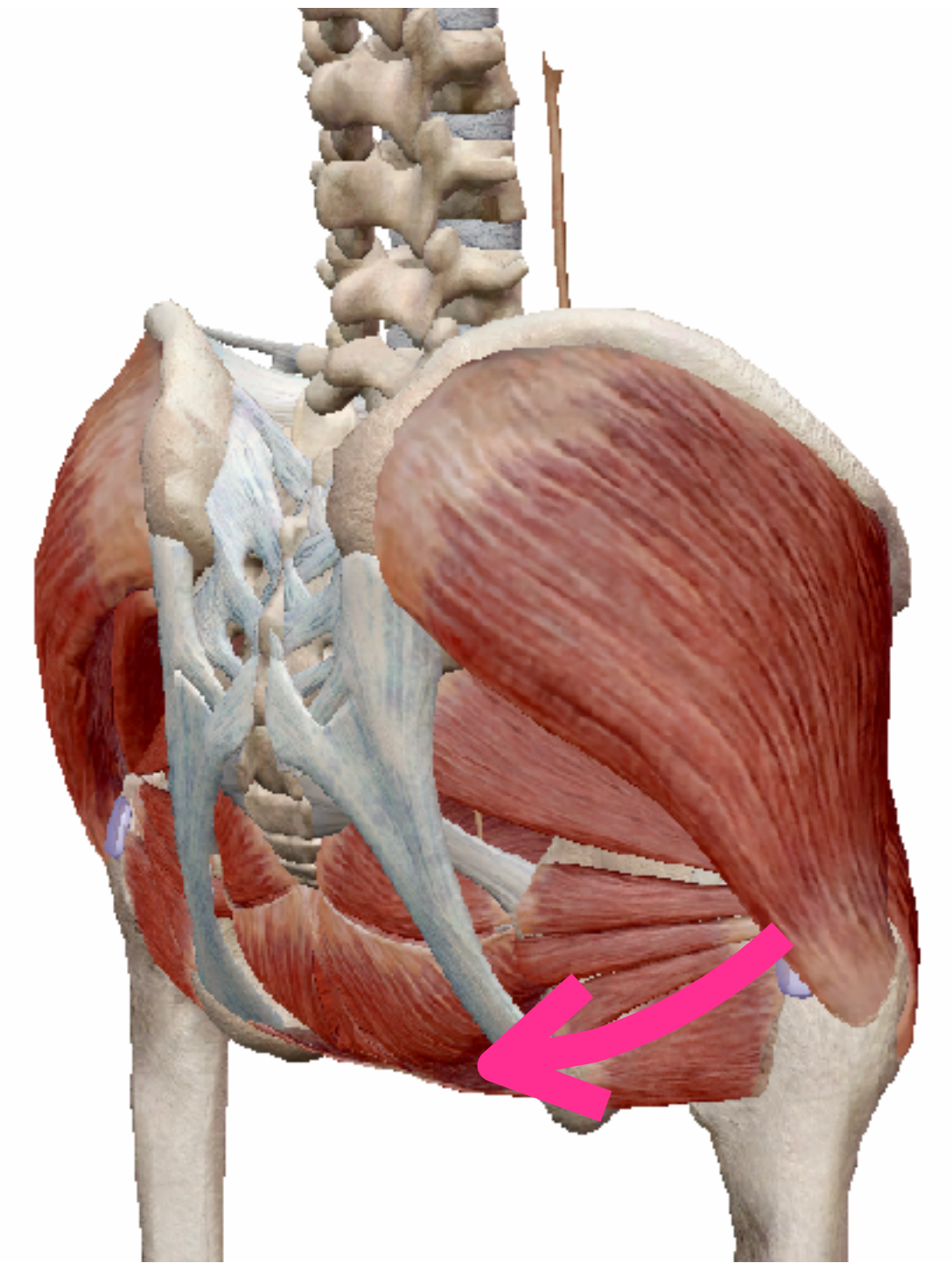
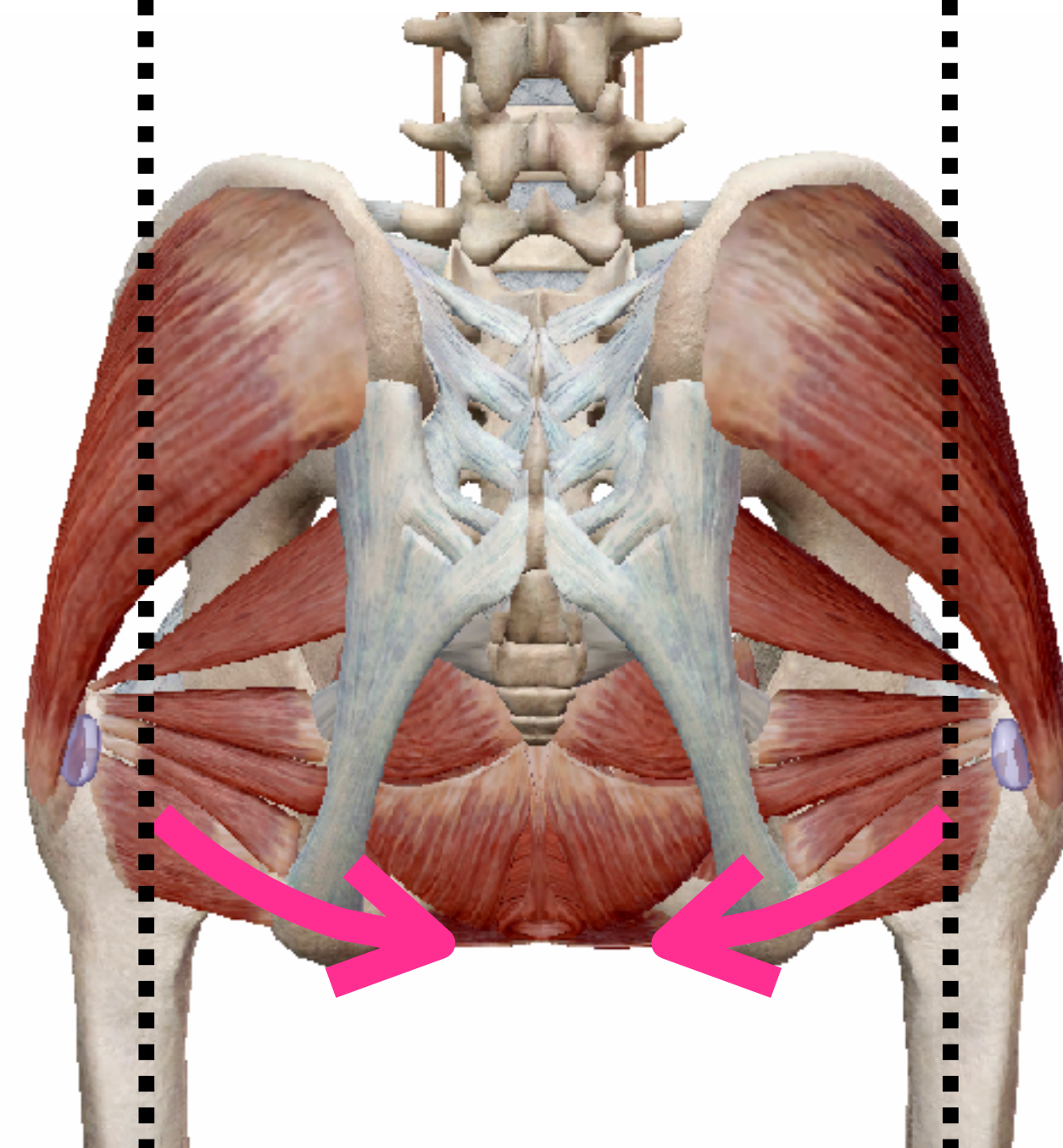
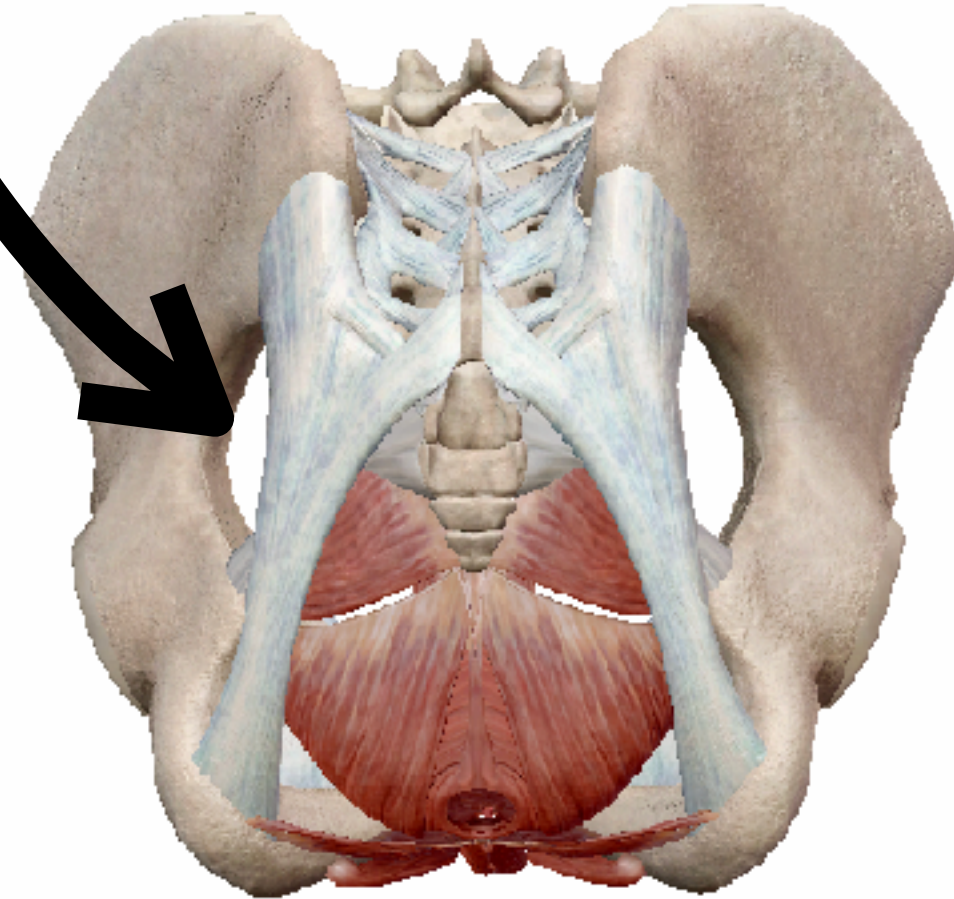
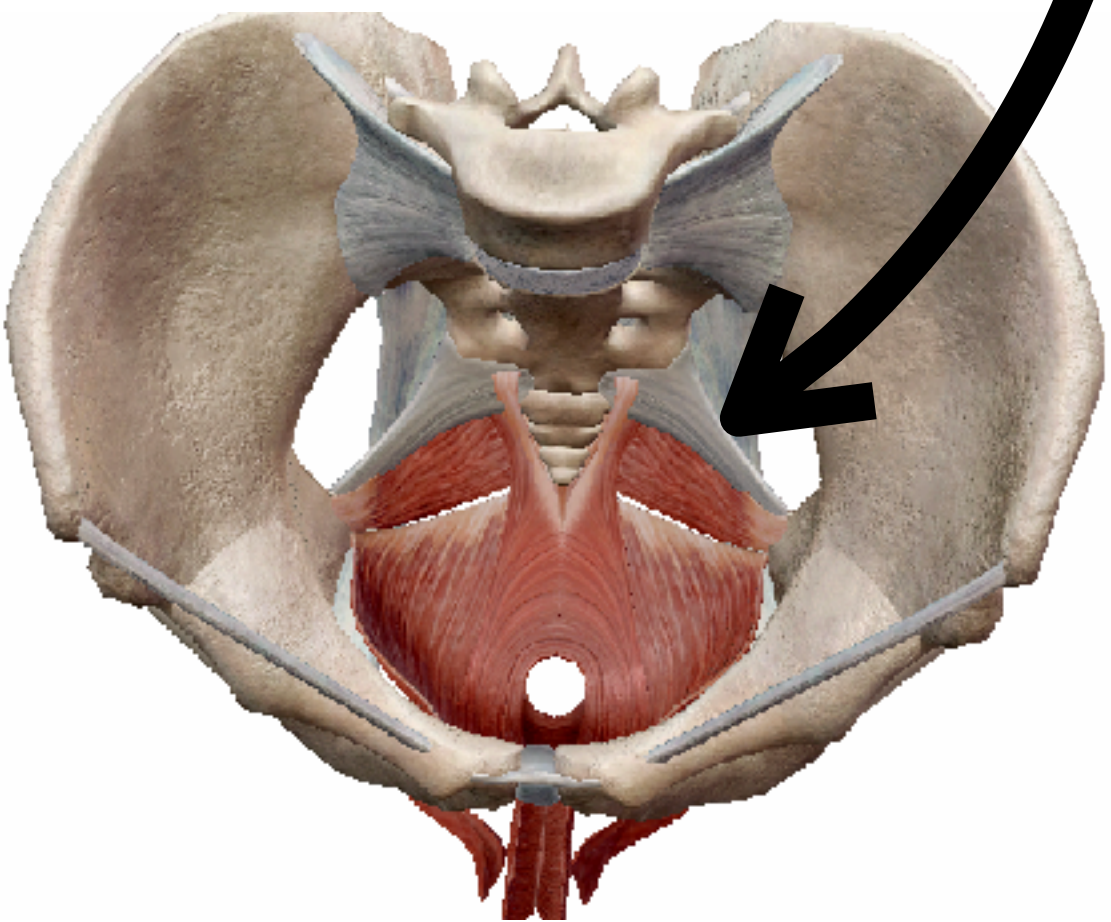
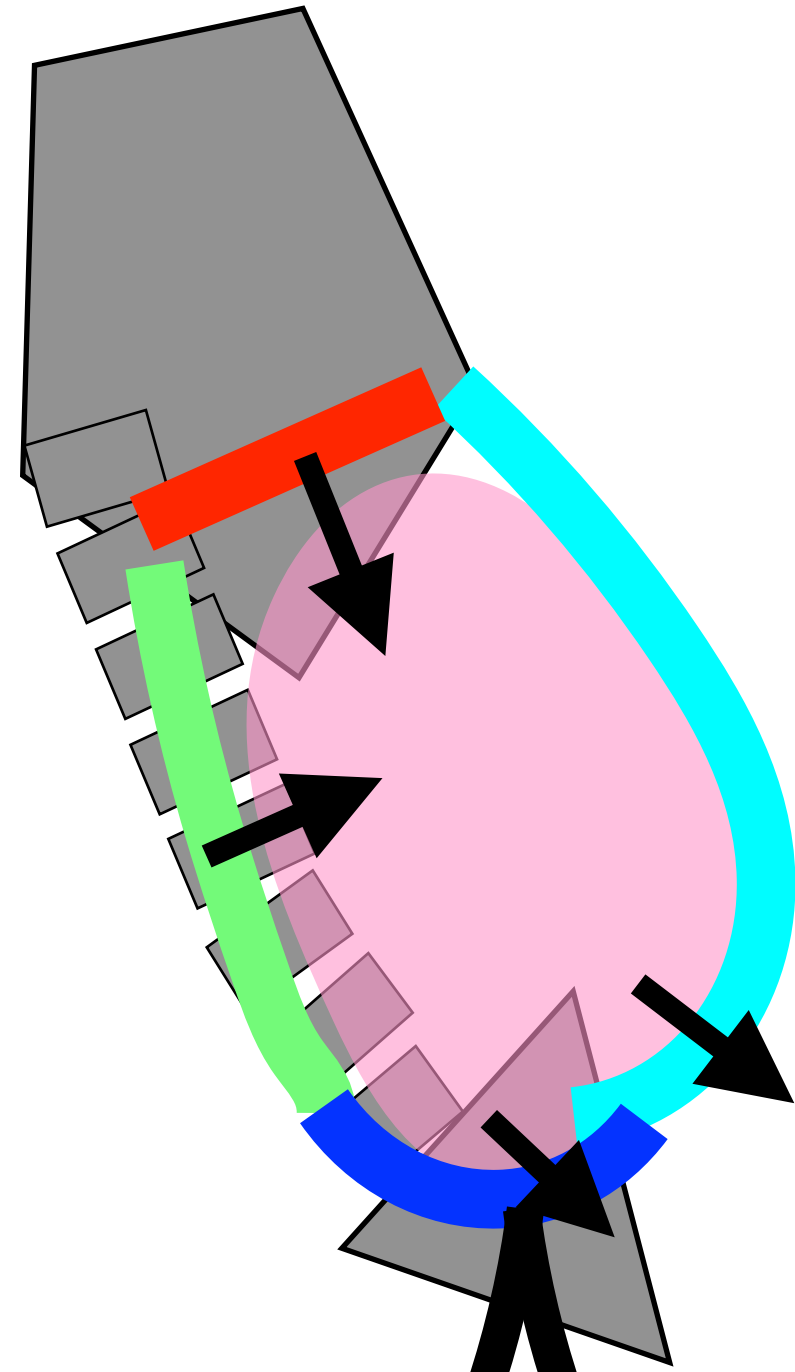


②骨盤底筋群→股關節內外転・内外旋

骨盤前傾位
股關節内転・内旋位

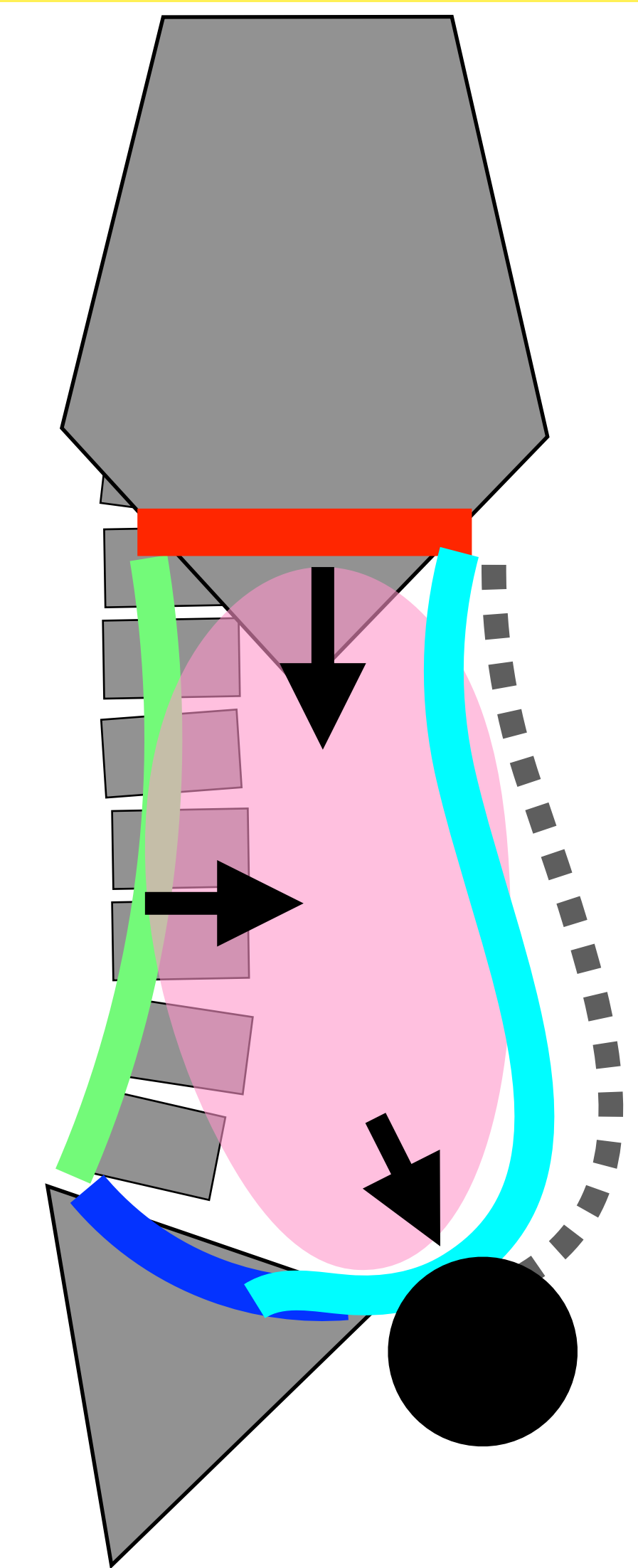
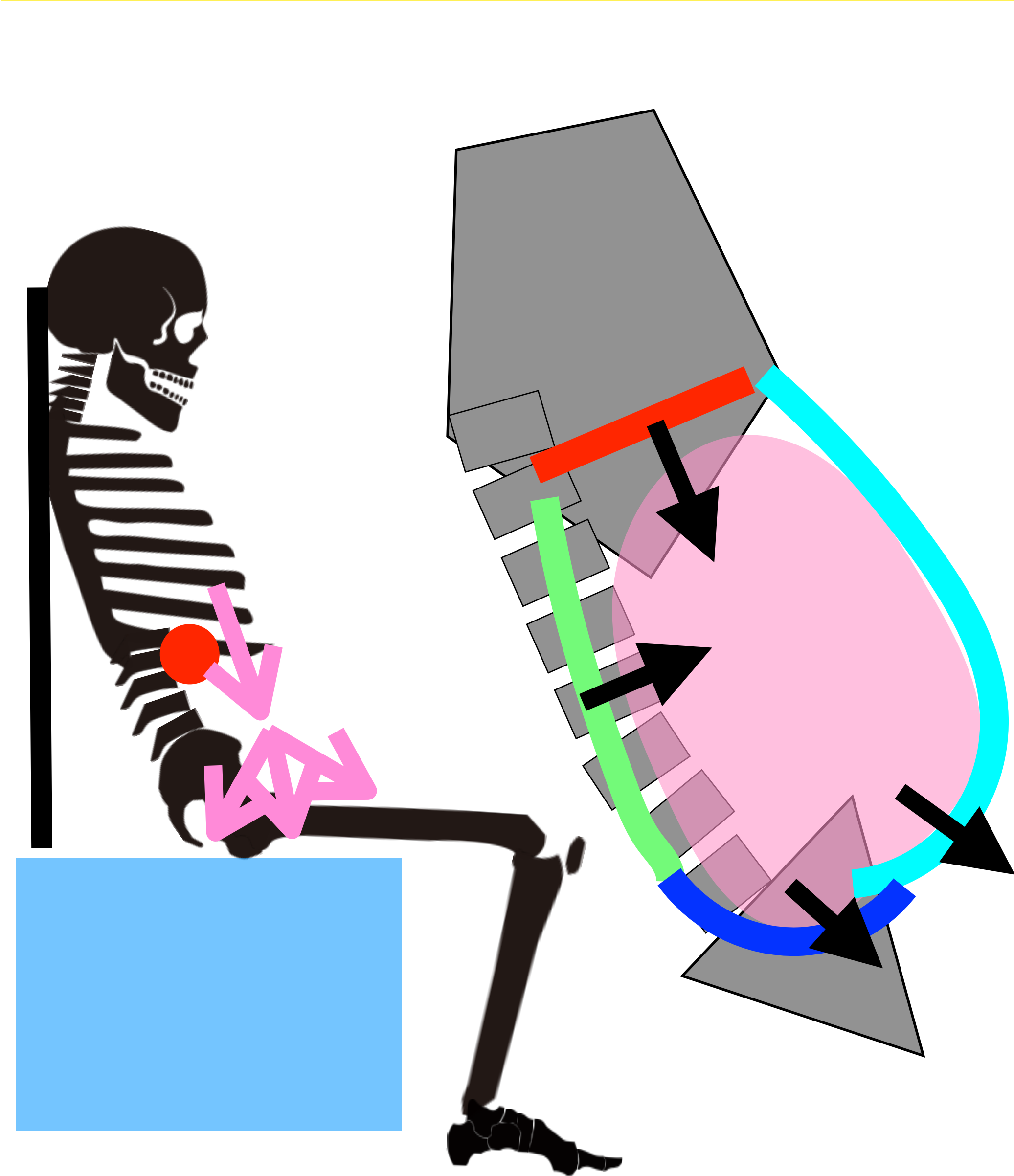


股關節外旋（外旋筋群）
→骨盤底筋群

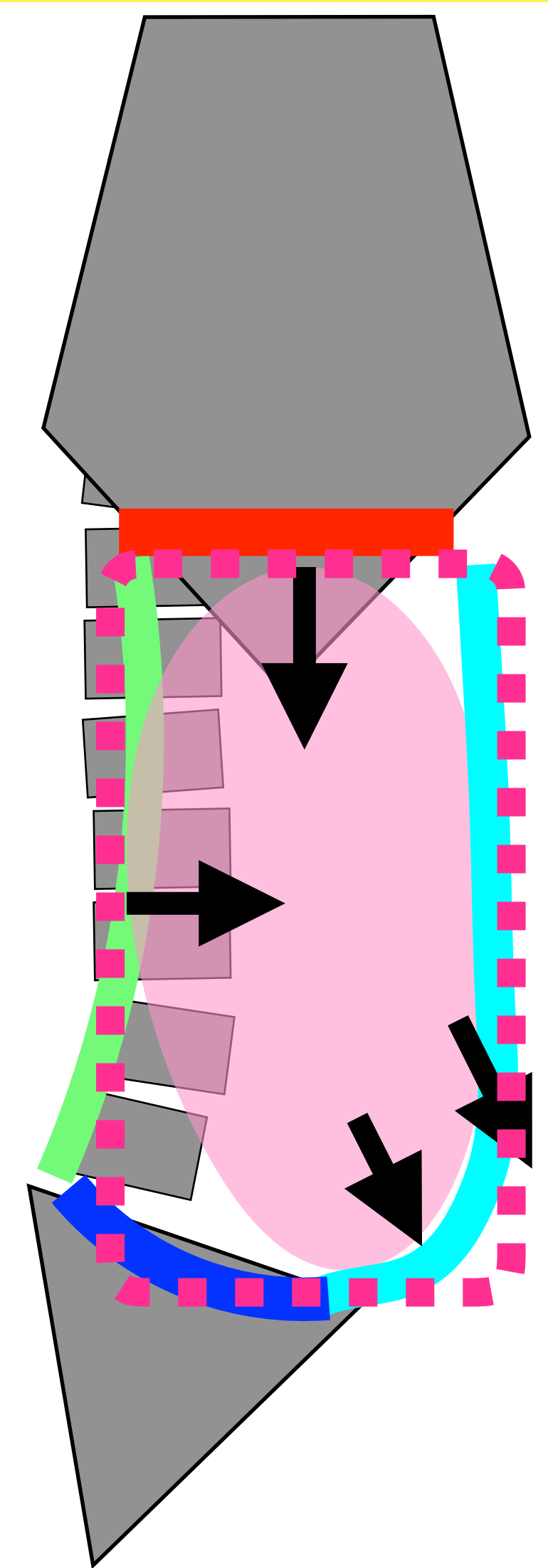




③物品を使う → 腹横筋 (前壁)



タオルを使う



コルセットを巻く



④横隔膜（発声・咳嗽）



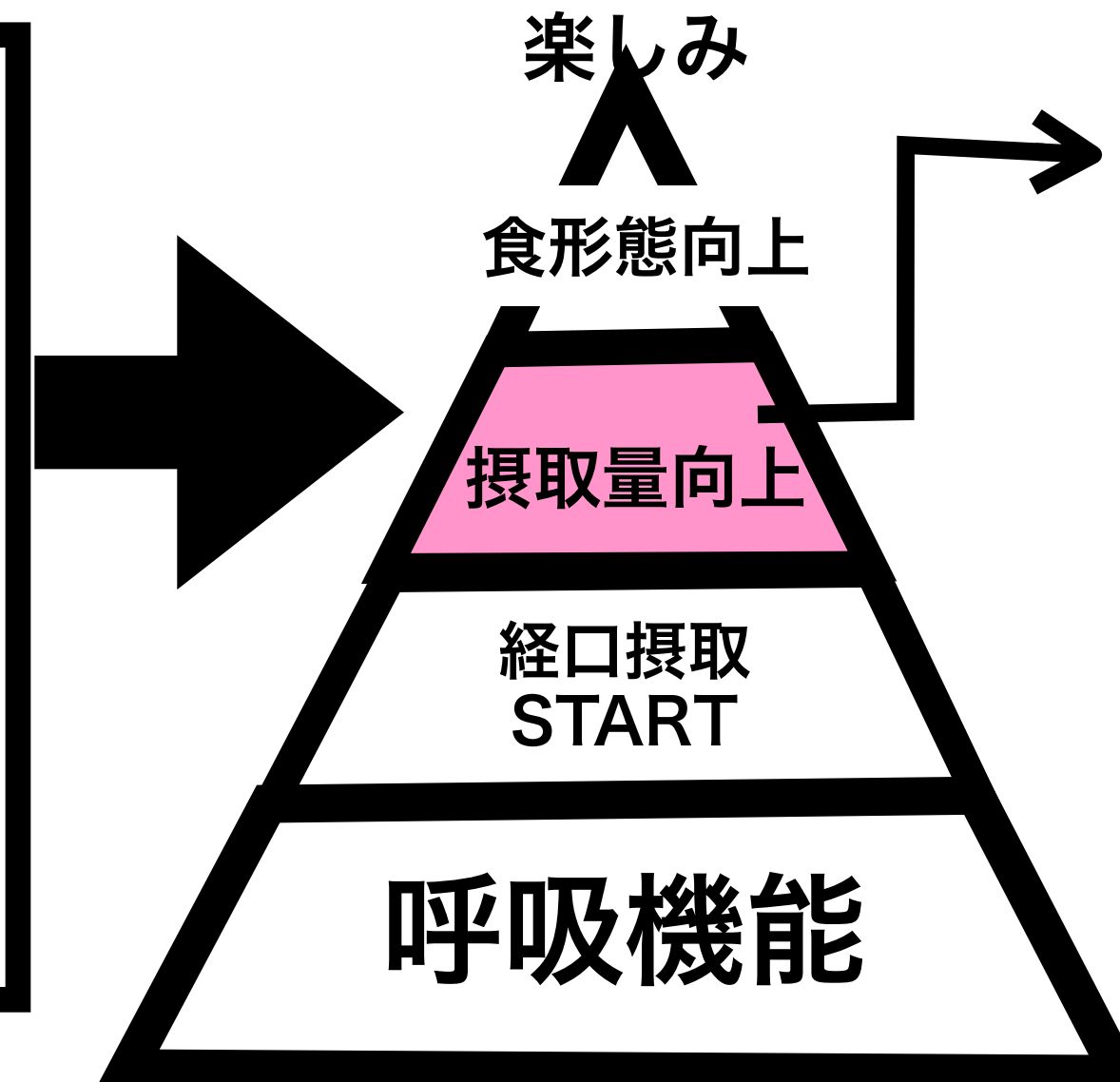


『胸郭・肩甲骨編』まとめ

嚥下評価

- ① 覚醒
- ② 脳神経評価 (姿勢含む)
- ③ 口腔内環境
- ④ 嚥下反射・圧
→ 視診・触診

挙上範囲
スピード
筋活動 (代償)



ADLでの座位保持機能
→ 呼吸・姿勢&嚥下

食事動作機能向上
座位保持・持久性

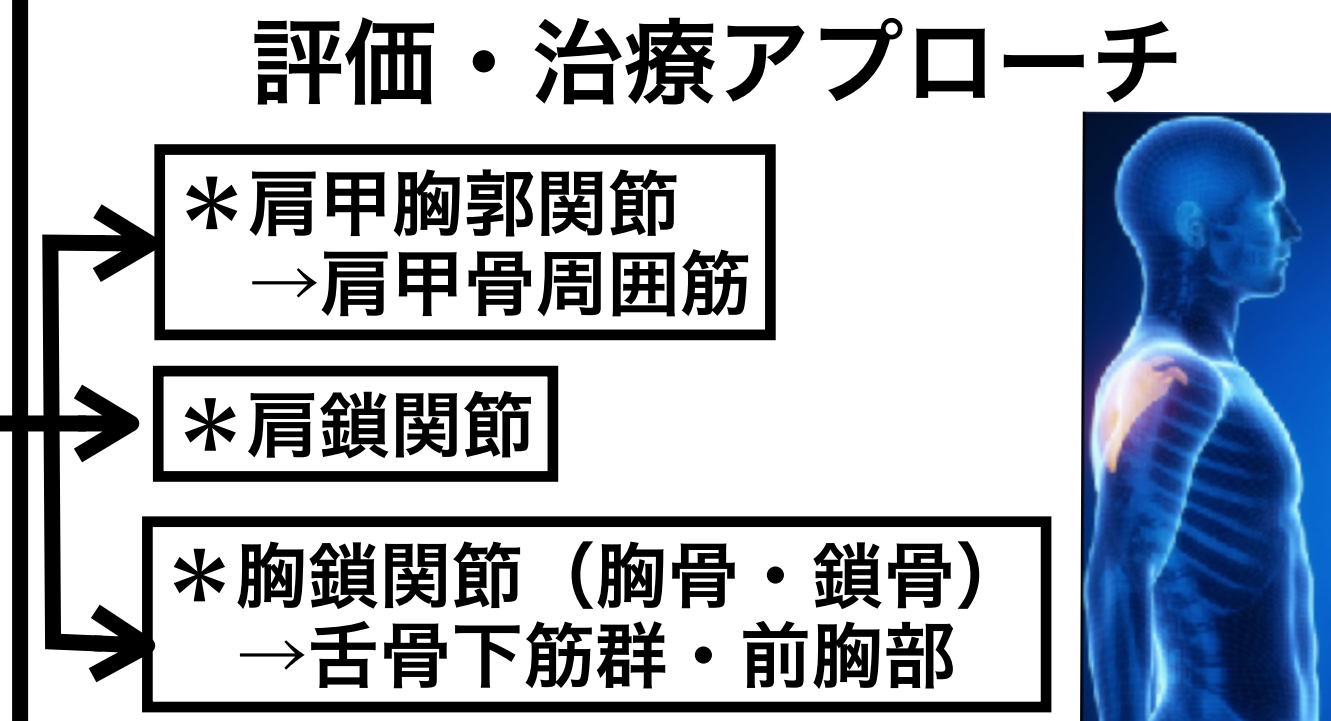
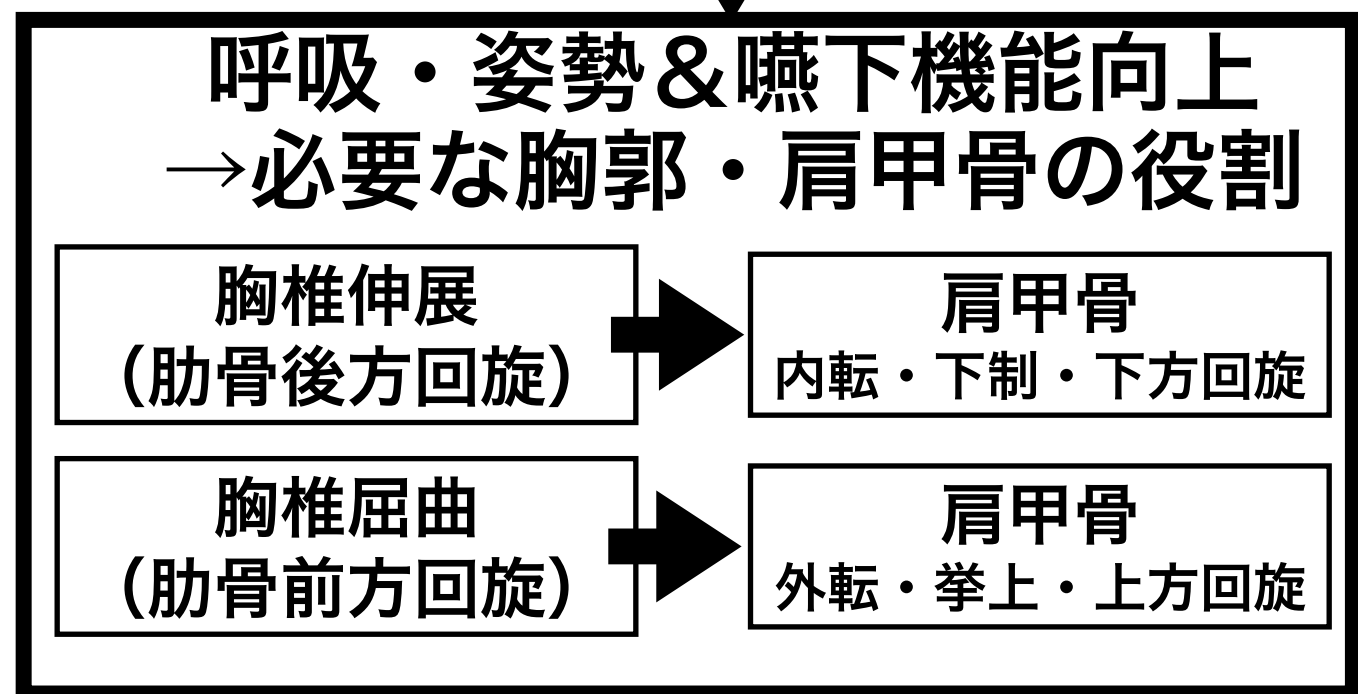
呼吸&嚥下

- ① 胸郭可動域
- ② 体位・機能的残機量
→ 換気量&換気効率↑

姿勢&嚥下

- ① 座位の構成要素
- ② 臥位・座位での腹圧の違い
→ 座位保持能力向上

- ① 鼻呼吸 → 鼻・口呼吸の分離
- ② 呼吸ストップ → 1回換気量
- ③ 呼吸パターン → 呼気→呼気
- ④ 誤嚥防止機構 → 咳嗽機能



効果判定

ADLでの座位保持機能 食事動作機能向上
→ 呼吸・姿勢&嚥下 **座位保持・持久性**

- ① 可動域向上
- ② 筋緊張・出力向上

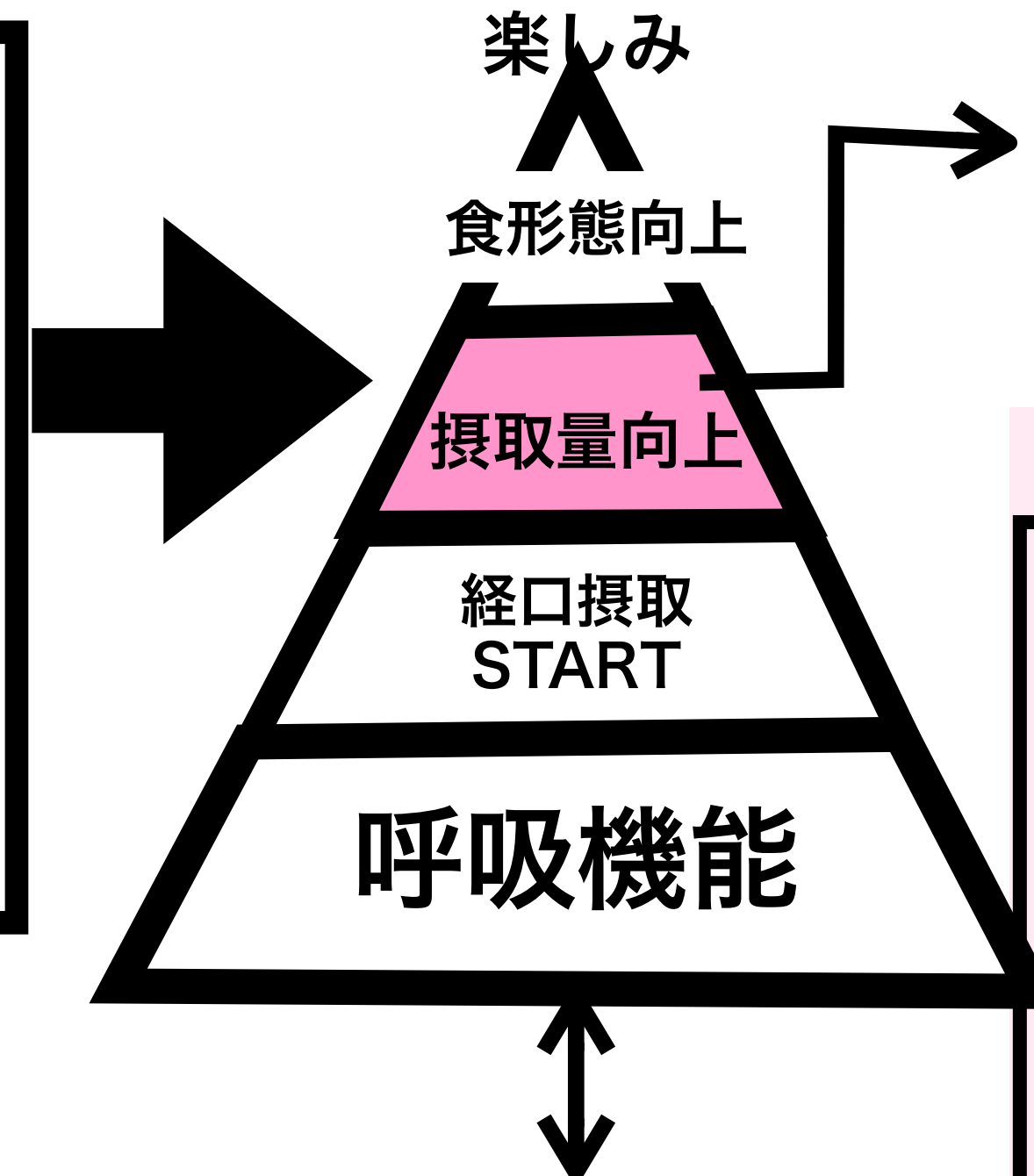


呼吸&嚥下コース 『胸郭・肩甲骨編』

嚥下評価

- ① 覚醒
- ② 脳神経評価 (姿勢含む)
- ③ 口腔内環境
- ④ 嚥下反射・圧
→ 視診・触診

挙上範囲
スピード
筋活動 (代償)

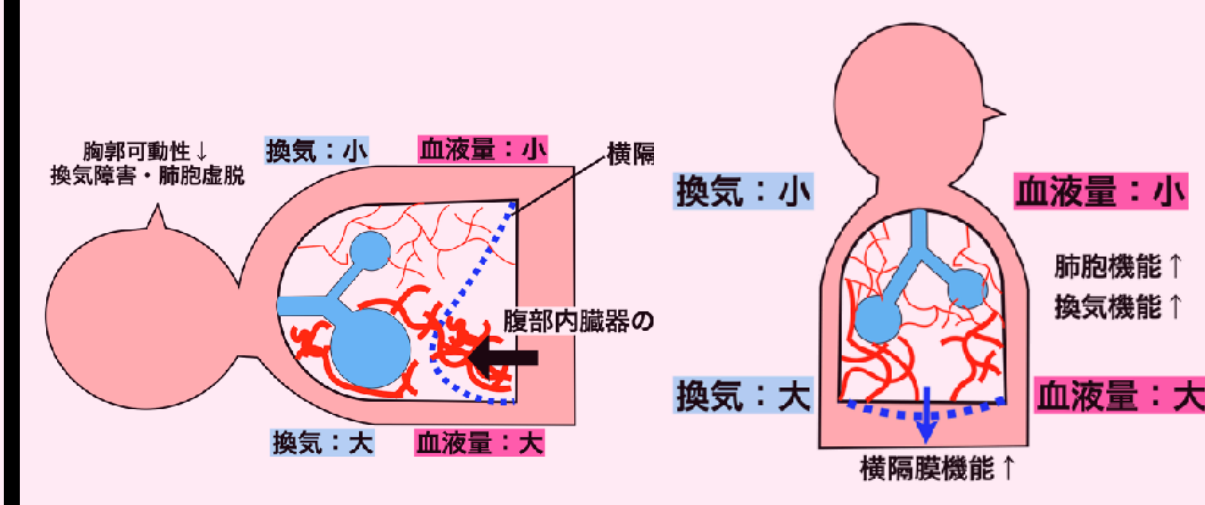
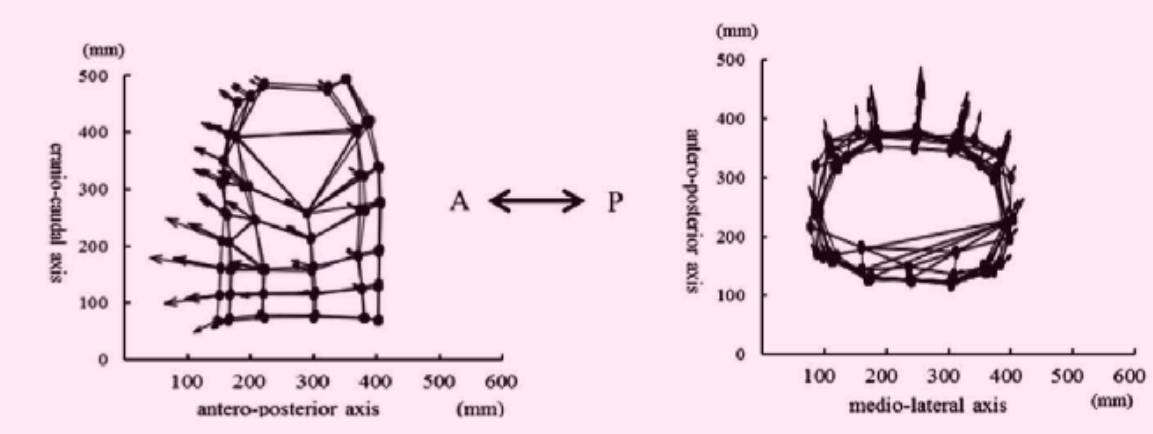


ADLでの座位保持機能
→ 呼吸・姿勢&嚥下

食事動作機能向上
座位保持・持久性

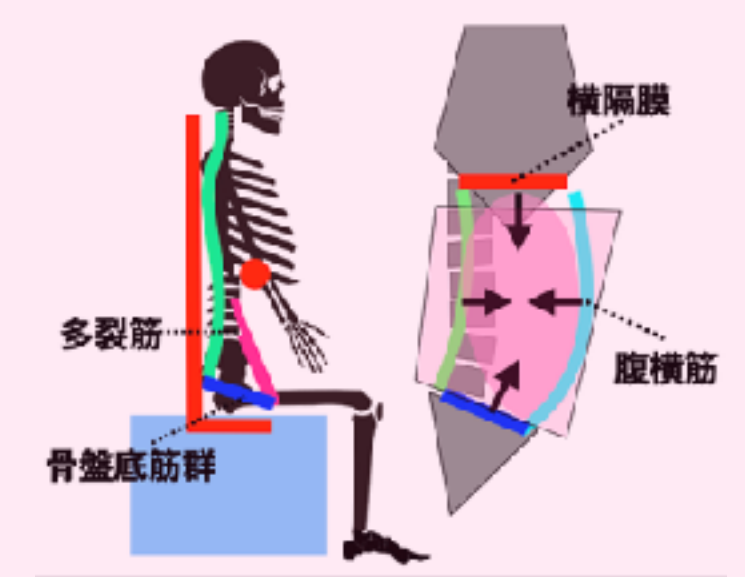
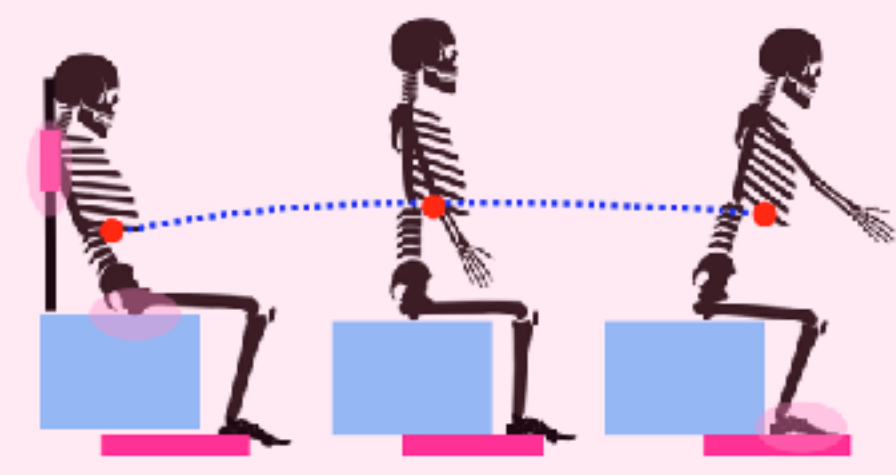
呼吸&嚥下

- ① 胸郭可動域
- ② 体位・機能的残機量
→ 換気量&換気効率 ↑



姿勢&嚥下

- ① 座位の構成要素
- ② 臥位・座位での腹圧の違い
→ 座位保持能力向上

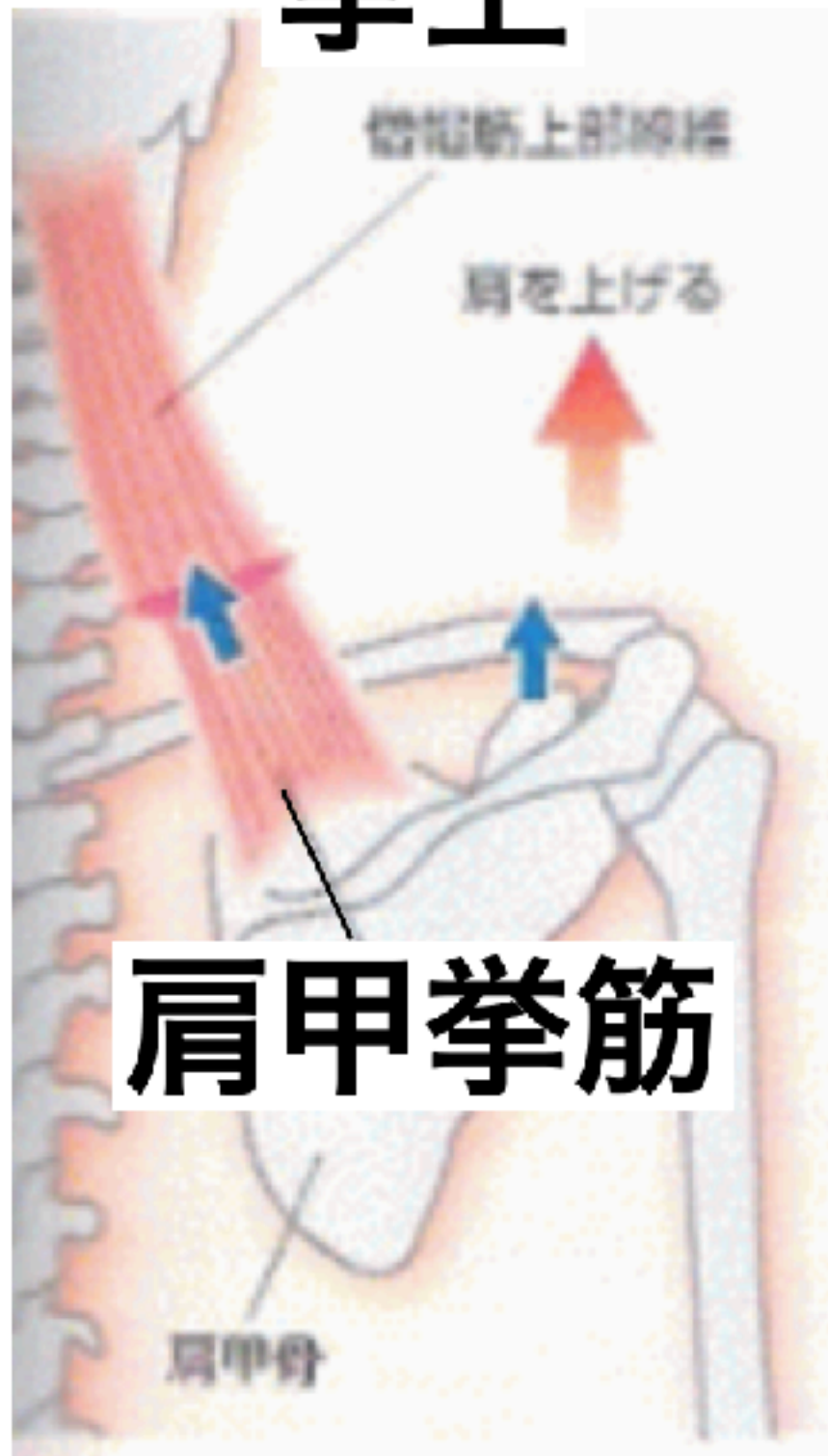


- ① 鼻呼吸 → 鼻・口呼吸の分離
- ② 呼吸ストップ → 1回換気量
- ③ 呼吸パターン → 呼気→呼気
- ④ 誤嚥防止機構 → 咳嗽機能



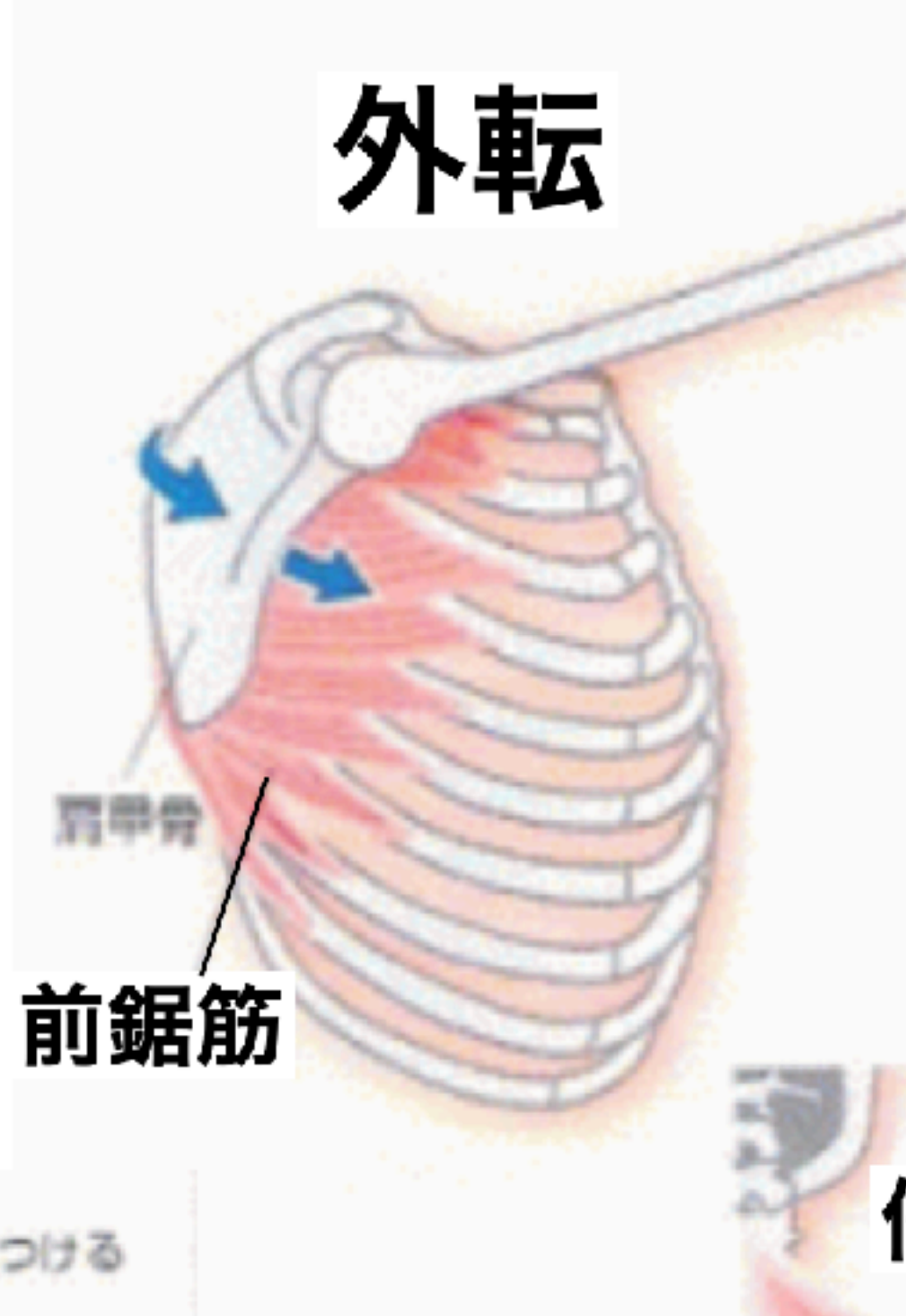
肩甲骨の動きと作用する筋肉について

挙上



肩甲骨挙筋

外転



前鋸筋

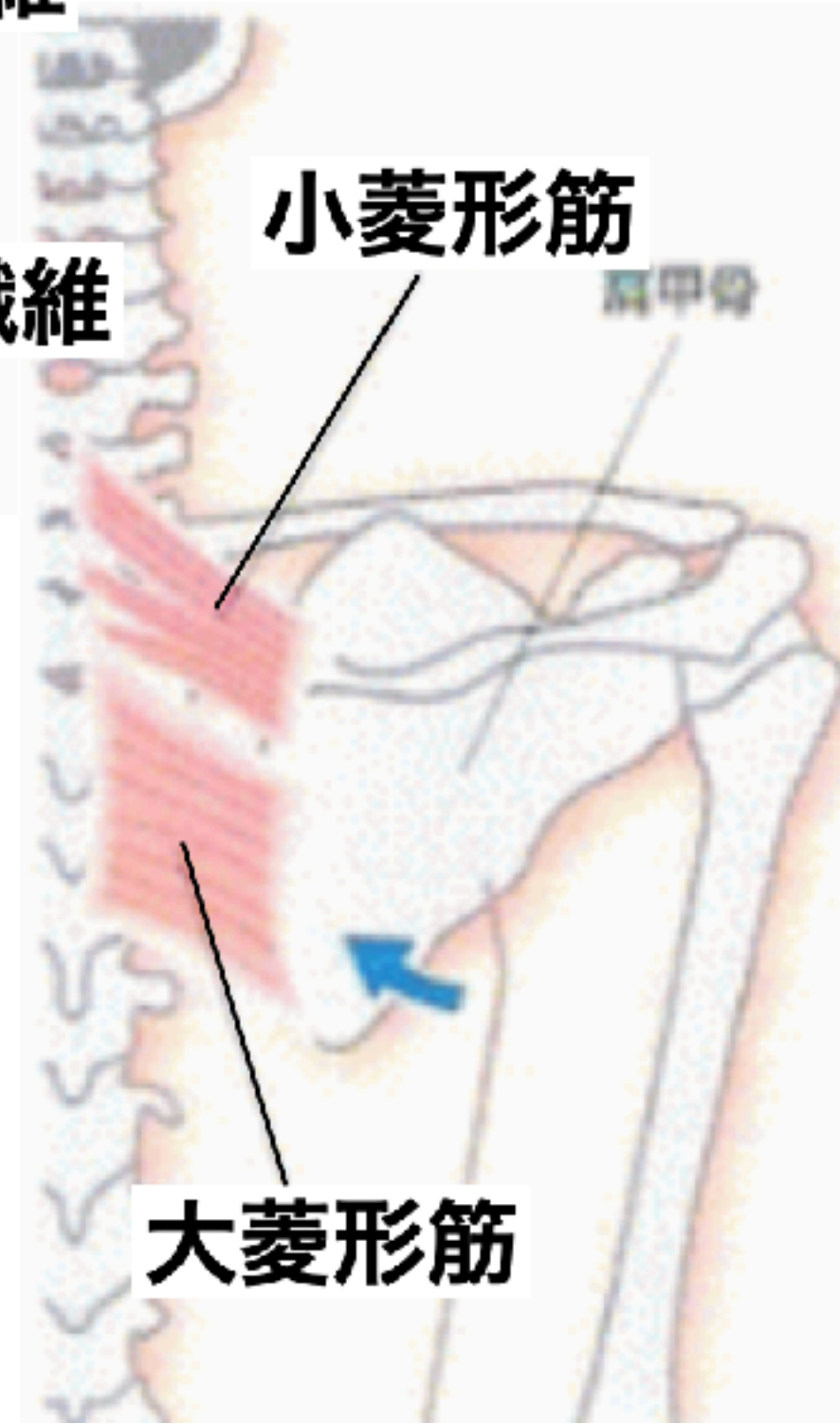
上方回旋



僧帽筋上部繊維

僧帽筋中部繊維

下方回旋

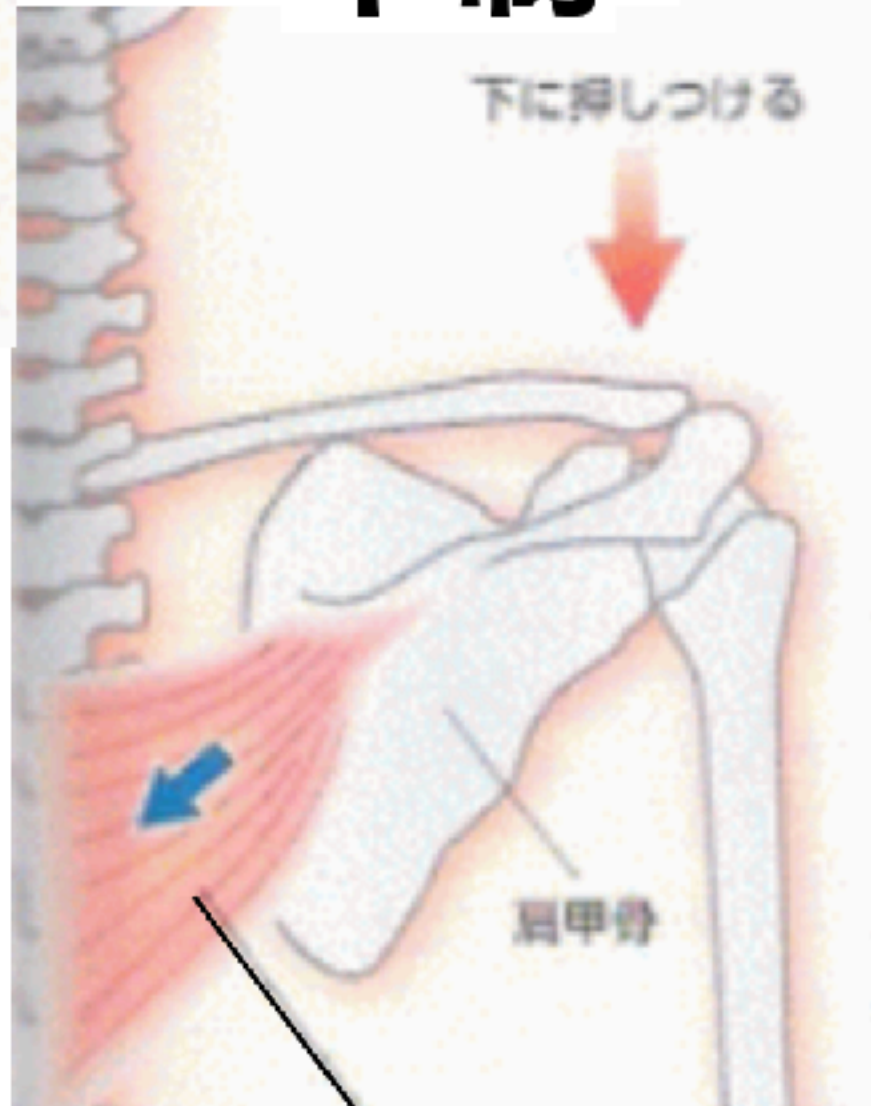


僧帽筋下部繊維

小菱形筋

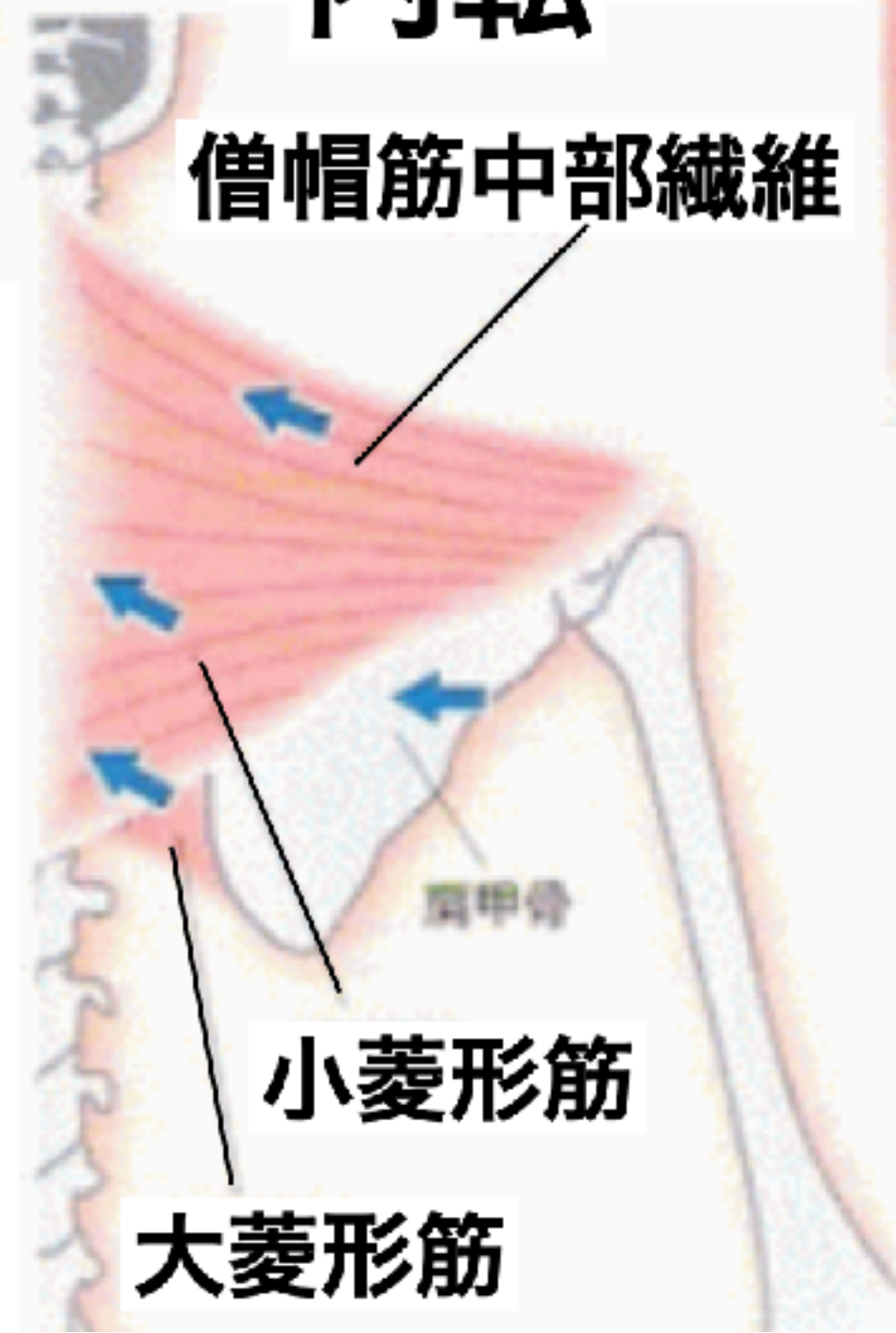
大菱形筋

下制



僧帽筋下部繊維

内転



僧帽筋中部繊維

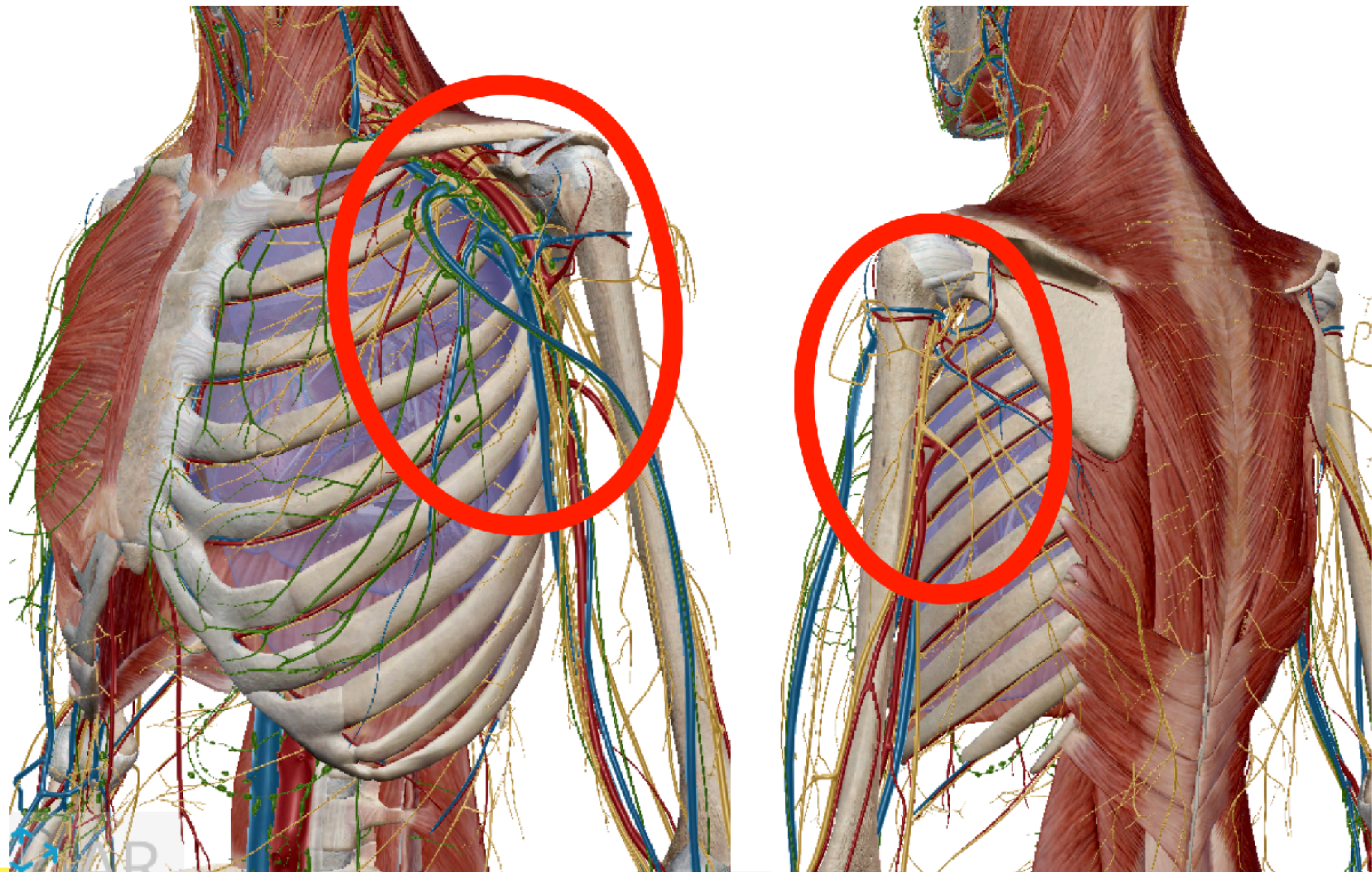
小菱形筋

大菱形筋



胸郭(肋骨)・肩甲骨の評価・治療アプローチ

胸郭可動性向上の為に血管・神経・リンパを考える



筋肉の循環改善



血流改善
(静脈還流)

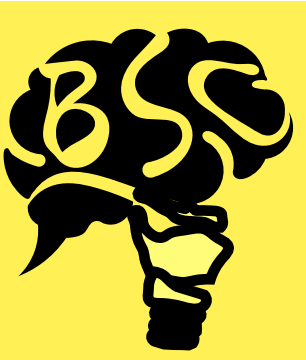


神経の電気信号 ↑



呼吸筋の反応性 ↑

胸筋・腋窩後面筋群のアプローチが重要！



呼吸・嚥下機能向上に繋がる頭頸部・体幹の評価・治療アプローチ

呼吸機能

口呼吸・鼻呼吸の分離
口腔嚥下機能向上
→舌・咀嚼・歯

ADLでの座位保持機能
→呼吸・姿勢&嚥下
食事動作機能向上

起居

誤嚥防止機構（咳嗽）
排痰（画像・聴診）
1回換気量向上

呼吸&嚥下
部位別

頭頸部

&

体幹

嚥下評価

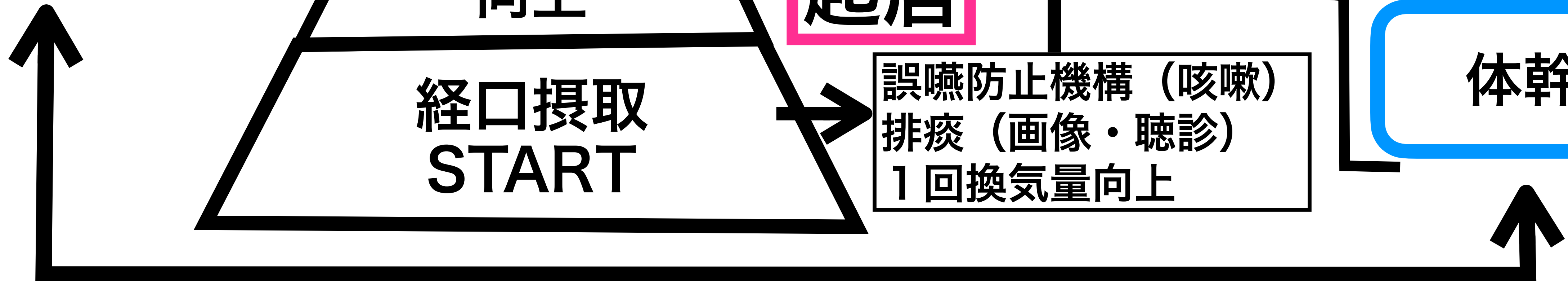
食事場面での評価
直接訓練 (bedside)
嚥下スクリーニング評価

楽しみ

食形態
向上

摂取量
向上

経口摂取
START

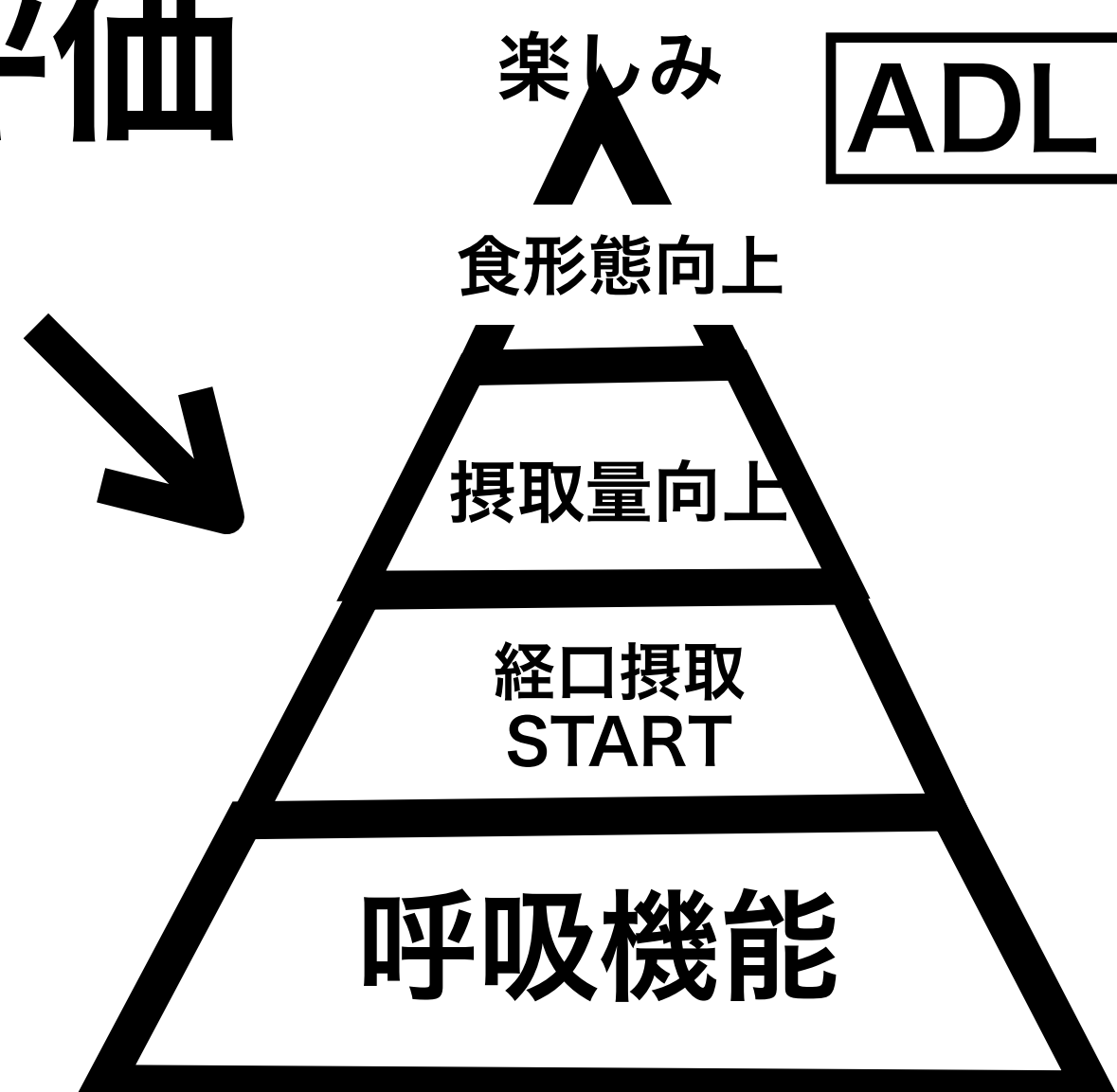




<サロン嚥下セミナーゴール>

呼吸・嚥下機能向上に繋がる頭頸部・体幹の評価・治療アプローチ

嚥下評価



ADL (移乗・トイレ・整容・移動)

起居

臥位 (臥床)

頭頸部

&

体幹

呼吸機能

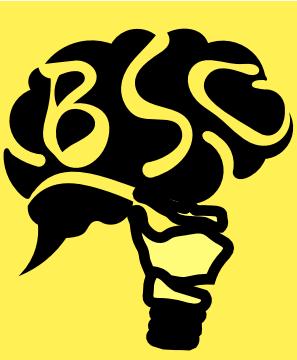
<サロン嚥下セミナーゴール>
起居動作でどのように

嚥下・呼吸機能を評価・治療アプローチ

しているのかを考える

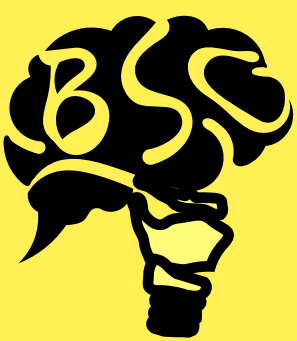


嚥下障害の呈する方のADLのイメージは？



起居とは？

立ったり、座ったりすること。立ち振る舞い



起居動作とは？

＊重心の位置を水平方向や垂直方向に移動し、支持基底面の広さが刻々と移り変わる不安定な平衡状態から、安定した合目的的な静的姿勢を構築する一連の動作過程である。

＊起居動作には、寝返り、起き上がり、椅子や床からの立ち上がり動作などがある。下肢筋力やバランス能力、体幹機能などさまざまな身体機能との関係があり、その評価は身体機能を総合的に捉えるために非常に有用である。



起居動作とは？

基本動作

起居動作

- *寝返り
- *起き上がり
- *ベッド上移動
- *座位・立ち上がり

移乗動作

- *座位
- *立ち上がり
- *立位保持
- *方向転換
- *着座

移動動作

- *歩行
- *車椅子



嚙下障害を呈する方の起居について

基本動作

起居動作

- *寝返り
- *起き上がり
- *ベッド上移動
- *座位・立ち上がり

代償

移乗動作

- *座位
- *立ち上がり
- *立位保持
- *方向転換
- *着座

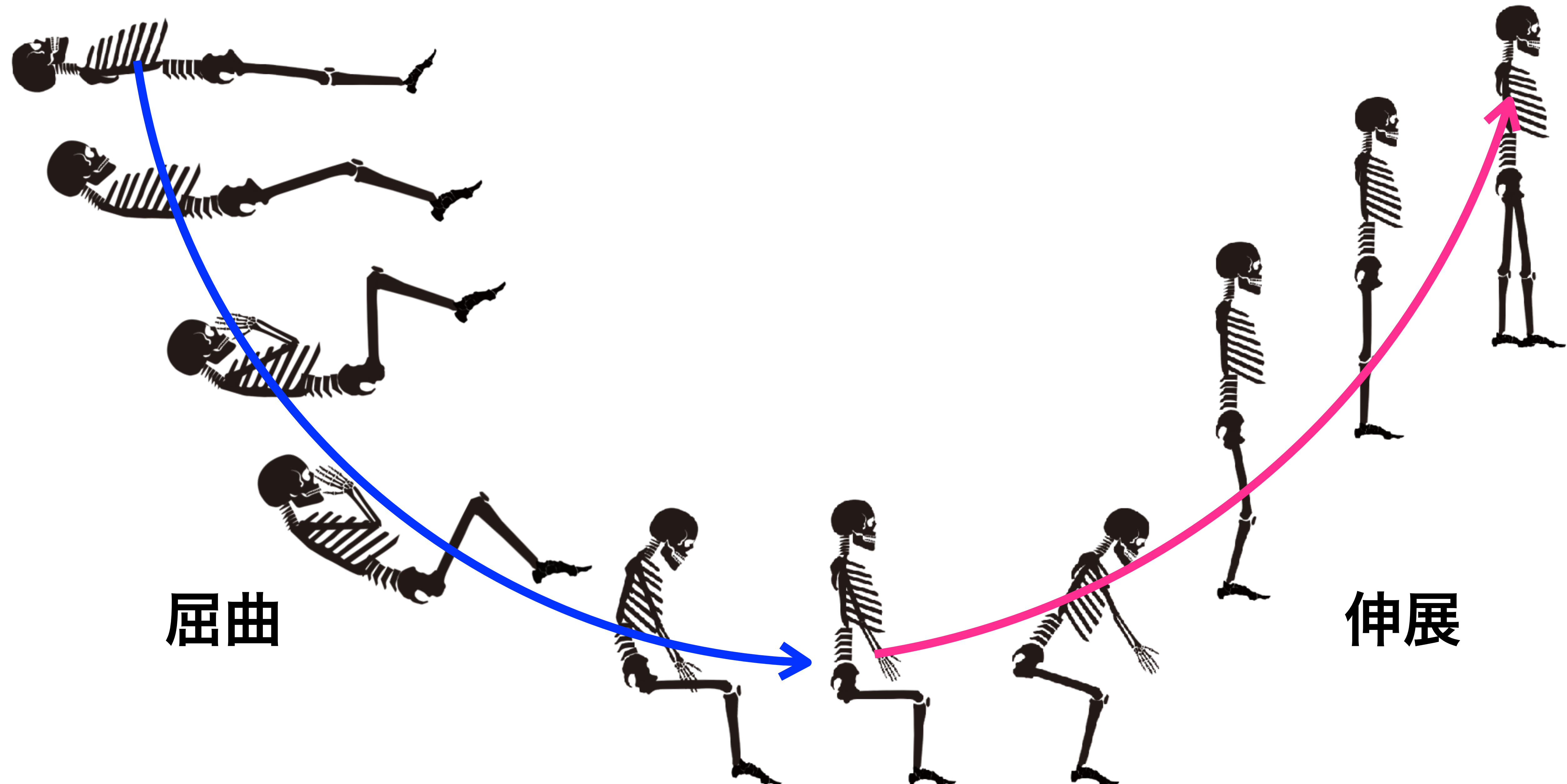
代償

移動動作

- *歩行
- *車椅子

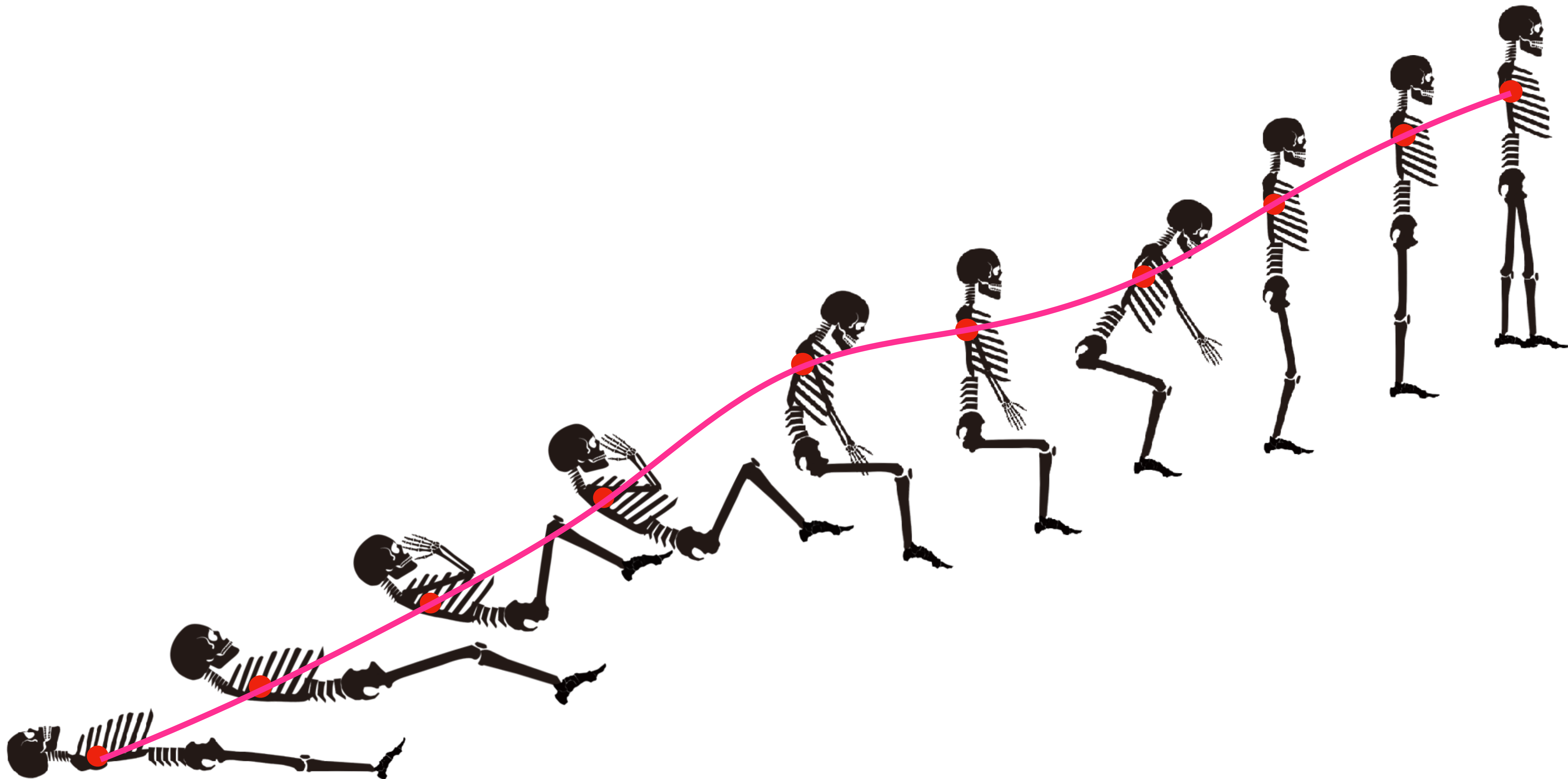


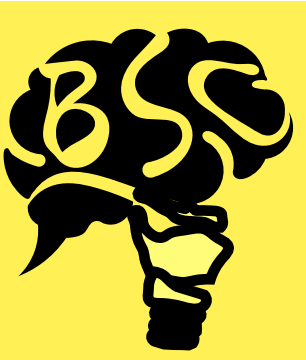
起居～移動までの運動パターンについて





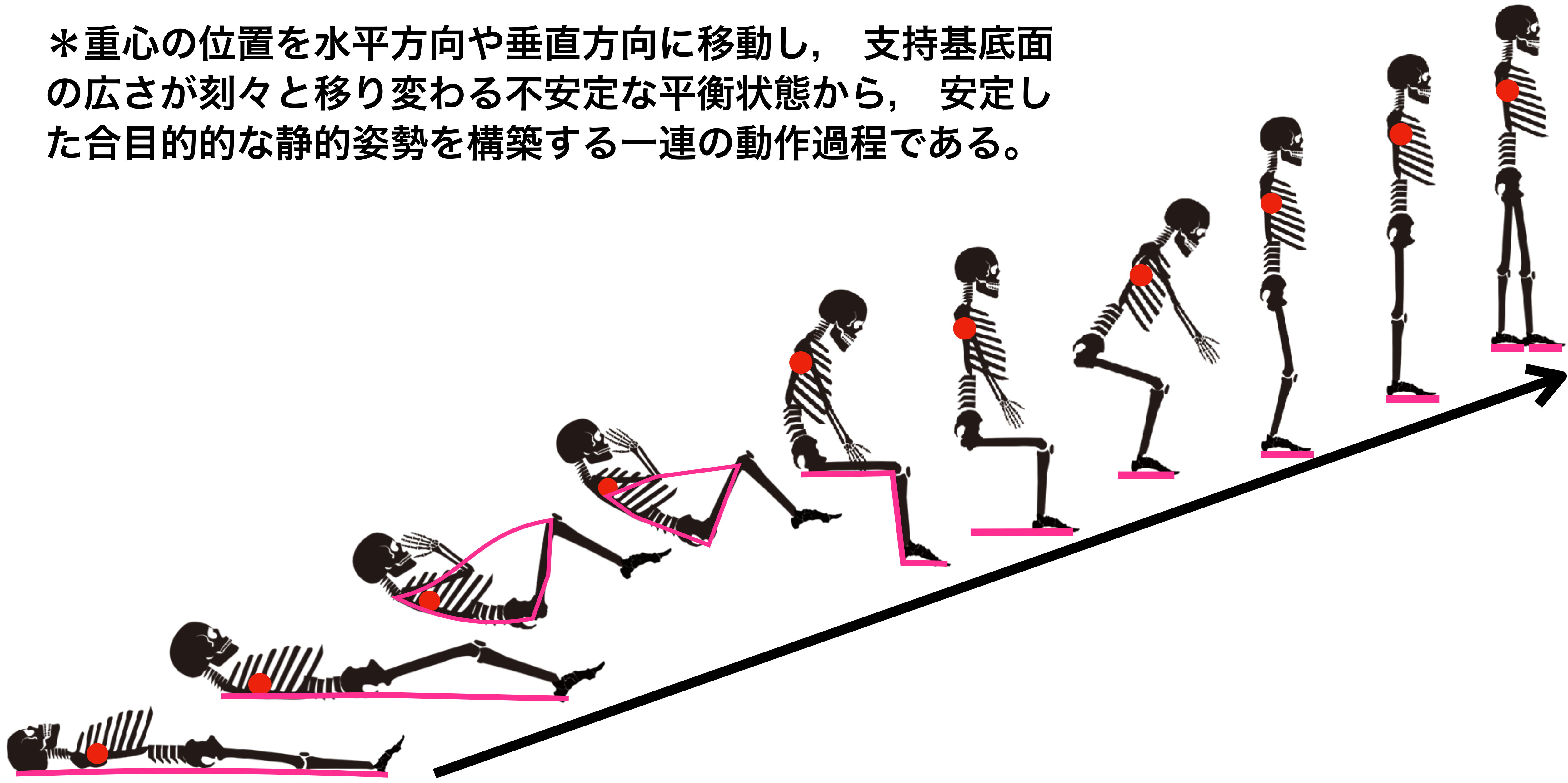
起居～移動までの重心の移動について





起居～移動までの支持基底面について

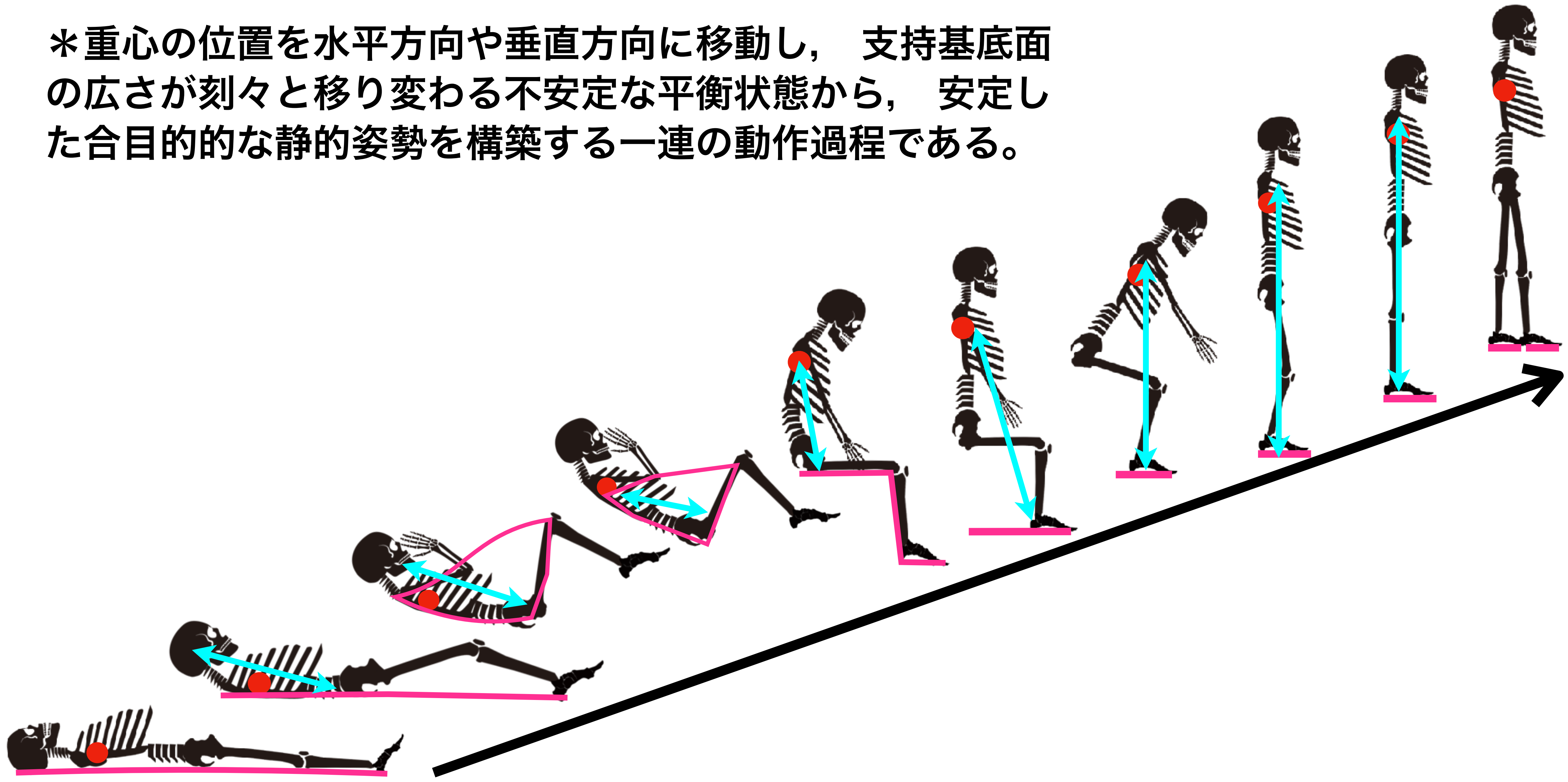
*重心の位置を水平方向や垂直方向に移動し、支持基底面の広さが刻々と移り変わる不安定な平衡状態から、安定した合目的な静的姿勢を構築する一連の動作過程である。

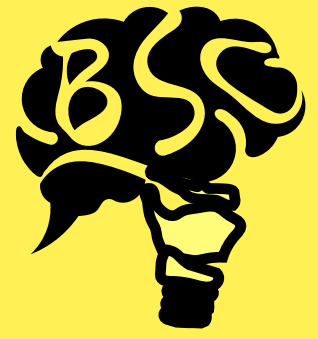




起居～移動までの支持基底面内での重心移動のベクトル

*重心の位置を水平方向や垂直方向に移動し、支持基底面の広さが刻々と移り変わる不安定な平衡状態から、安定した合目的な静的姿勢を構築する一連の動作過程である。





サロン内嚥下セミナー

呼吸・嚥下機能向上に繋がる頭頸部・体幹の評価・治療アプローチ
～起居と嚥下について～

参考資料



起居動作への評価・治療について

前傾座位

座位
(車椅子)

起居動作

ギャツジアップ

腹圧↑
(足底からの床反力+)

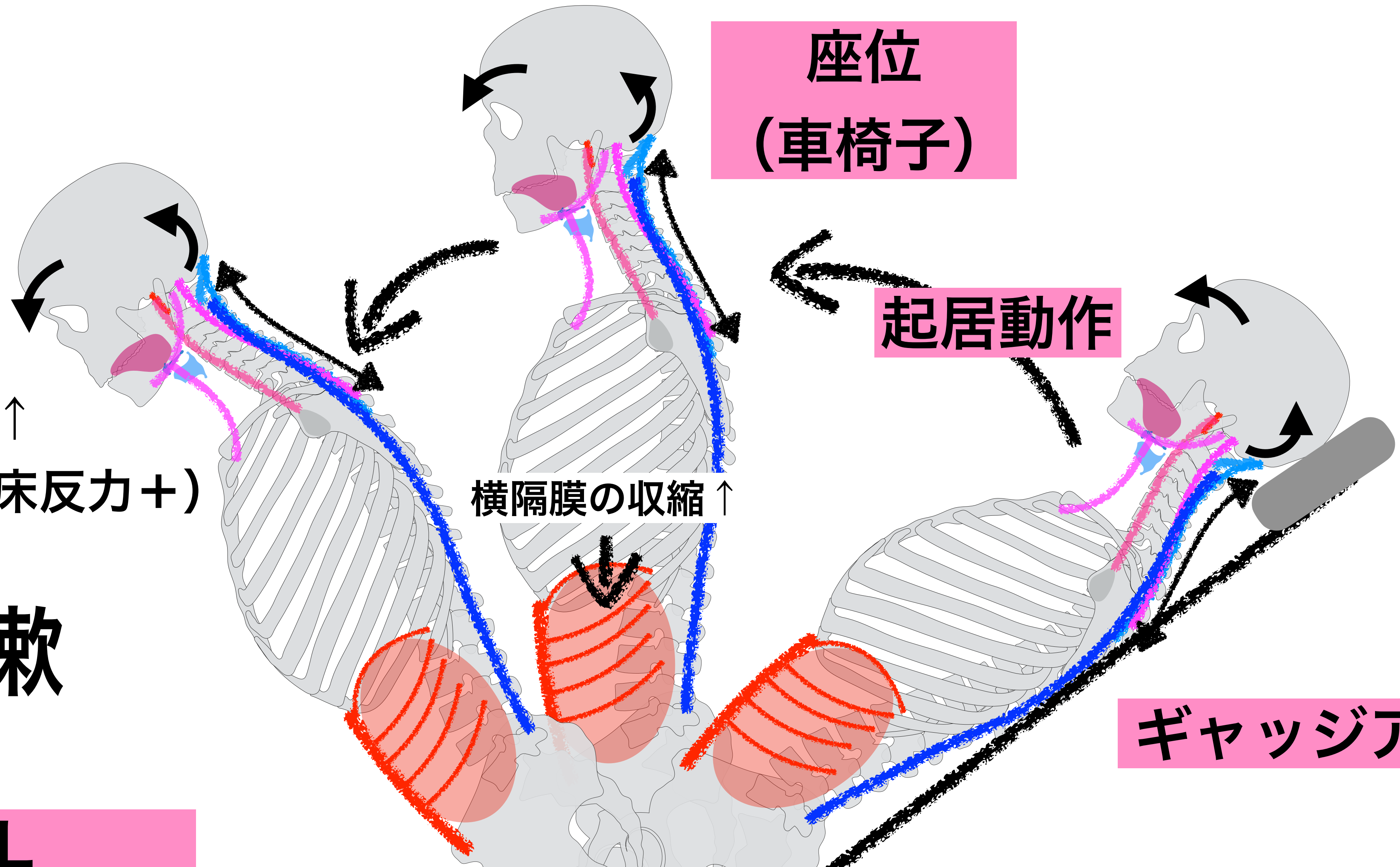
横隔膜の収縮↑

腹圧向上

咳嗽

ADL

移乗・トイレ・食事・整容



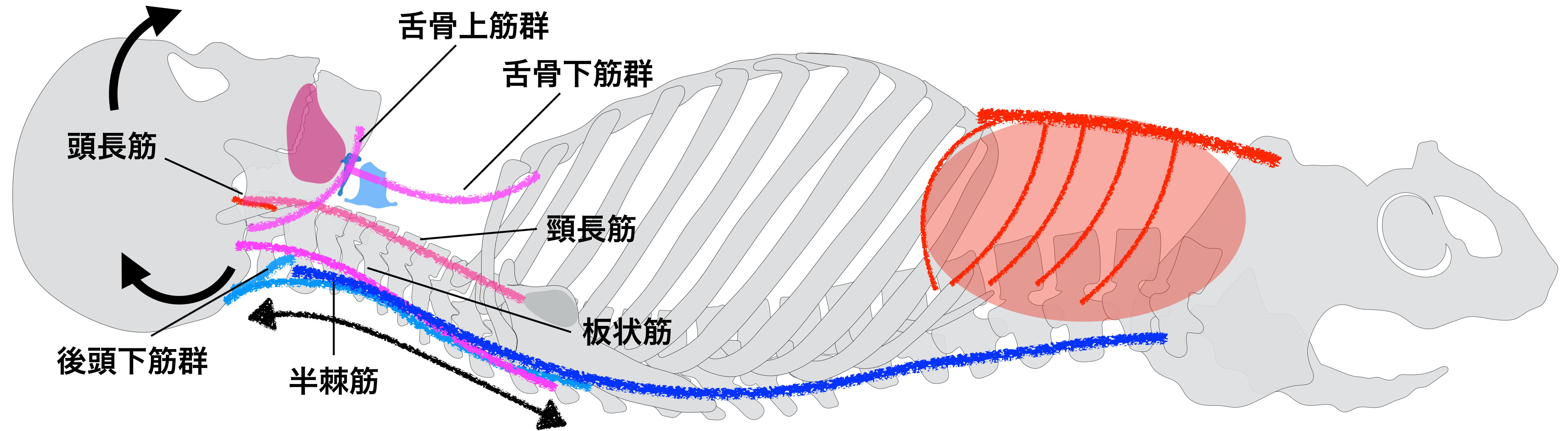


頭頸部・胸郭への治療について

前面筋の活動 ↑

頭長筋・頸長筋 → 舌骨上下筋群 →

体幹筋
(腹横筋・腹斜筋・横隔膜)



後面筋の長さ ↑

< 頭部 >

< 頸部 >

後頭下筋群

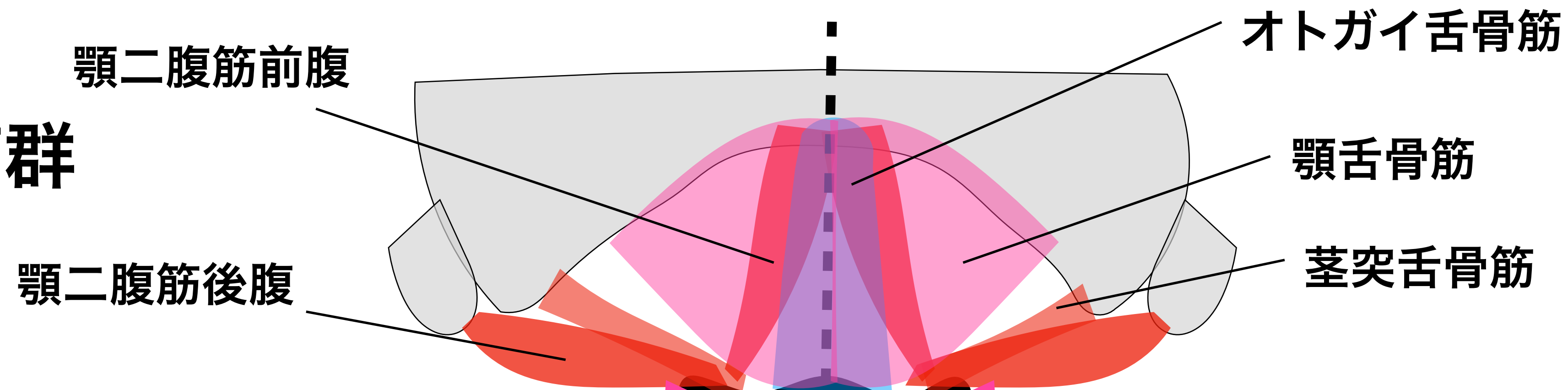
板状筋・半棘筋

脊柱起立筋

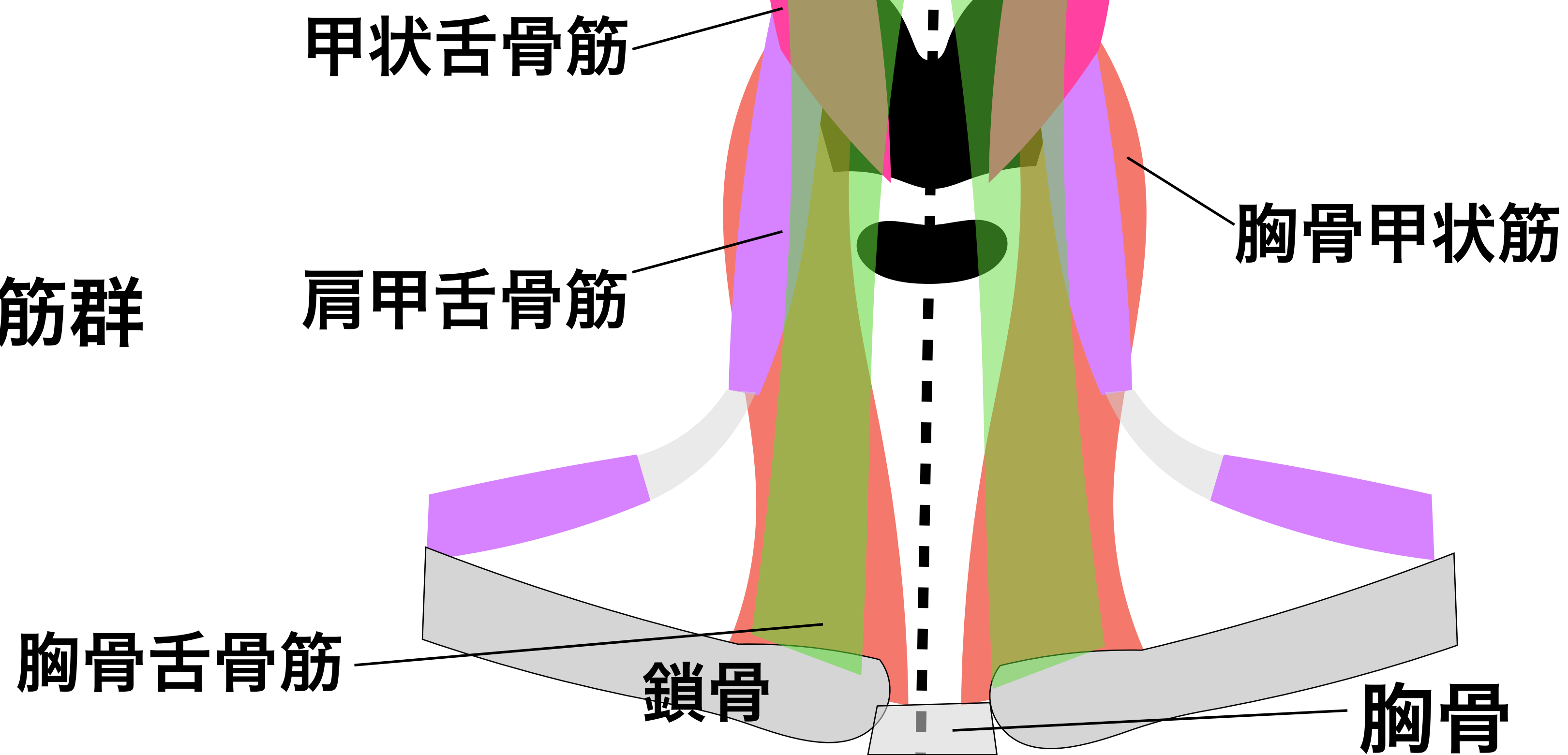


舌骨上下筋群について

舌骨上筋群



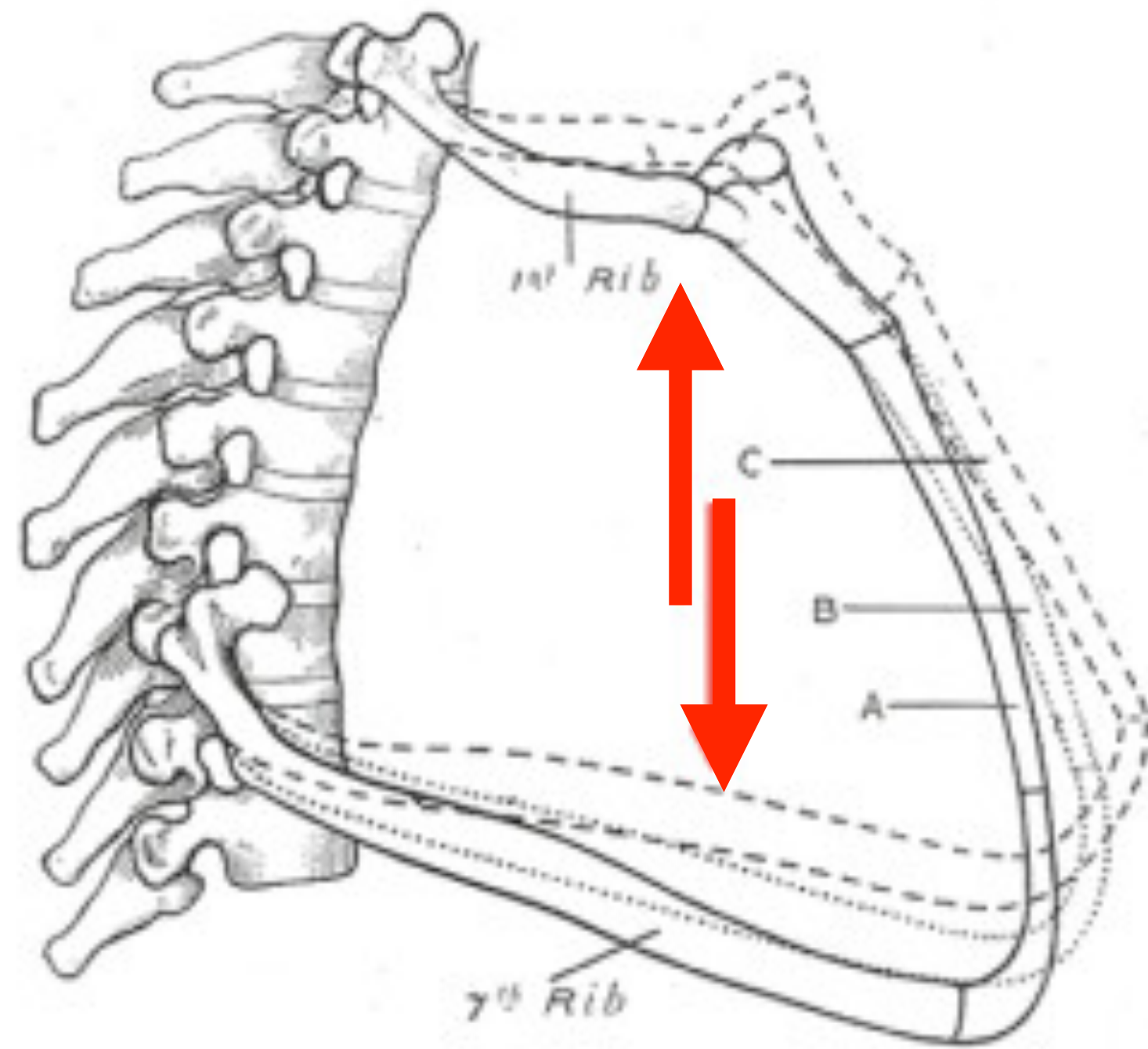
舌骨下筋群



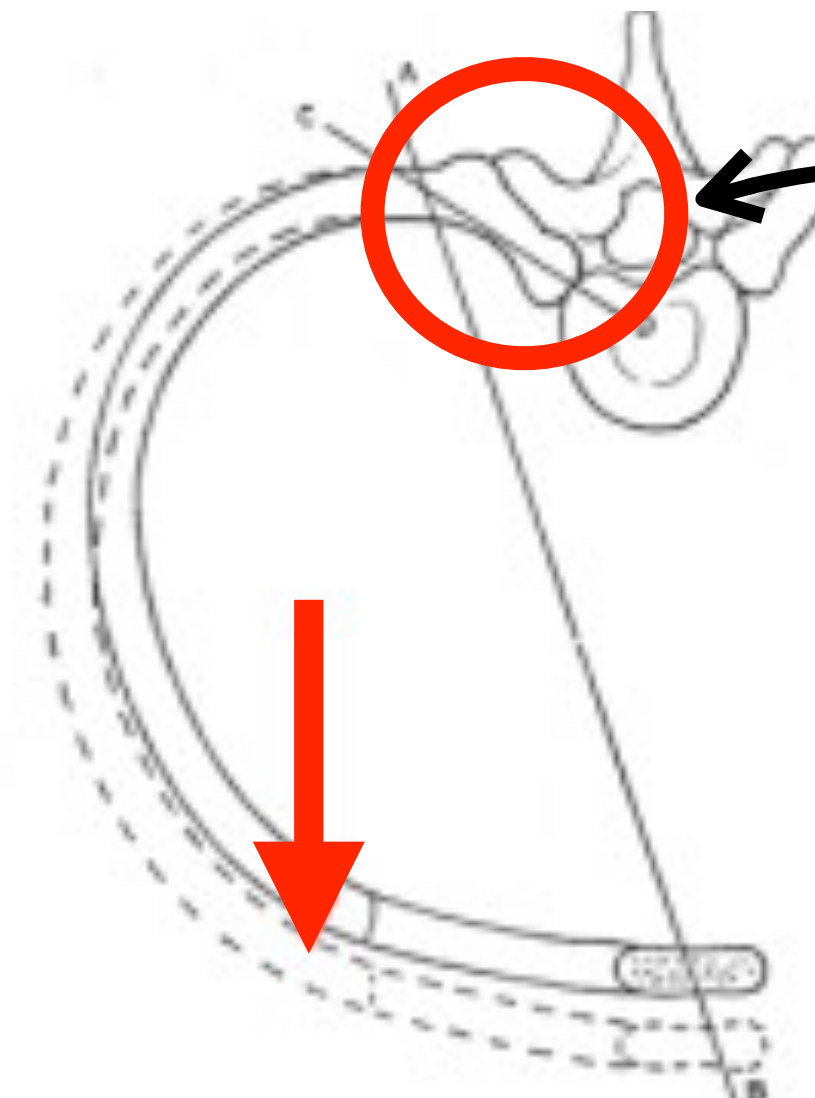


<上位・下位肋骨の運動学>

胸郭の上下の動き

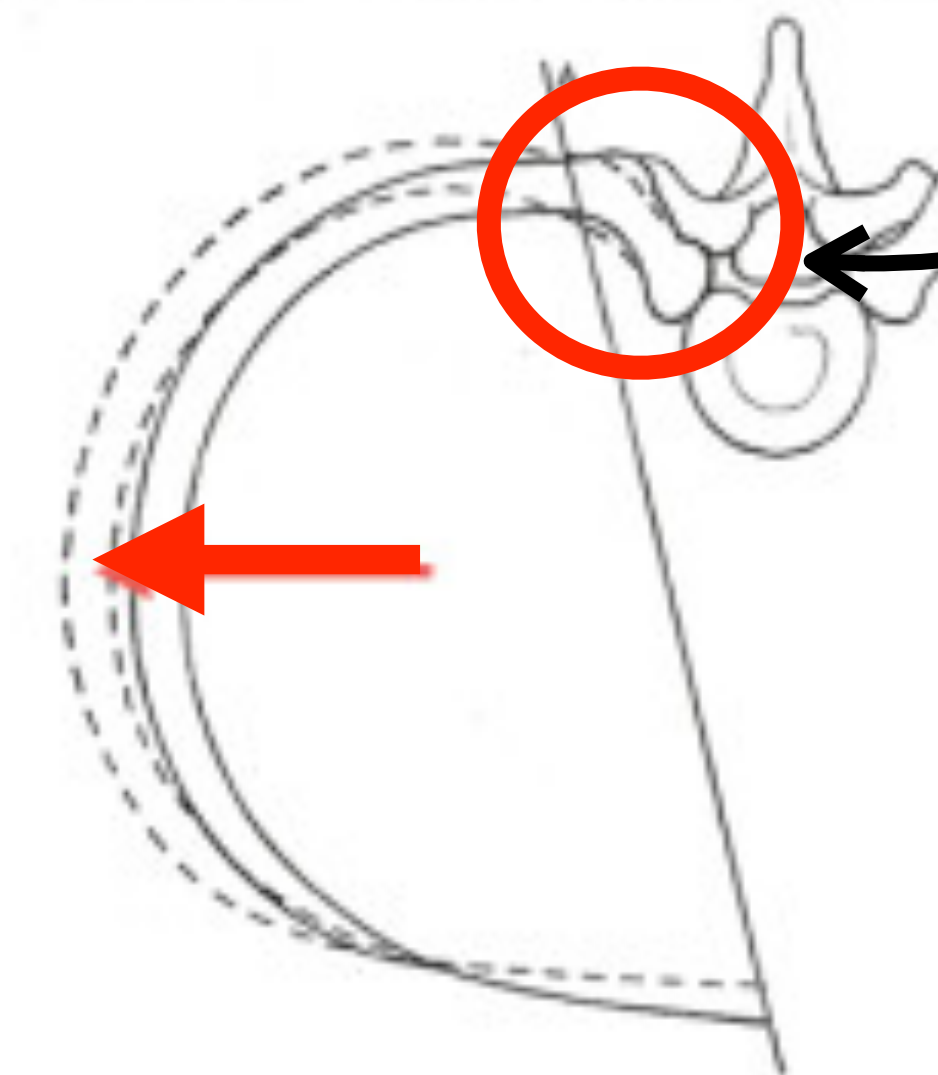


上位肋骨の前後方向の動き



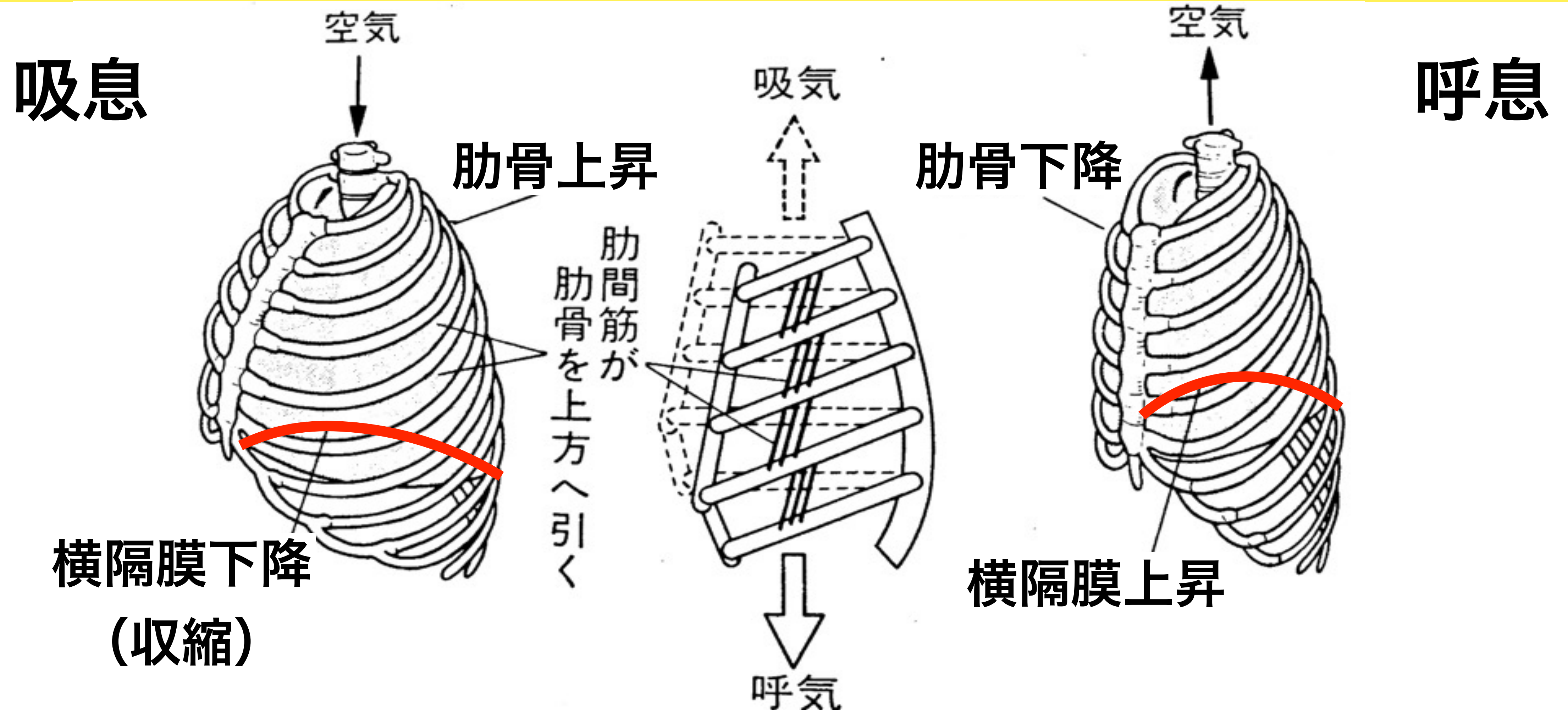
<肋椎関節の運動学>

下位肋骨の左右方向の動き





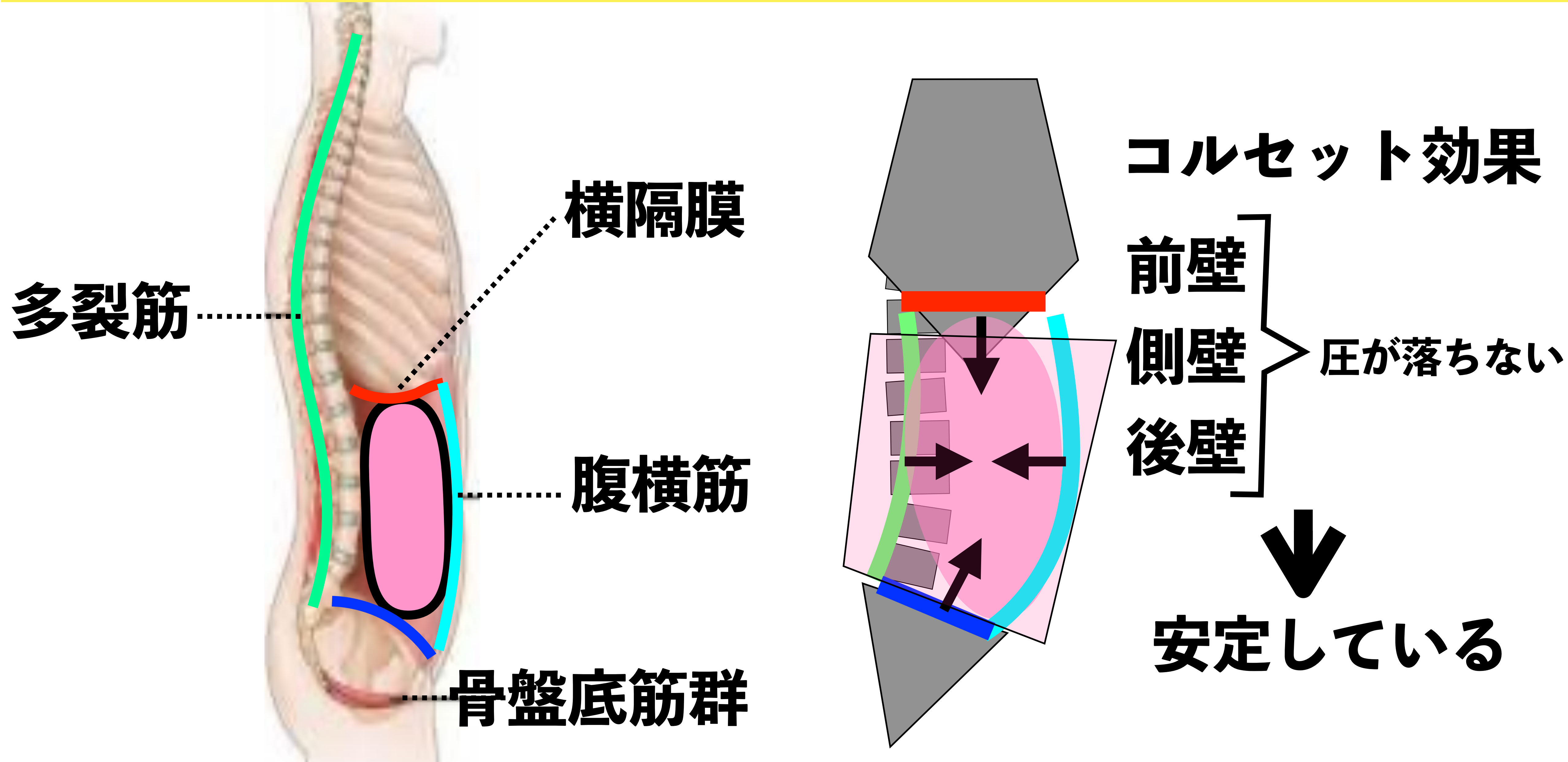
吸息・呼息時の胸椎と肋骨の運動学について



胸椎の動き	伸展	屈曲
肋骨の動き	後方回旋	前方回旋



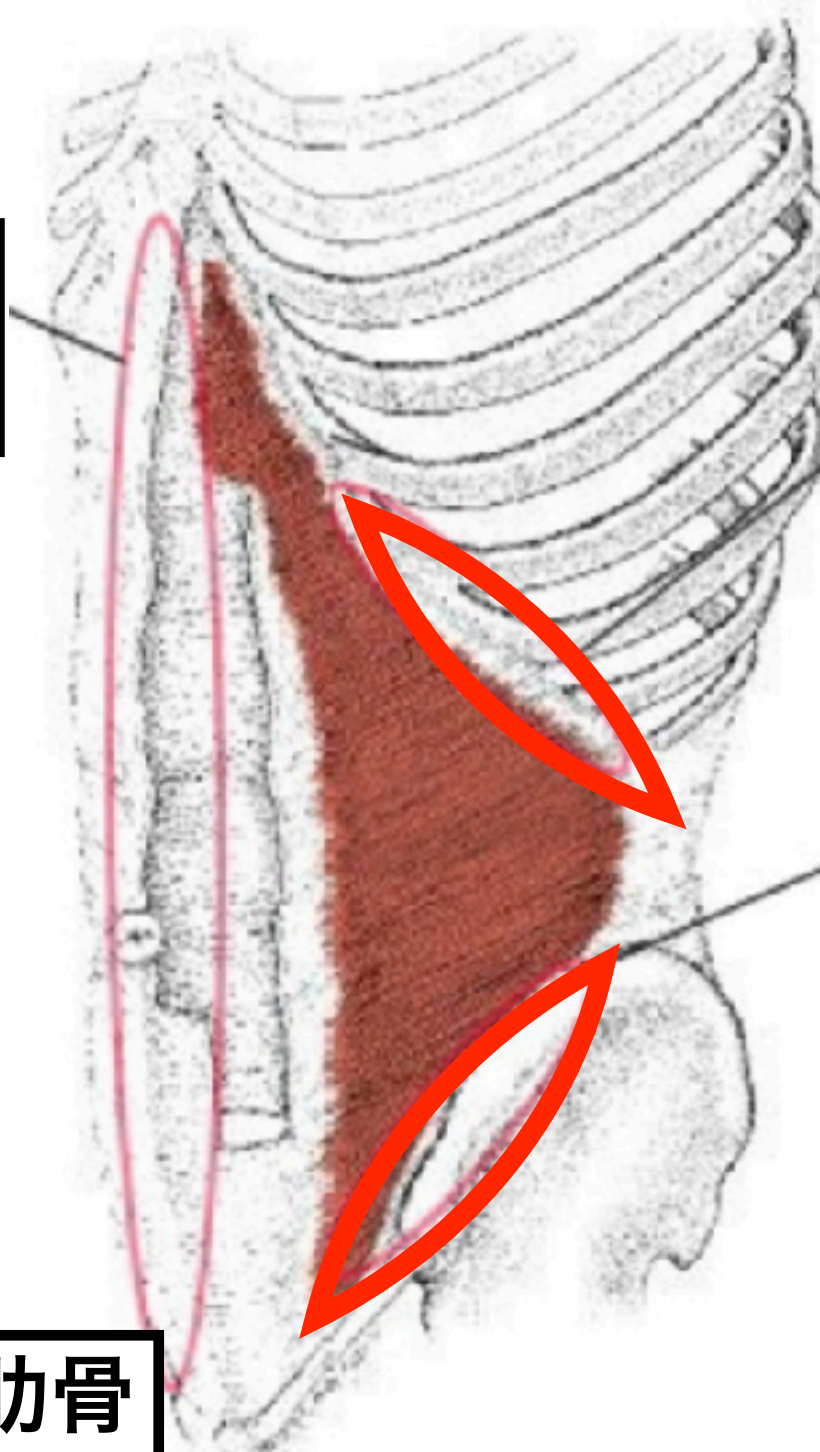
腹圧を構成する筋群について





下部肋骨と体幹筋の解剖について

腹横筋

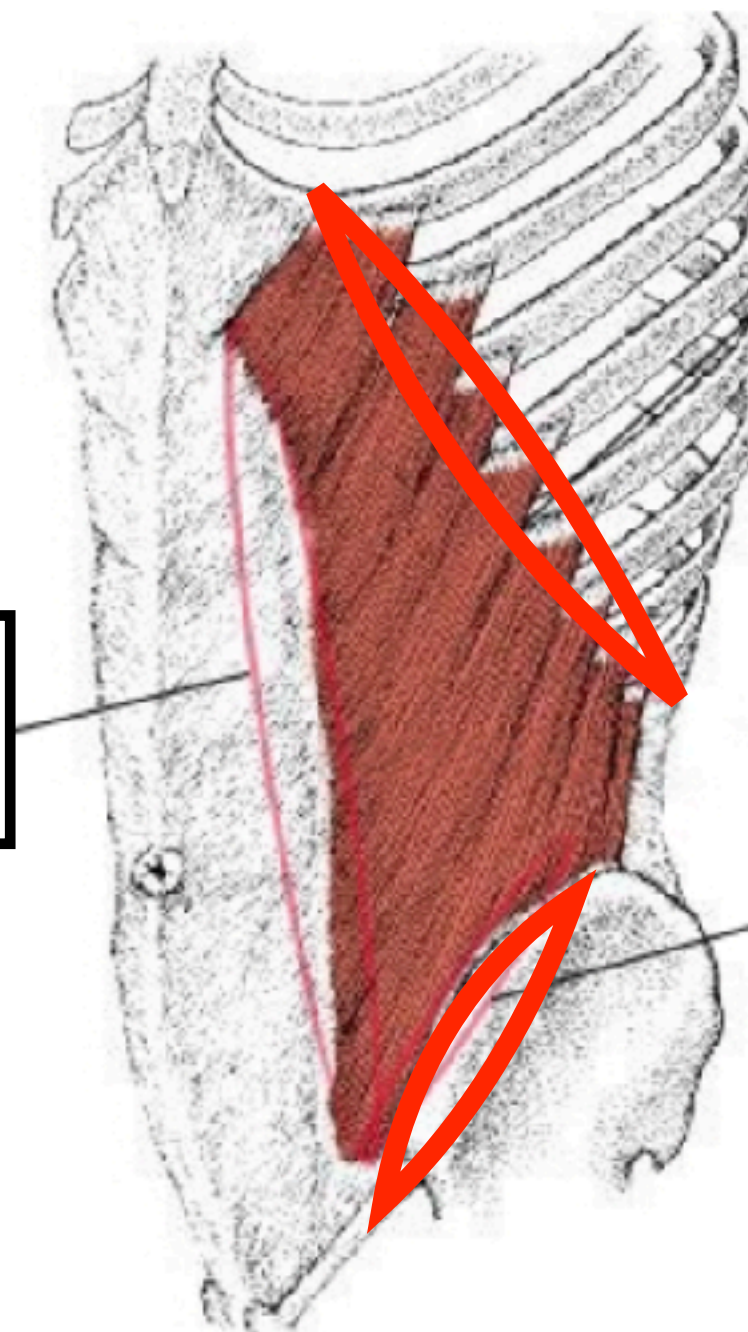


停止：剣状突起
白線・恥骨

起始：第7~12
肋軟骨・腰筋膜

起始：鼠径靭帯
腸骨綾

外腹斜筋

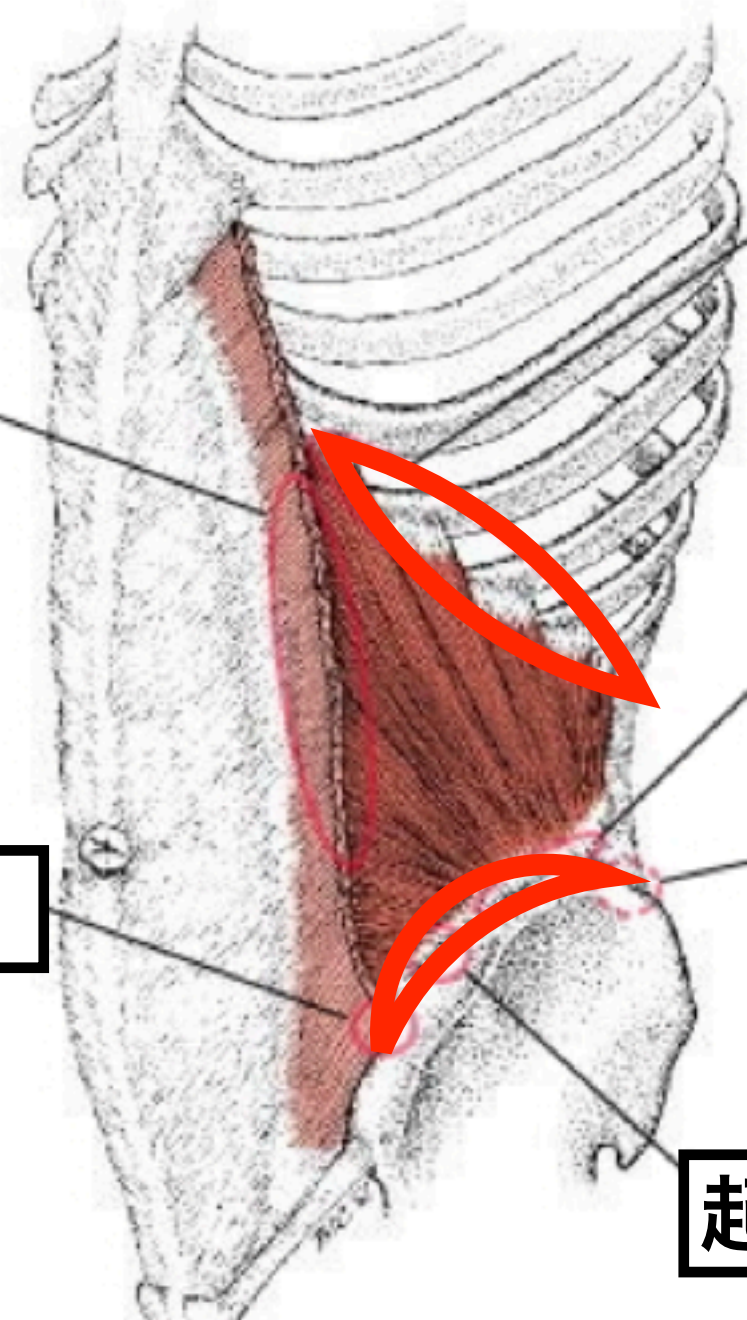


起始：
第5~12肋骨外面

停止：腸骨綾外唇の
前方1/3

停止：腹直筋の一部
鼠径靭帯

内腹斜筋



停止：第10~12肋骨
の下縁

起始：胸腰筋膜深葉
上前腸骨棘

起始：腸骨綾の中間線

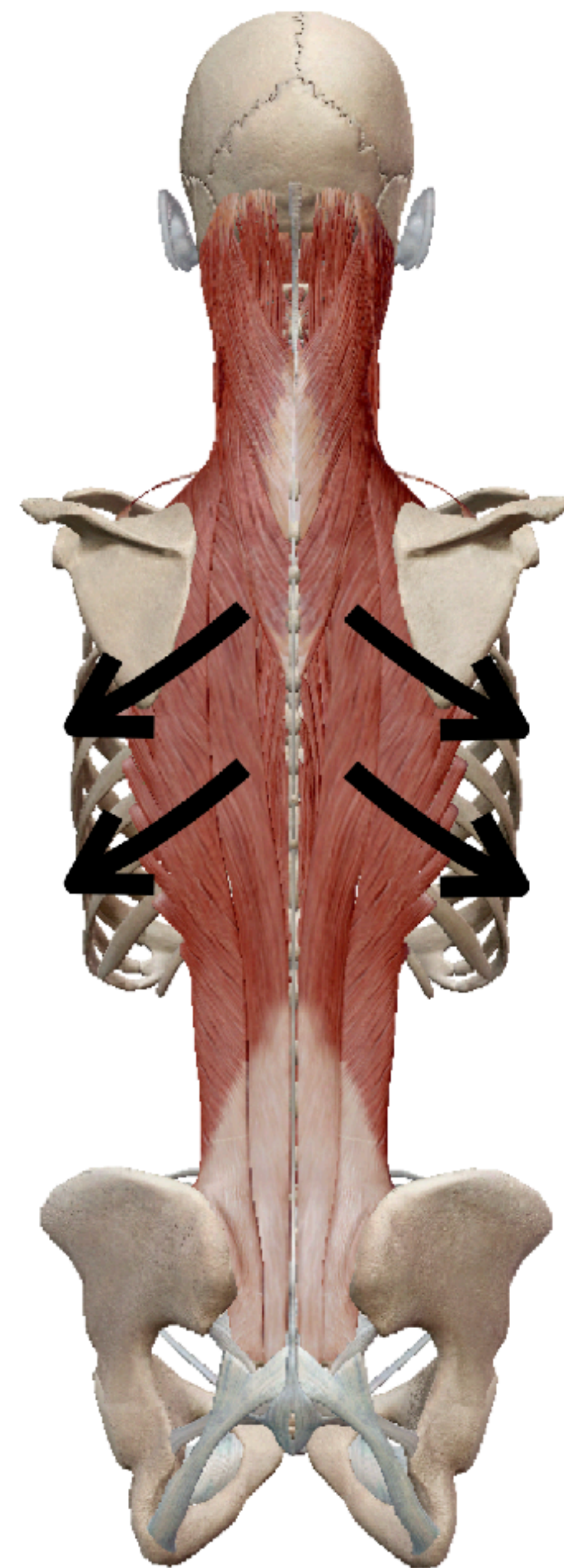
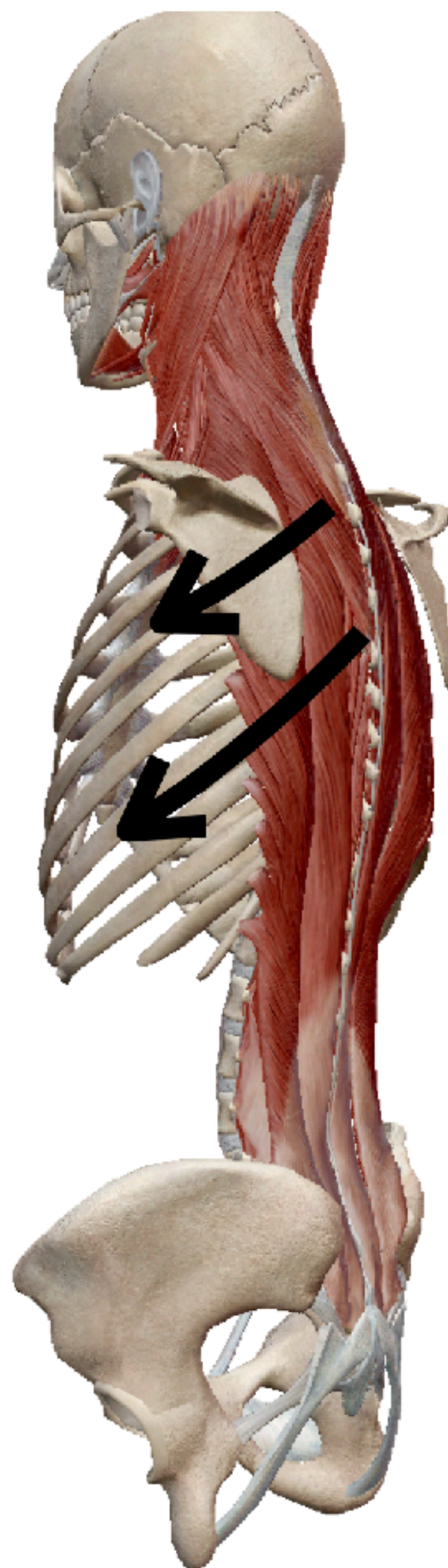
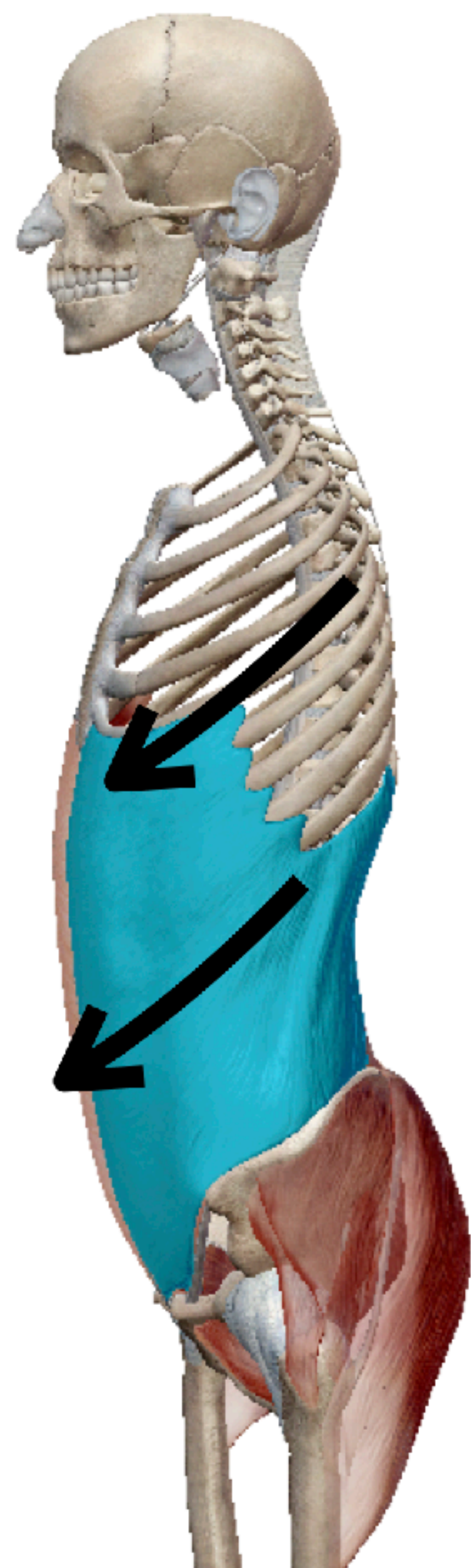
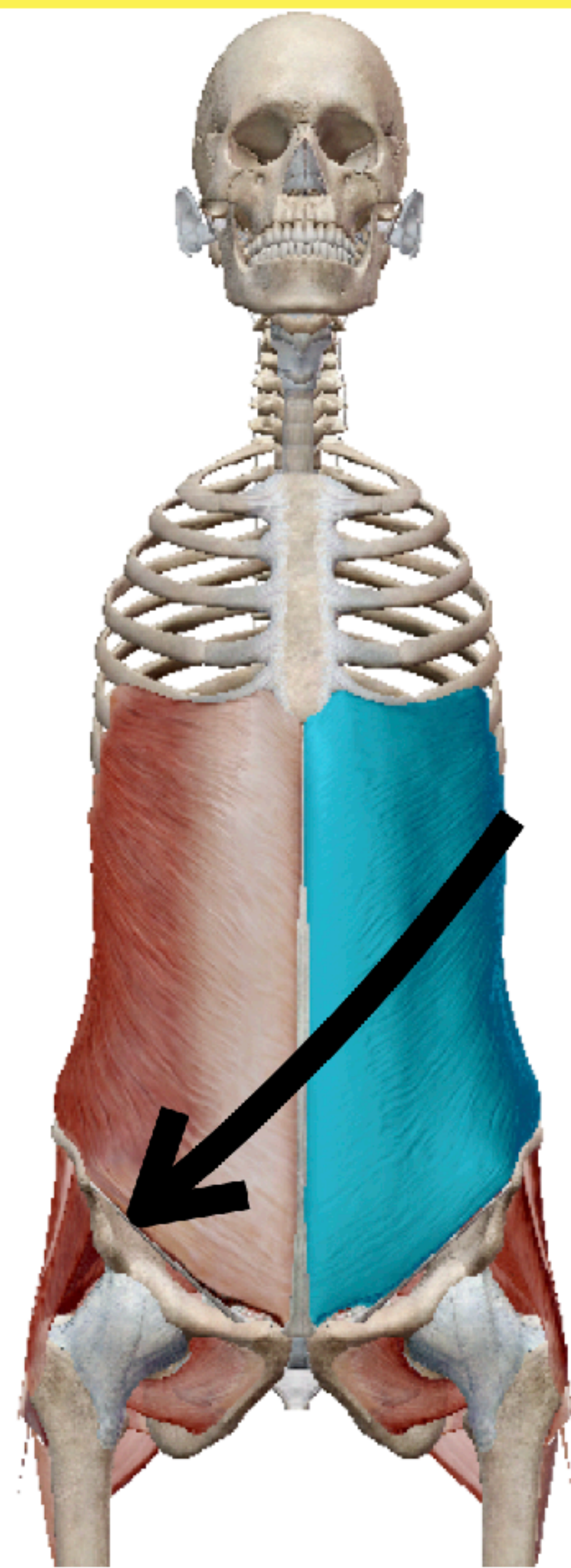
起始：鼠径靭帯

停止：腹直筋鞘

停止：精巣挙筋



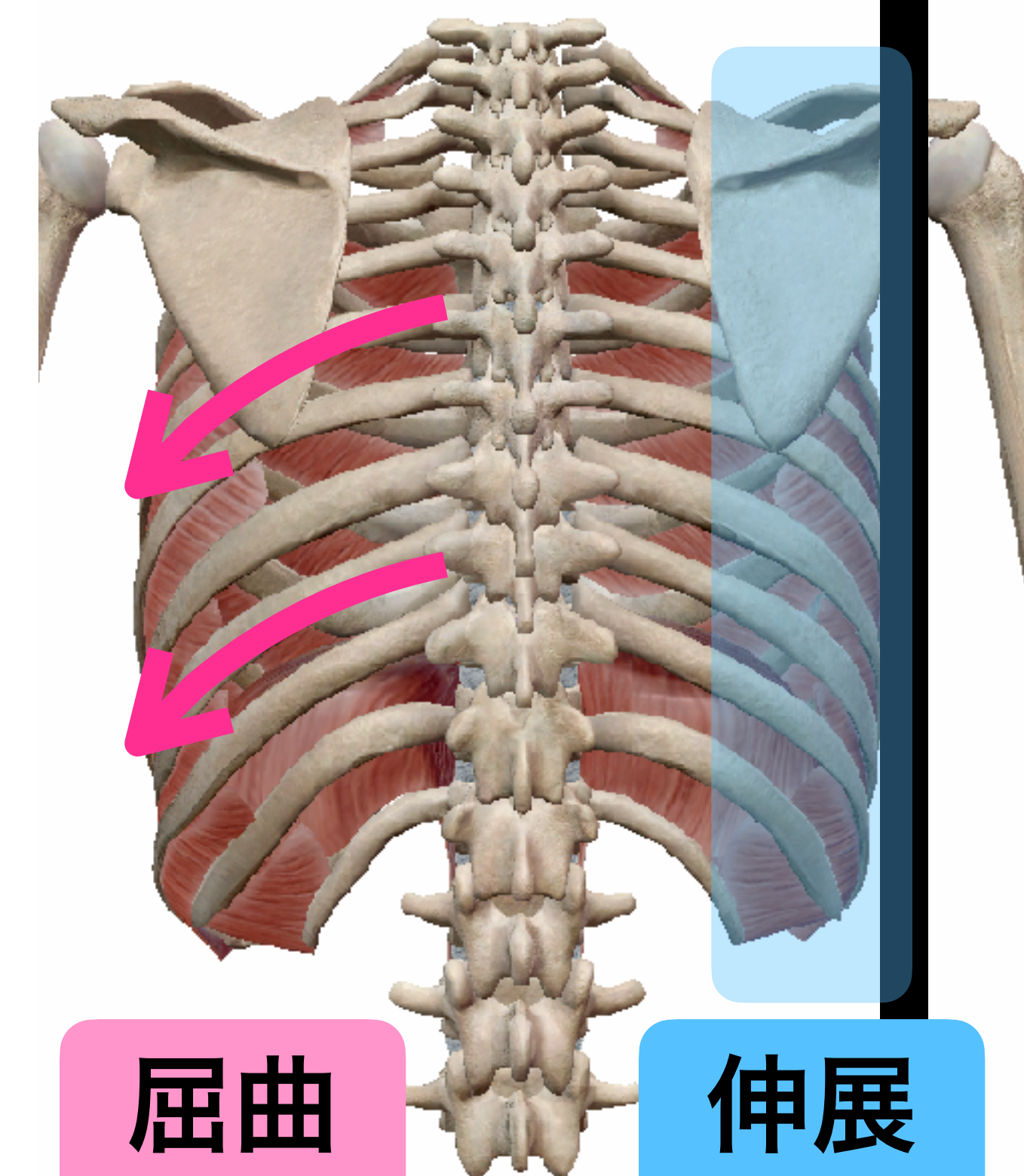
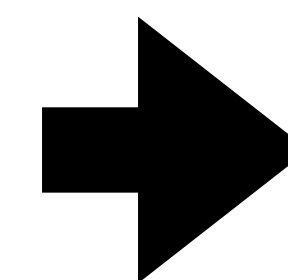
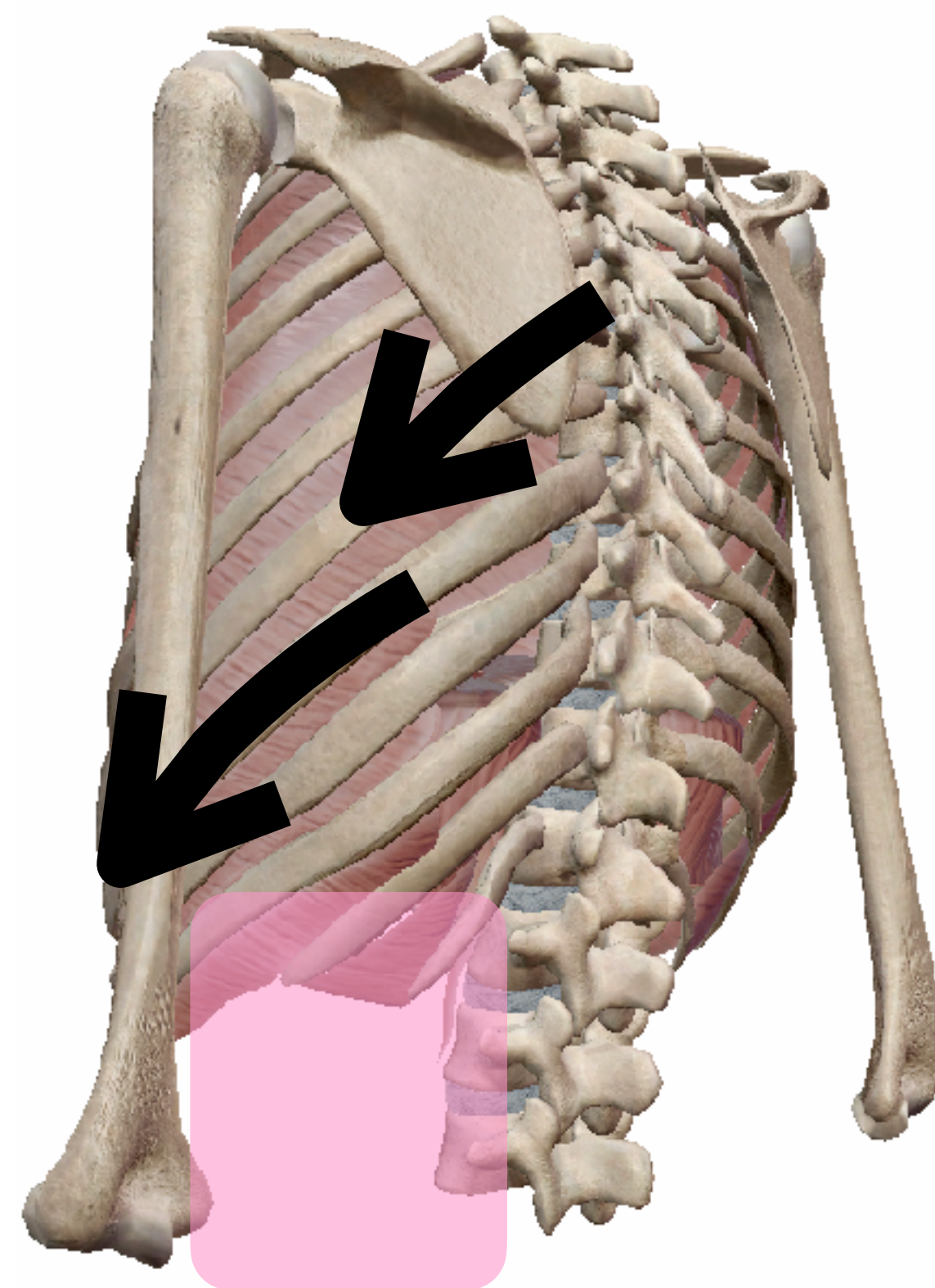
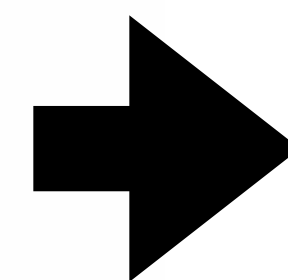
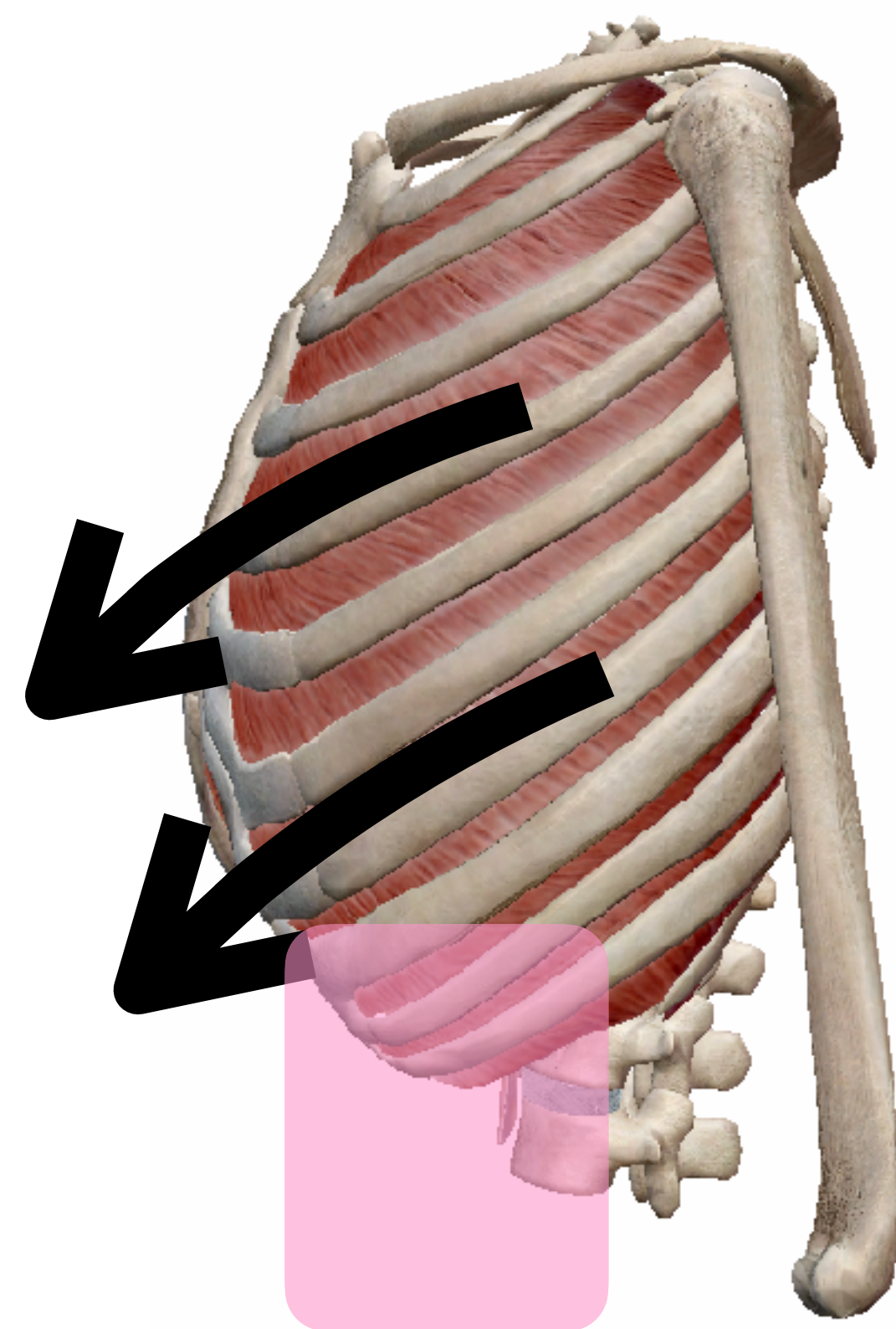
ADL（寝返り・起き上がり）の中で胸郭可動域を考える





ADL（寝返り・起き上がり）の中で胸郭可動域を考える

肋骨の運動 ↔ 体幹筋（腹圧）



屈曲

伸展

支持側の胸郭運動
(肋骨・肋椎・肋間)



胸郭（肋骨） ・ 肩甲骨の運動学について

頭部前突位（下顎後下方偏位）

肩甲骨下制・内転

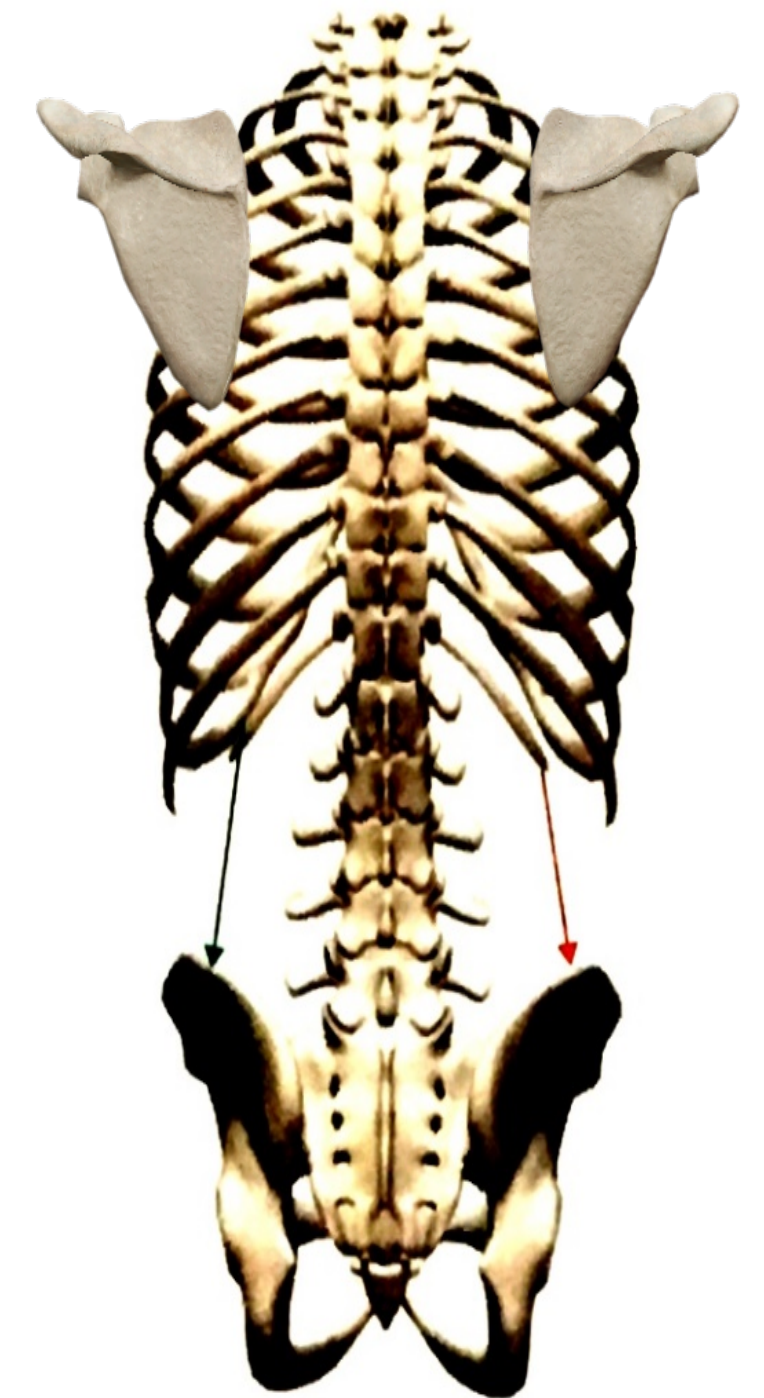
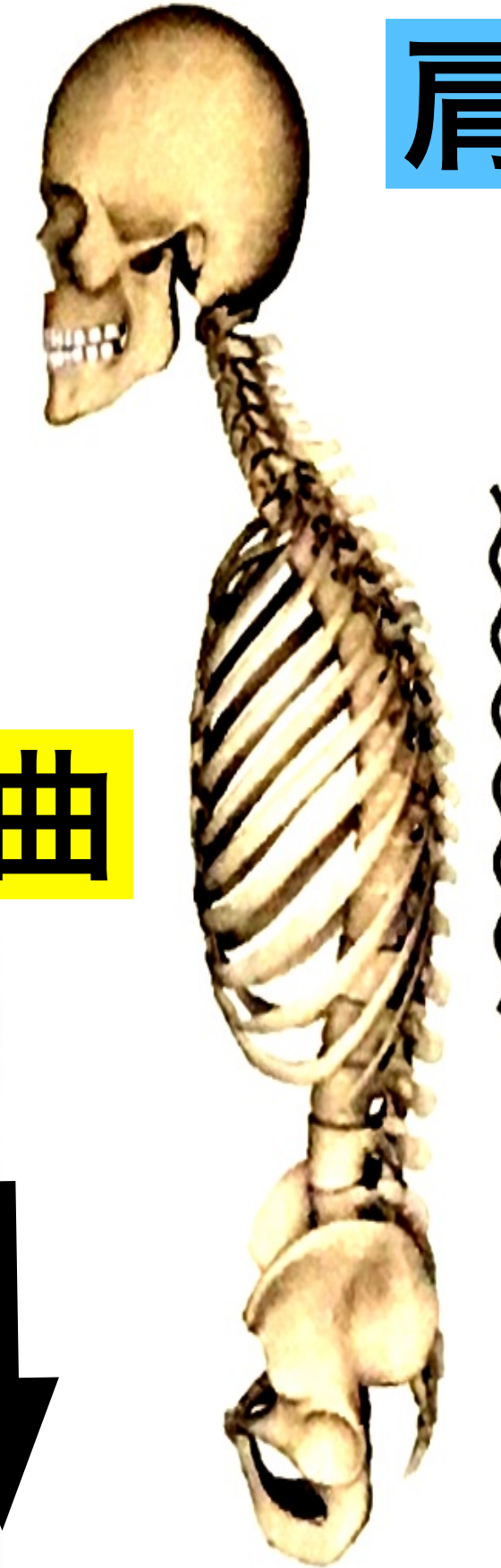
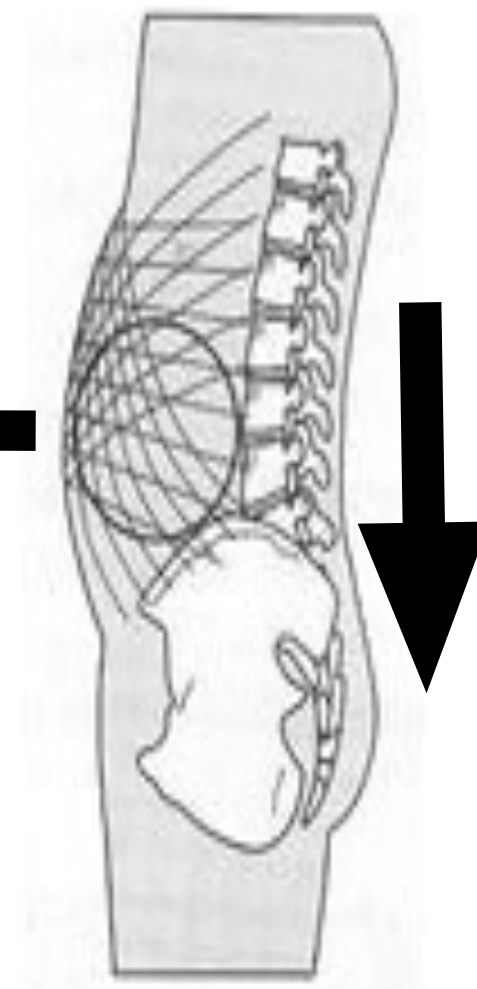
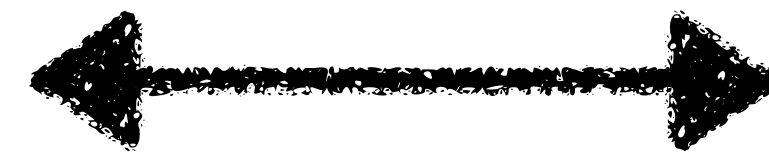
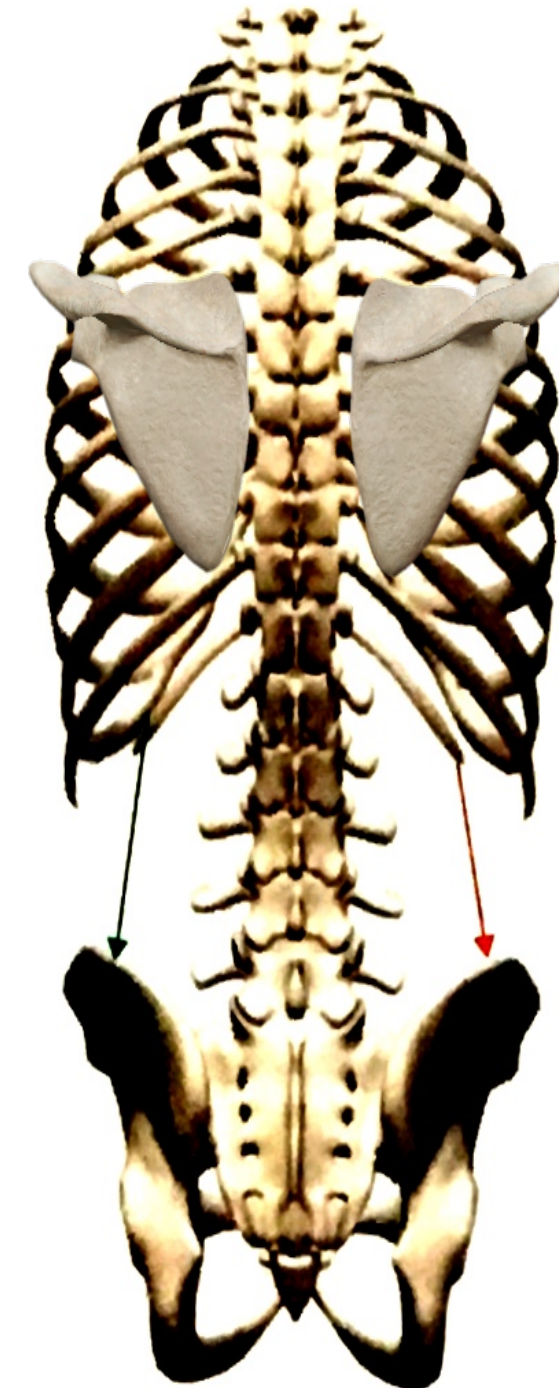
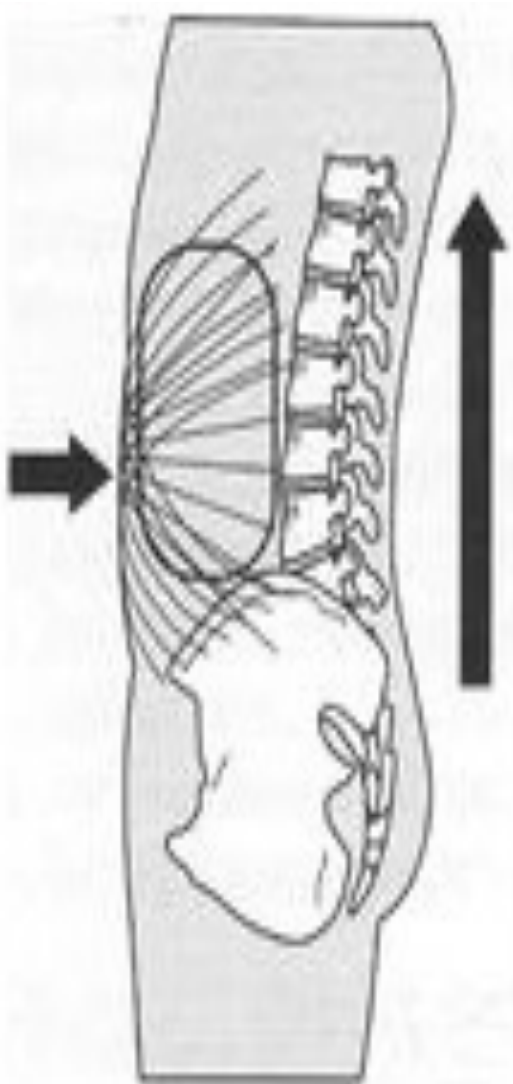
肩甲骨挙上・外転

胸椎伸展

胸椎屈曲

肋骨の後方回旋

肋骨の前方回旋

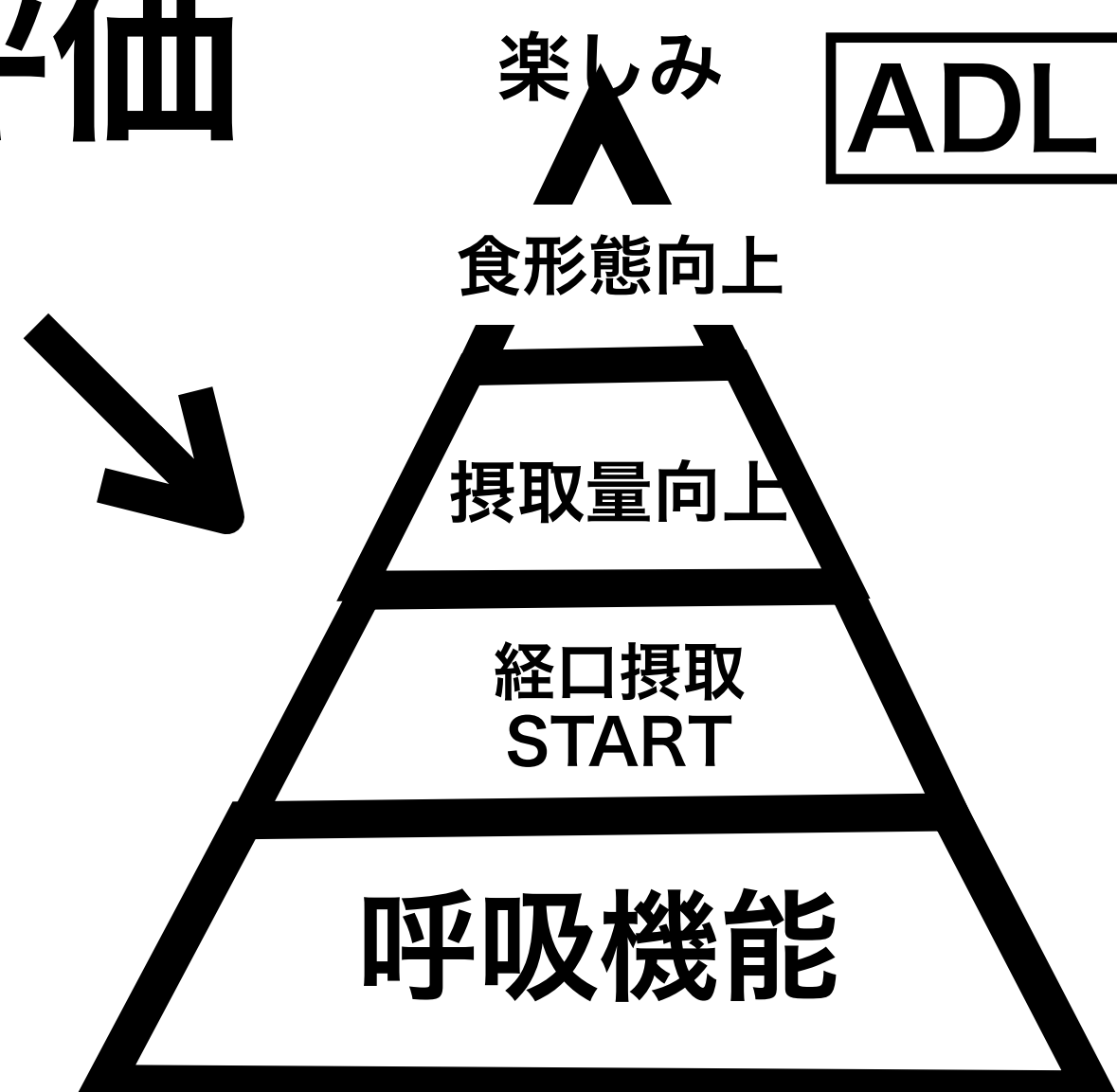




<サロン嚥下セミナーゴール>

呼吸・嚥下機能向上に繋がる頭頸部・体幹の評価・治療アプローチ

嚥下評価



ADL (移乗・トイレ・整容・移動)

起居

臥位 (臥床)

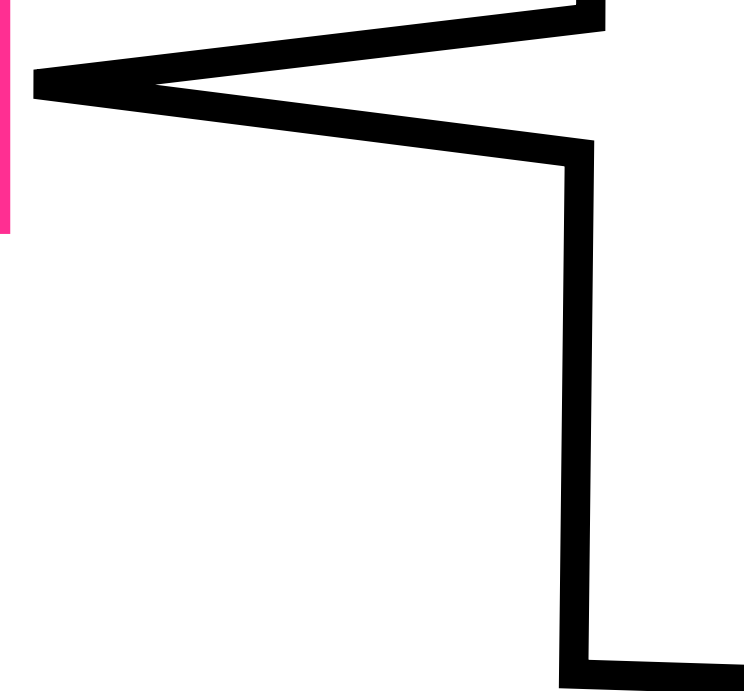
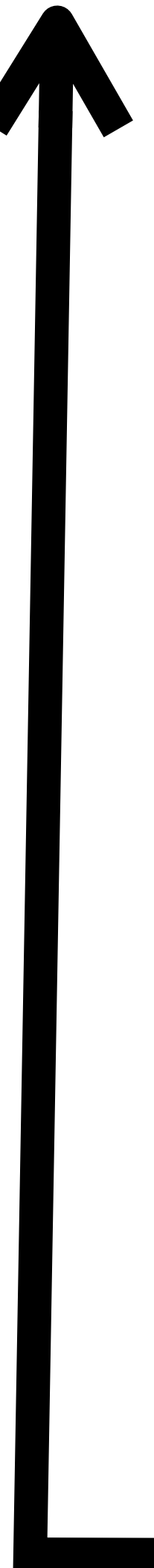
頭頸部

&

体幹

呼吸機能

<サロン嚥下セミナーゴール>
起居動作でどのように
嚥下・呼吸機能を評価・治療アプローチ
しているのかを考える





姿勢&嚥下コースで伝えたいこと

講師が考える姿勢&嚥下の臨床評価・治療

姿勢&嚥下
部位別

姿勢機能

頭頸部
肩甲帯

胸郭
骨盤

股関節
骨盤

基礎
(姿勢)

嚥下評価

食事場面での評価
直接訓練 (bedside)
嚥下スクリーニング評価

楽しみ

食形態
向上

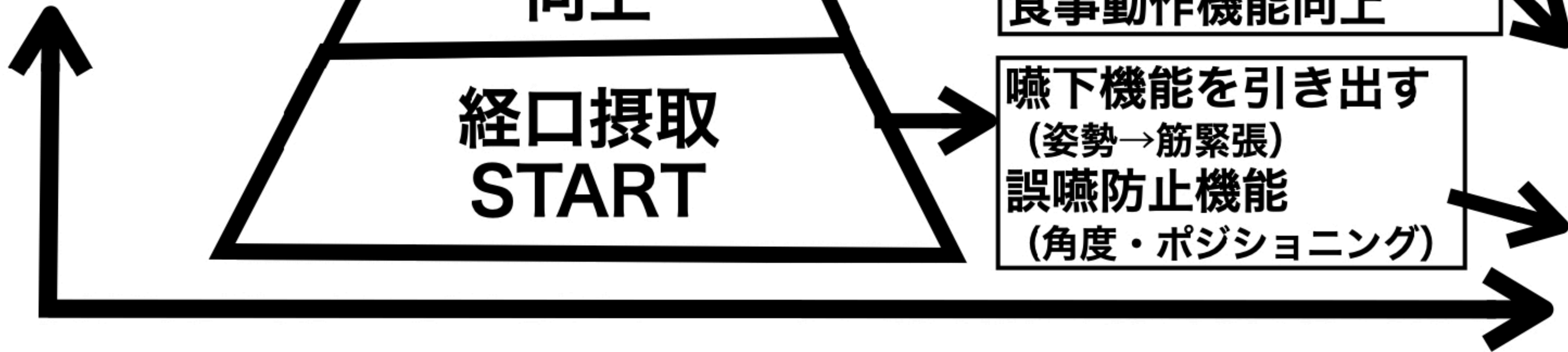
摂取量
向上

経口摂取
START

頭頸部・下顎保持
口腔嚥下機能向上
→舌・咀嚼・歯

ADLでの座位保持機能
→呼吸・姿勢&嚥下
食事動作機能向上

嚥下機能を引き出す
(姿勢→筋緊張)
誤嚥防止機能
(角度・ポジショニング)



目的：嚥下障害の方を治せるセラピストの育成

目標：オンラインで知識と技術を継続的に向上する

基礎知識

&

臨床での技術

予測→評価→治療→効果判定

視点を増やす
触って優先順位が立てれる
治療部位が特定できる

4つの部位別視点から
『姿勢&嚥下』を考えられる

<コース特典>

アシスタント実技勉強会参加チケット
実技復習用動画付き

①12月21日(火) 20:00~21:30
姿勢&嚥下の基礎(姿勢のみかた)

②1月25日(火) 20:00~21:30
嚥下機能向上に繋がる
股関節・骨盤の評価・治療アプローチ

③2月22日(火) 20:00~21:30
嚥下機能向上に繋がる
胸郭・骨盤の評価・治療アプローチ

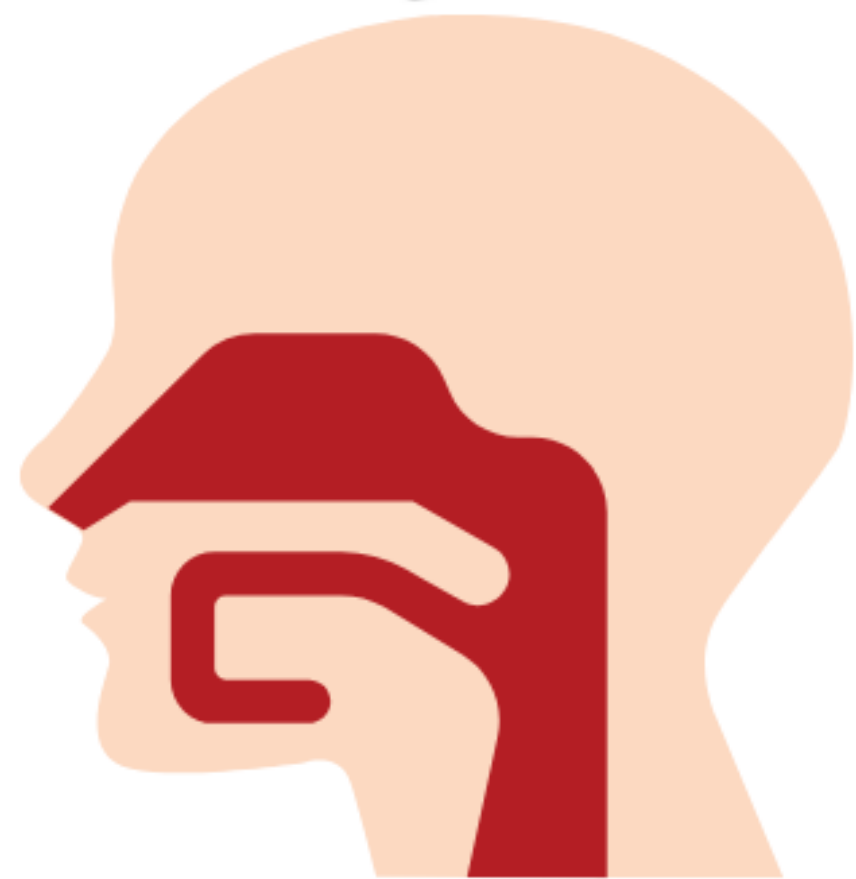
④3月22日(火) 20:00~21:30
嚥下機能向上に繋がる
頭頸部・肩甲帯の評価・治療アプローチ





姿勢 & 嚥下 4 回コース

復習用動画
練習会・相談会付き



基礎から臨床まで“学ぶ” 姿勢と嚥下コース

- ① 姿勢 & 嚥下をみる基礎編 : 12月21日
- ② 股関節・骨盤編 : 1月25日
- ③ 胸郭・骨盤編 : 2月22日
- ④ 肩甲骨・頭頸部編 : 3月22日

臨床の悩みをサポート！
仲間と臨床相談！
個別指導でskill up！

